

FMPR シリーズ

ソフトウェアガイド

ドットインパクトプリンタFMPR5630/FMPR5430/FMPR5130

目次

サポート OS について	5
このマニュアルの表記について	5
第 1 章 お使いになる前に	
1 添付 CD-ROM のご紹介	12
2 ソフトウェアの機能概要	14
FMPR ドライバ	15
プリンタを設定するためのソフトウェア	15
印刷関連のソフトウェア	16
FMPRnavi2 機能の便利な使い方	17
第 2 章 プリンタの接続	
1 接続インターフェースについて	20
2 USB / パラレルインターフェースで接続する	21
プリンタドライバをインストールする	21
プリンタの追加でインストールする	25
プリンタのアイコンを削除する	26
プリンタドライバを削除する	27
プリンタドライバを更新する	30
3 FMPR リモートパネルをインストールする	31
初めてインストールする	31
FMPR ユーティリティをメンテナンスする	34
4 FMPRnavi2 をインストールする	37
FMPRnavi2 とプリンタドライバの関連付け	40
FMPRnavi2 を削除する	42
第 3 章 ネットワークを利用したプリンタの接続	
1 ネットワーク接続の準備について	44
作業の流れ	44
事前準備	44
印刷ポートについて	46
2 IPv4 環境で使用する	47
IPv4 環境から TCP/IP で印刷する	47
パソコンのネットワーク設定を確認／記録する	47
パソコンのインターネットの設定を確認／記録／変更する	50
プリンタ LAN 設定ツールをインストールする	52
LAN カードに IP アドレスを設定する	55
パソコンのネットワーク／インターネットの設定を作業前に戻す	60
FMPR TCP/IP Port で印刷する	60
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	64
3 IPv6 環境で使用する	76
TCP/IP で印刷する	76
IPv6 アドレスを有効にする	76
パソコンのネットワーク設定を確認する	79
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	81

第4章 プリンタドライバの機能と利用方法

1 プリンタドライバの設定	94
アプリケーションからの設定画面（印刷）	94
コントロールパネルからの設定画面（印刷設定）	95
プリンタの状態確認（ポップアップ）	96
プリンターのプロパティ	97
ウィンドウ一覧	98
「FMPRnavi2」タブ [注2]	107
2 印刷可能領域	114
用紙サイズ	114
印刷領域	116
3 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	119
4 プリンタドライバのバージョンを確認する	124
プリンタドライバのバージョン確認	124
FMPRnavi2 のバージョン確認	125

第5章 印刷ログの確認

1 印刷ログ機能（印刷ログビューア）	128
印刷ログビューアでできること	128
印刷ログビューアを起動するには	128
印刷ログ一覧の見かた	129
印刷ログ一覧の操作	131
印刷ログ情報表示	134
2 クラサバ連携サービス	137
クラサバ連携サービスでできること	137
クラサバ連携サービスを開始する	137

第6章 プリンタを設定するためのソフトウェア

1 FMPR リモートパネル	142
FMPR リモートパネルをインストールする	142
FMPR リモートパネルの機能	142
FMPR リモートパネルを起動する	142

第7章 印刷関連のソフトウェア

1 FMPRnavi2	152
FMPRnavi2 をインストールする	152
FMPRnavi2 の機能	152
2 Web ブラウザによる設定	160
Web ブラウザによる設定の機能	160
LAN カードの Web ページを表示する	161
LAN カードの Web ページから設定する	162
Web ブラウザ設定項目	163

第8章 こんなときには

1	ソフトウェアに関する留意事項	168
	プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき	168
	Windows をアップグレードするとき	170
2	プリンタがうまく動かないとき	171
	プリンタがうまく動かないとき	171
	給紙口／用紙名を正しく設定する	172
	用紙サイズを正しく設定する	175
	印字位置が行方向にずれているとき	181
3	LAN カード使用時の問題について	186
	LAN カード導入時の問題	186
	LAN カード経由での印刷時の問題	188
	LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題	189
	LAN カードの初期化	190
	LAN カードの設定内容の印刷について	192
4	用紙づまりと印字中の電源断について	194
	プリンタの対処方法	194
	パソコンの対処方法	194



サポート OS について

各機種のサポート OS については、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) で確認ください。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△ で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて





- ・ このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・ 画面例でプリンタ名を「FMPRXXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- ・ 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・ このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

IP アドレスの表記について

このマニュアルでは、必要に応じて、「IP アドレス」を、「IPv4 アドレス」と「IPv6 アドレス」に書き分けています。ネットワーク環境でお使いになる場合は、オプションの LAN カード (FMPR-LN4) が必要です。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	内容
 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	『ハードウェアガイド』（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM を表しています。


製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 11 Home	Windows 11	Windows
Windows 11 Pro		
Windows 11 Pro for Workstations		
Windows 11 Enterprise		
Windows 11 Education		
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	Windows Server 2022	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Windows 10 Home	Windows 10	
Windows 10 Pro		
Windows 10 Pro for Workstations		
Windows 10 Enterprise		
Windows 10 Education		
Windows 10 Enterprise LTSC 2021		
Windows 10 Enterprise LTSC 2019		
Windows 10 Enterprise LTSB 2016		
Windows 10 Enterprise LTSB 2015		

製品名称	このマニュアルでの表記		
Windows 8.1	Windows 8.1		Windows
Windows 8.1 Pro			
Windows 8.1 Enterprise			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation			
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012（R2 以外）		
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation			

「スタート」メニューの「すべてのアプリ」について（Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合）


 をクリックしてアプリの一覧が表示されていない場合は、「すべてのアプリ」をクリックし、アプリの一覧を表示させてください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックします。



 をクリックし、「すべてのアプリ」をクリックし、「Windows ツール」をクリックする操作を表しています。


コントロールパネルを起動する方法

OS によって操作手順が異なります。次の手順で「コントロールパネル」を起動させてください。


- ・ Windows 11 の場合

1  → 「すべてのアプリ」 → 「**Windows ツール**」の順にクリックし、「**コントロールパネル**」をダブルクリックします。

- ・ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1  → 「**Windows システム ツール**」 → 「**コントロールパネル**」の順にクリックします。

- ・ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1 画面左下隅の  を右クリックし、「**コントロールパネル**」をクリックします。


- ・ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

- 1 スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
- 2 「**Windows** システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。


コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法

OS によって操作手順が異なります。次の手順でプリンタアイコンを表示させてください。


- ・ Windows 11 の場合

- 1  → 「すべてのアプリ」 → 「**Windows** ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
- 2 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

- ・ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

- 1  → 「**Windows** システム ツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

- ・ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

- 1 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

- ・ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

- 1 スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
- 2 「**Windows** システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。

3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

「デバイスとプリンター」ウィンドウが表示されます。

商標および著作権について

Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP、Citrix Presentation Server、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2019-2025

1

第 1 章 お使いになる前に

この章では、添付 CD-ROM に格納されているソフトウェアの概要について説明します。

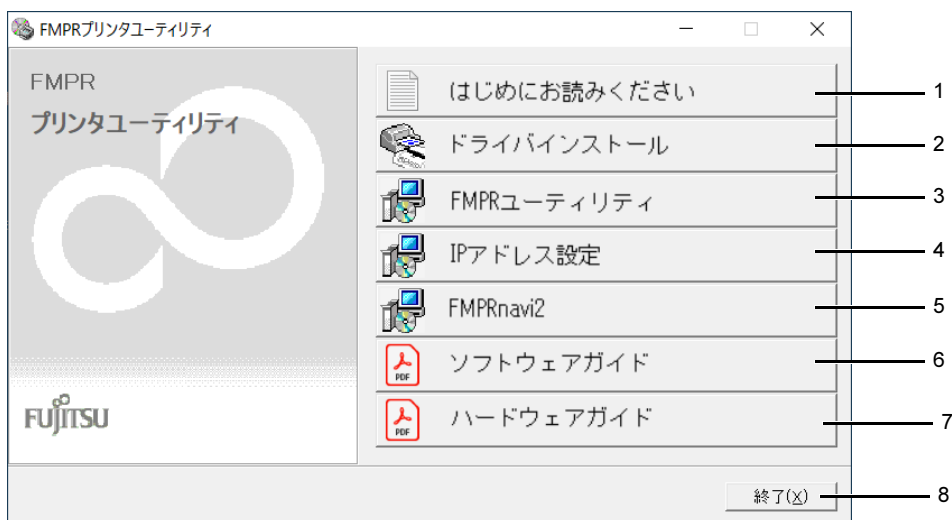
1 添付 CD-ROM のご紹介	12
2 ソフトウェアの機能概要	14

1 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「FMPR プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「FMPR プリンタユーティリティ」のメニュー

◎「FMPR プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると、次の「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



OSにより、表示されるメニューが一部異なります。

1 はじめにお読みください

CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 ドライバインストール

本製品を使い始めるための設定を、このメニューから行います。

・ FMPR ドライバのインストール

ローカルプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「プリンタの接続」(→ P.19)をご覧ください。

ネットワークプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用したプリンタの接続」(→ P.43)をご覧ください。

更新方法については、「プリンタドライバを更新する」(→ P.30)をご覧ください。

3 FMPR ユーティリティ

プリンタを設定するためのソフトウェア「FMPR リモートパネル」をインストールします。インストール方法については、「FMPR リモートパネルをインストールする」(→ P.31)をご覧ください。「FMPR リモートパネル」については、「プリンタを設定するためのソフトウェア」(→ P.141)をご覧ください。

4 IP アドレス設定

オプションの LAN カード (FMPR-LN4) に IPv4 アドレスを設定、変更するアプリケーションを起動します。

「IP アドレス設定」を使用して本製品に IPv4 アドレスを設定する方法については、「LAN カードに IP アドレスを設定する」(→ P.55) をご覧ください。

「IP アドレス設定」は、IPv6 アドレスには対応していません。

5 FMPRnavi2

双方向プリンティングシステム「FMPRnavi2」をインストールします。

LAN カードの IP アドレス設定がすでに終わっていて、プリンタの印刷中にジョブの状態やプリンタ側で発生したエラーの状態をパソコンで見ることができます。

Interstage Print Manager と連携する場合にも本ソフトウェアのインストールが必要です。

FMPRnavi2 の概要については、「FMPRnavi2」(→ P.152) をご覧ください。

6 ソフトウェアガイド

プリンタドライバのインストール方法やユーティリティの使用方法など、主にソフトウェアの操作方法について説明しています。

7 ハードウェアガイド

オプション品の取り付け方やオペレータパネルの操作方法など、主にハードウェアの取り扱い方法について説明しています (装置に添付の印刷マニュアル『ハードウェアガイド』と同じ内容です)。

8 終了

「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウを閉じます。

POINT

- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2 ソフトウェアの機能概要

◎「FMPR プリンタユーティリティ」には、FMPR ドライバとネットワーク関連のソフトウェアが格納されています。

ここでは、FMPR ドライバとネットワーク関連のソフトウェアの機能概要を説明します。

FMPR ドライバ

パソコンからプリンタに印刷データを送信するためのプリンタドライバの機能に加えて、ネットワーク接続でプリンタからパソコンに状態通知を行うための双方向通信機能「FMPRnavi2」をサポートしたドライバです。

双方向プリンティングシステムを使用することで、プリンタの状態監視やエラー時の詳細状況についても確認できます。

プリンタを設定するためのソフトウェア

本製品の各種機能の設定および LAN に関する設定を行うためのツールを用意しています。

- ・ FMPR リモートパネル
- ・ プリンタ LAN 設定ツール

印刷関連のソフトウェア

プリンタの状態表示や印刷管理を行うためのソフトウェア「FMPRnavi2」を用意しています。

FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアを入手するには

最新版の FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアは、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) からダウンロードできます。

また、富士通製品情報ページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供していますので、必要に応じてご覧ください。

POINT

- ・ 上記 URL は、このマニュアル発行時現在のものです。
- ・ ◎「FMPR プリンタユーティリティ」には、製品出荷時での最新版が格納されており、富士通製品情報ページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いの FMPR ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアのバージョンを確認してから、ダウンロードを行ってください。

FMPR ドライバ

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	・ パラレルポート (LPT1) [注 1] ・ USB ポート ・ FMPR TCP/IP Port ・ Standard TCP/IP ポート [注 2]

注 1 LPT ポートが複数存在するとき、Windows では、LPT1、LPT2 のように LPT ポートの数だけ表示されます。

注 2 プリンタドライバのみのサポートとなります。双方向プリンティングシステム「FMPRnavi2」やネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。

■機能

機能について詳しくは、「プリンタドライバの機能と利用方法」(→ P.93) をご覧ください。

プリンタを設定するためのソフトウェア

FMPR リモートパネル

本製品は、プリンタの設定をパソコンから行うためのソフトウェアです。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	・ パラレルポート (LPT1) [注] ・ USB ポート ・ FMPR TCP/IP Port

注 LPT ポートが複数存在するとき、Windows では、LPT1、LPT2 のように LPT ポートの数だけ表示されます。

■機能

機能	概要
プリンタの設定変更	プリンタのオペレータパネルの操作により行うプリンタの設定を、パソコンから行うことができます。

■セットアップ

◎「FMPR プリンタユーティリティ」の「FMPR ユーティリティ」メニューからインストールします。

プリンタ LAN 設定ツール

プリンタに IPv4 アドレスを設定したり、設定した IPv4 アドレスを変更したりするためのソフトウェアです。

本ツールを使用するには、オプション LAN カード（FMPR-LN4）が必要です。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機

■機能

機能	概要
IP アドレスの設定	オプション LAN カード（FMPR-LN4）に、IPv4 アドレスを設定します。

IPv4 アドレスを設定する方法については、「LAN カードに IP アドレスを設定する」（→ P.55）をご覧ください。

■セットアップ

◎「FMPR プリンタユーティリティ」の「IP アドレス設定」メニューを選択すると起動します。プリンタ LAN 設定ツールは、IPv6 アドレスには対応していません。IPv6 アドレスを設定する方法については、「IPv6 アドレスを有効にする」（→ P.76）をご覧ください。

印刷関連のソフトウェア

POINT

- ・ネットワークを利用する印刷には、オプションの LAN カード（FMPR-LN4）が必要です。

FMPRnavi2

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	・ パラレルポート ・ USB ポート ・ FMPR TCP/IP Port

■機能

POINT

- ・「FMPRnavi2」は、プリンタドライバのアドインプログラムとして動作します。プリンタドライバのみをインストールした場合は、後から個別にインストールできます。
- ・ユニバーサルアプリからの印刷時には、FMPRnavi2 はご使用になれません。

機能	概要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	用紙づまりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります。

■セットアップ

◎「FMPR プリンタユーティリティ」の「FMPRnavi2」メニューを選択するとインストールされます。詳しくは、「印刷関連のソフトウェア」（→ P.151）をご覧ください。

FMPRnavi2 機能の便利な使い方

■プリンタ状態の参照や印刷中止、印刷の完了通知を行いたい

パソコンとプリンタ間で次のやり取りを行えます。

- ・接続されているプリンタの状態や、セットされている用紙サイズなどを参照
- ・印刷を行ったパソコンからの印刷中止操作
- ・印刷完了通知のメッセージ表示

詳しくは、「「FMPRnavi2」タブ [注 2]」（→ P.107）をご覧ください。

■消耗品の交換警告の履歴や印刷ログなどのメンテナンス情報を管理したい

次のようなメンテナンス機能を利用できます。

- ・FMPRnavi2 印刷ログビューア

プリントサーバまたは直接プリンタに接続したパソコンから、印刷履歴のログを採取し、参照できます。また、「FMPRnavi2 印刷ログビューア」では、採取したログを CSV ファイルとして出力できます。「FMPRnavi2 印刷ログビューア」については、「印刷ログ機能 (印刷ログビューア)」（→ P.128）をご覧ください。

2

第2章 プリンタの接続

この章では、プリンタを接続し（プリンタとパソコンを直接接続し）、プリンタドライバ（FMPR ドライバ）、FMPR ユーティリティ、および FMPRnavi2 をインストールする方法を説明します。

1 接続インターフェースについて	20
2 USB / パラレルインターフェースで接続する	21
3 FMPR リモートパネルをインストールする	31
4 FMPRnavi2 をインストールする	37

1 接続インターフェースについて

パソコンとプリンタを直接接続する場合、USB インターフェースまたはパラレルインターフェースを利用します。どちらのインターフェースで接続するかは、お使いのパソコンが備えるインターフェースや、パソコンの OS などの条件で変わってきます。ここでは、各インターフェースの動作条件およびプリンタドライバのインストール方法の概要を説明します。

お使いのパソコンが備えるインターフェースや OS については、パソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

重要

- ・プリンタドライバインストール前に次の表をご確認いただき、お使いのパソコンや OS に適合したインストール方法を選択してください。

USB インターフェースによる接続

項目	内容
パソコン	USB インターフェースを搭載している PC/AT 互換機
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
インストール方法	⑨「FMPR プリンタユーティリティ」をセットしメニューを選択することによって、インストールを行います。

パラレルインターフェースによる接続

項目	内容
パソコン	双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
インストール方法	⑨「FMPR プリンタユーティリティ」をセットしメニューを選択することによって、インストールを行います。

2 USB / パラレルインターフェースで接続する

USB、パラレルインターフェースで接続する場合に、プリンタドライバのインストール方法を説明します。

プリンタドライバをインストールする

ここでは、パソコンとプリンタを USB またはパラレルケーブルで接続したときのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

◎「FMPR プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順は、USB 接続とパラレルインターフェース接続の場合で共通です。

重要

- ・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。
- ・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は「プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき」(→ P.168) の手順でインストールを行ってください。

ここでは、例として FMPR5630 のプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。

2 ◎「FMPR プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 「ドライバインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

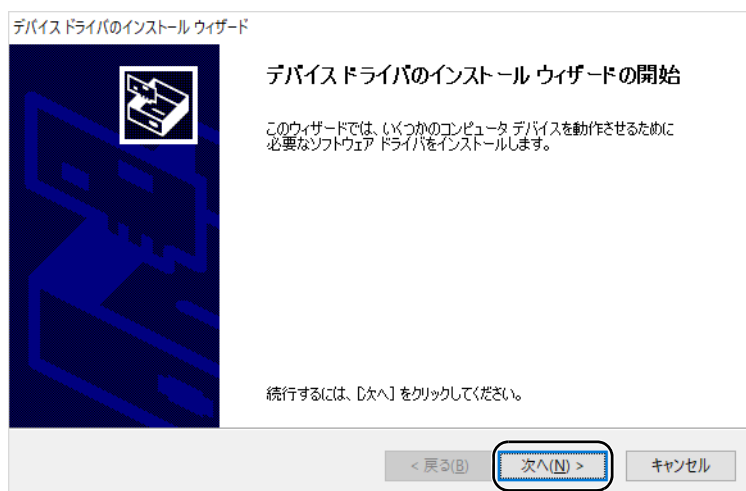
4 「プリンタドライバ」からお使いの機種のプリンタ名を選択し、「インストール」をクリックします。



POINT

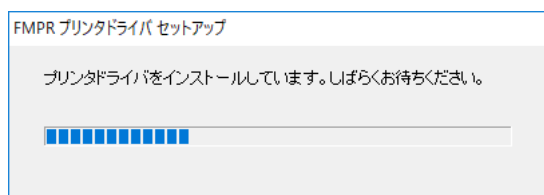
- ・ 平行 (LPT1) または USB 接続でプリンタドライバを初めてインストールするときは、「既存のプリンタポートを使用」のチェックを外してください。

- 5 「デバイスドライバのインストールウィザード」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。



Windows セキュリティ「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」のメッセージが表示されたら「"FUJITSU LIMITED" からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックを付け、インストールしてください。

ドライバインストールのウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを完了させます。



インストールが完了すると、「デバイスドライバのインストールウィザード」ウィンドウに戻ります。

- 6 「完了」をクリックします。
- 7 「プリンタドライバを **Windows** に登録しました。」という画面が表示されたら、「**OK**」をクリックします。
- 8 「キャンセル」をクリックします。
「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウに戻ります。
- 9 「終了」をクリックして、「**FMPR** プリンタユーティリティ」ウィンドウを閉じます。

10 プリンタとパソコンを接続します。

プリンタとパソコンを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「プリンタを設置、接続する」をご覧ください。

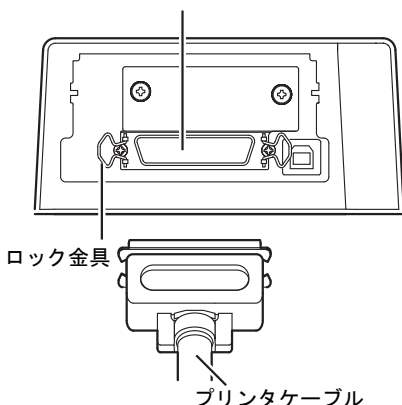
重要

パラレルインターフェース接続の場合

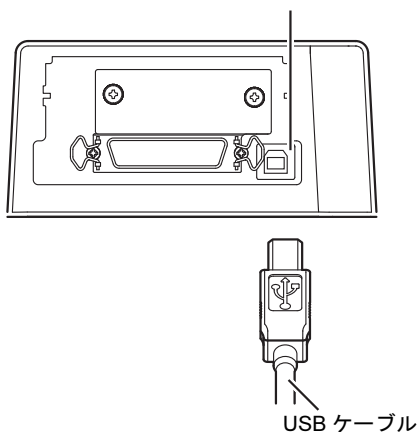
プリンタとパソコンの電源を切った状態で接続し、プリンタ、パソコンの順番で電源を入れてください。

1. プリンタの電源が切れていることを確認し、プリンタとパソコンを USB ケーブルまたはプリンタケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

パラレルケーブルコネクタ

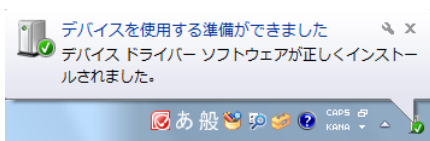


USB ケーブルコネクタ



POINT

- ・ FMPR5130 の USB ケーブルコネクタは、パラレルケーブルコネクタの左側にあります。
- ・ USB ケーブルで接続したときは、「デバイスを使用する準備ができました。」と表示されます。



「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが追加されていれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

- 11 続けて、別のプリンタドライバをインストールする場合は、手順 4 (→ P.22) に戻り、「プリンタドライバ」からお使いの機種種のプリンタ名を選択し、「インストール」をクリックします。
終了する場合は、「キャンセル」をクリックして、「FMPR プリンタドライバセットアップ」ウィンドウを閉じます。

12 FMPR リモートパネルと FMPRnavi2 をインストールする場合は、「FMPR リモートパネルをインストールする」(→ P.31) または「FMPRnavi2 をインストールする」(→ P.37) をご覧になり、インストールします。

プリンタの追加でインストールする

◎「FMPR プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

インストール手順は、USB接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で共通です。ここでは FMPR5630 のプリンタドライバをインストールする例で説明します。

1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。

2 ◎「FMPR プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください

3 「ドライバインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4 「プリンタドライバ」からお使いの機種プリンタ名を選択し、「既存のプリンタポートを使用」にチェックを付け、「インストール」をクリックします。



インストールが完了すると、手順 3 の「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 5 続けて別のプリンタドライバをインストールする場合は、プリンタ名を選択してインストールします。
終了する場合は、「キャンセル」をクリックして、「**FMPR** プリンタドライバセットアップ」ウィンドウを閉じます。

プリンタのアイコンを削除する

重要

- ・コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・Windows が起動している場合は再起動してください。

- 1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2 「**FUJITSU FMPR5630** プリンタ」アイコンを右クリックし、「デバイスの削除」をクリックします。

3 「はい」をクリックします。



プリンタアイコンが削除されます。

プリンタドライバを削除する

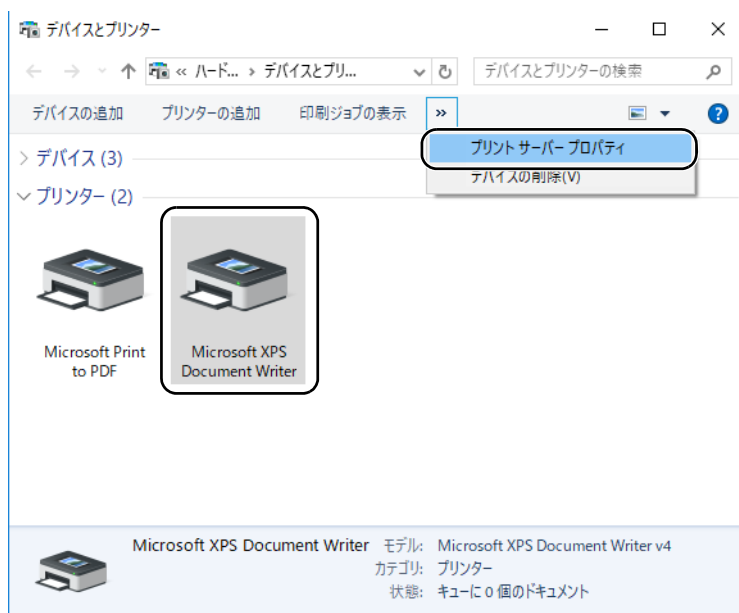
重要

- ・ コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・ Windows が起動している場合は再起動してください。

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

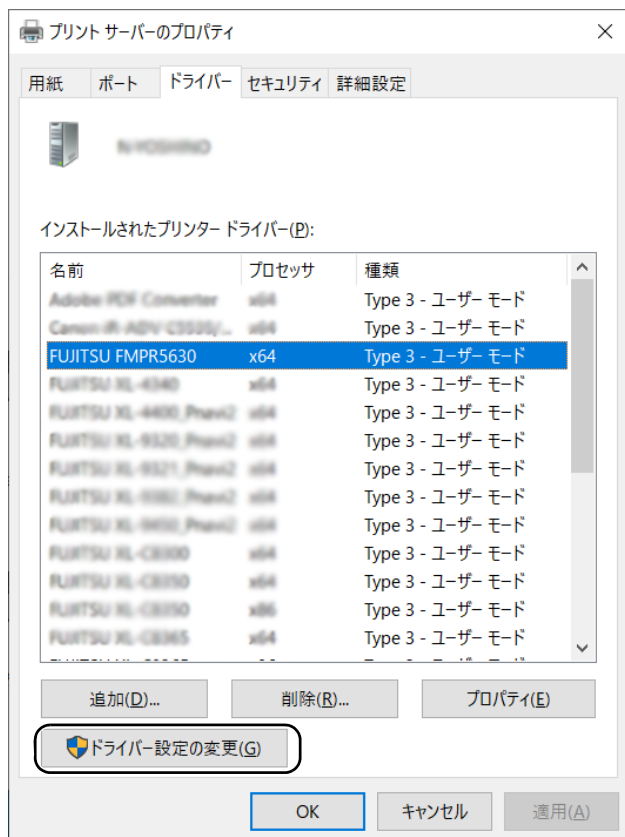
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 インストールされているプリンタアイコンをクリックし、「プリントサーバープロパティ」をクリックします。



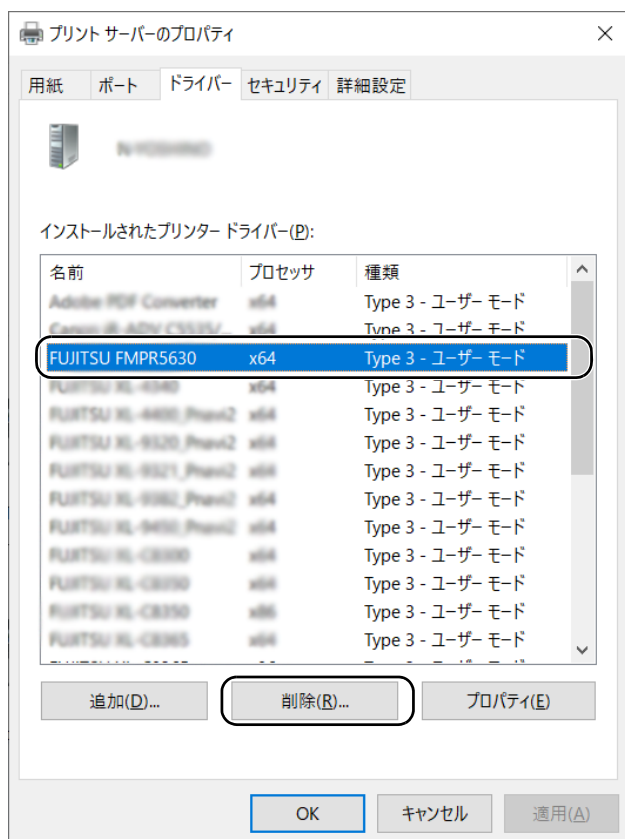
3 「プリント サーバーのプロパティ」ウィンドウの「ドライバー」タブをクリックします。

4 「ドライバー設定の変更」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

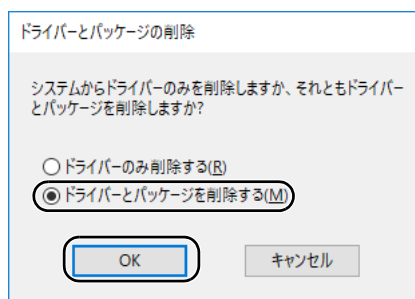
5 「FUJITSU FMPR5630」を選択し、「削除」をクリックします。



重要

- ・「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

6 「ドライバーとパッケージの削除」ウィンドウが表示されたら、「ドライバとドライバ パッケージを削除する」（または「ドライバーとパッケージ」）にチェックを付け、「OK」をクリックします。



7 確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

8 「ドライバーとパッケージの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除」をクリックします。

9 削除が終了したら、「OK」をクリックします。

10 **Windows** を再起動します。

重要

- ・ プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって添付の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、「キャンセル」をクリックしてください。

プリンタドライバを更新する

プリンタドライバの更新は、「プリンタドライバを削除する」(→ P.27) で削除し、再度プリンタドライバをインストールしてください。

3 FMPR リモートパネルをインストールする

FMPR リモートパネルのインストールは次の手順で行ってください。
機能については、「FMPR リモートパネル」(→ P.142)をご覧ください。


POINT

- ・本ソフトウェアをインストールするときは、必ずプリンタドライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- ・本ユーティリティをインストール中、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合がありますので、「はい」をクリックしてください。

初めてインストールする

FMPR ユーティリティを初めてインストールするときは、次の手順で行います。

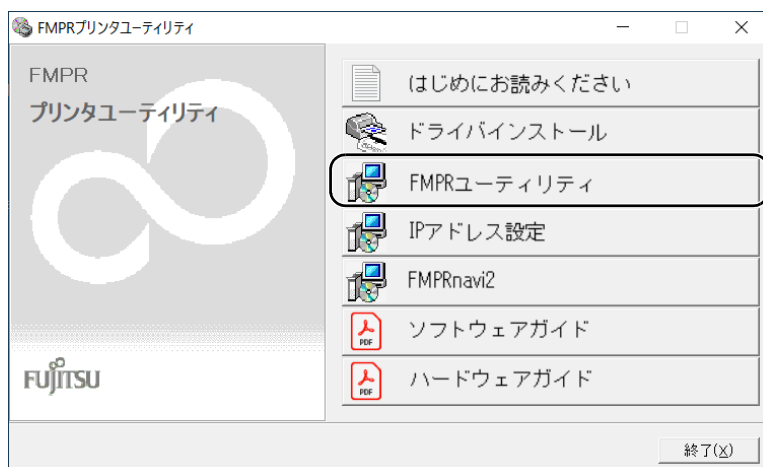
1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。

2  「**FMPR プリンタユーティリティ**」をパソコンにセットします。
「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

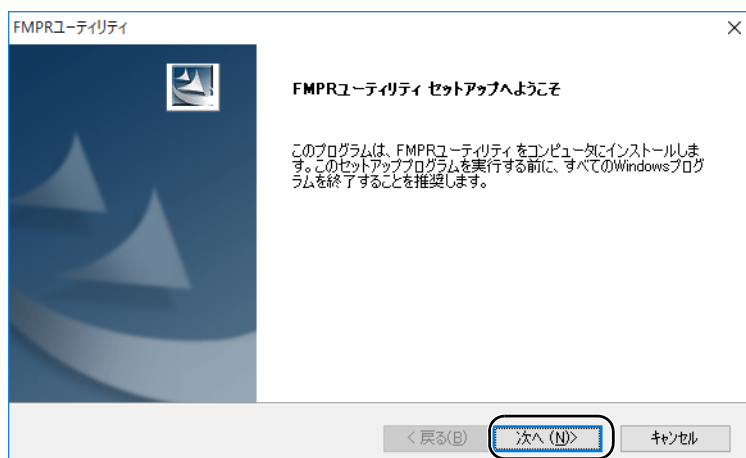
- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 「FMPR ユーティリティ」をクリックします。

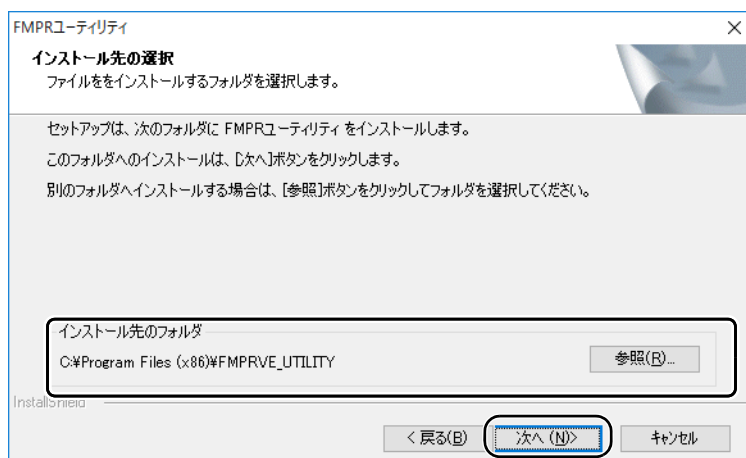


「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

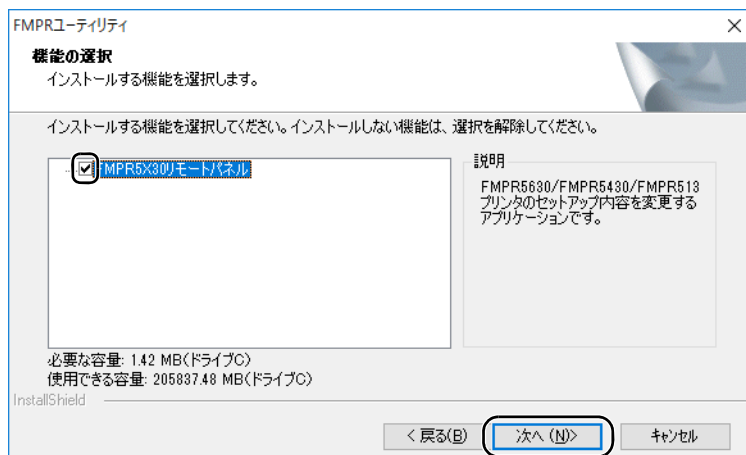
4 「FMPR ユーティリティ」ウィンドウが表示されるので、「次へ」をクリックします。



- 5** インストールするフォルダーを指定し、「次へ」をクリックします。
フォルダーを変更する場合は、「参照」をクリックして、フォルダーを選択します。

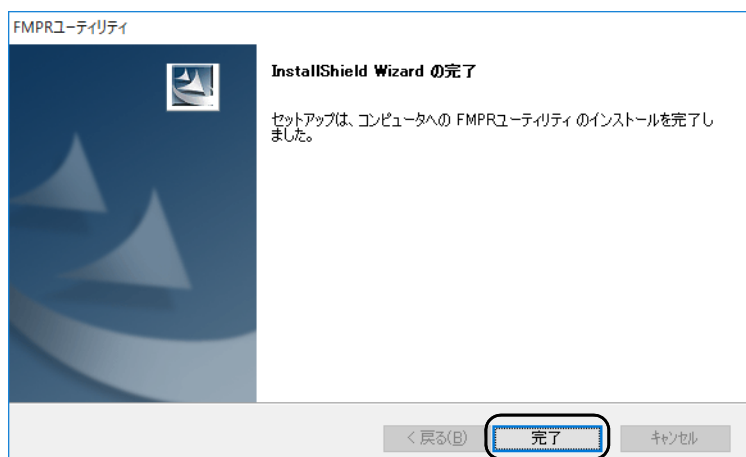


- 6** インストールするソフトウェアにチェックを付け、「次へ」をクリックします。



インストールが開始されます。

7 「完了」をクリックします。



これで FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル）のインストールは終了です。

FMPR ユーティリティをメンテナンスする

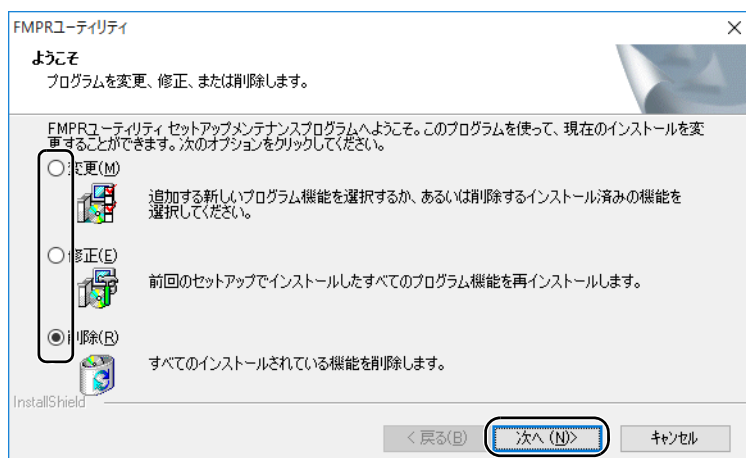
インストールされている FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル）をメンテナンス（ソフトウェアの変更、修正、削除）するときは、次の手順で行います。

重要

- ・プリンタドライバなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのバージョンアップが行われることがあります。
バージョンアップ情報やソフトウェアは、富士通製品情報ページ（<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>）から入手できます。
プリンタドライバの更新には、すでにインストールされているバージョンより新しいバージョンのプリンタに添付の©「FMPR プリンタユーティリティ」または富士通製品情報ページ（<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>）からダウンロードしたプリンタドライバが必要です。

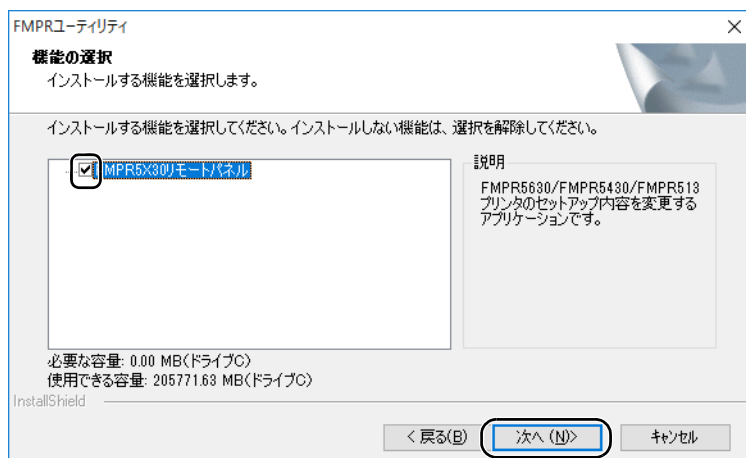
- 1 **FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル）を終了します。**
- 2 **コントロールパネルを起動します。**
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」（→ P.7）をご覧ください。
- 3 **「プログラムのアンインストール」をクリックします。**
- 4 **「FMPR ユーティリティ」を選択して、「変更」をクリックします。**

5 メンテナンスしたい内容にあわせてオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



- ・インストール済みの FMPR ユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、「次へ」をクリックします。手順 6 へ進みます。
- ・前回と同じソフトウェアを再インストールするときは、「修正」を選択し、「次へ」をクリックします。FMPR ユーティリティの再インストールが開始されます。手順 8 へ進みます。
- ・インストールされている FMPR ユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。手順 7 へ進みます。

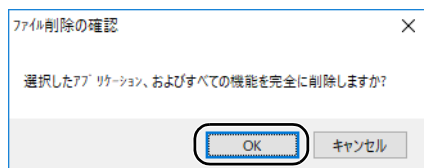
6 変更するソフトウェアを選択し、「次へ」をクリックします。



チェックを付けると、ソフトウェアが追加されます。チェックを外すと、ソフトウェアは削除されます。

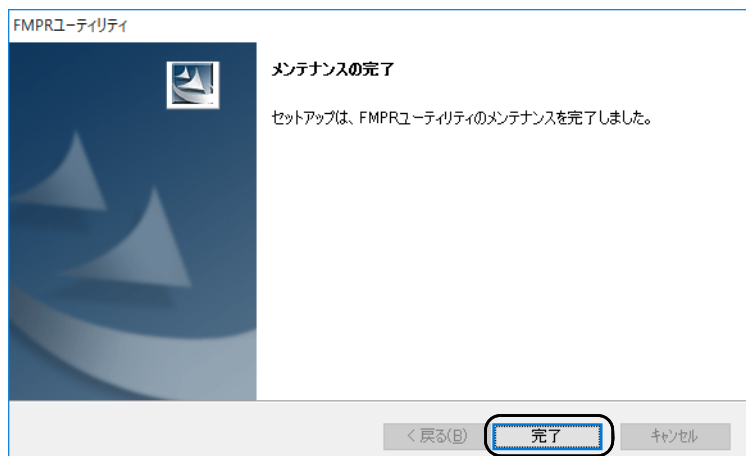
「次へ」をクリックすると、ソフトウェアの変更が開始されます。手順 8 へ進みます。

7 「OK」をクリックします。



ソフトウェアのアンインストールが開始されます。

8 「完了」をクリックします。



これで FMPR ユーティリティ（FMPR リモートパネル）のメンテナンスは終了です。

4 FMPRnavi2 をインストールする

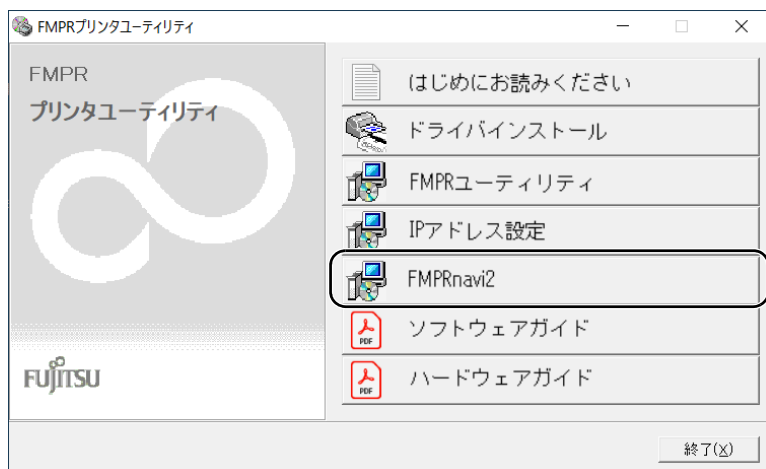
FMPRnavi2 のインストールは次の手順で行ってください。

- 1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。
- 2 ②「**FMPR プリンタユーティリティ**」をパソコンにセットします。
「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください。

- 3 「**FMPRnavi2**」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」をクリックします。
「FMPRnavi2 セットアップの開始」が表示されます。

4 内容を確認し、「次へ」をクリックします。



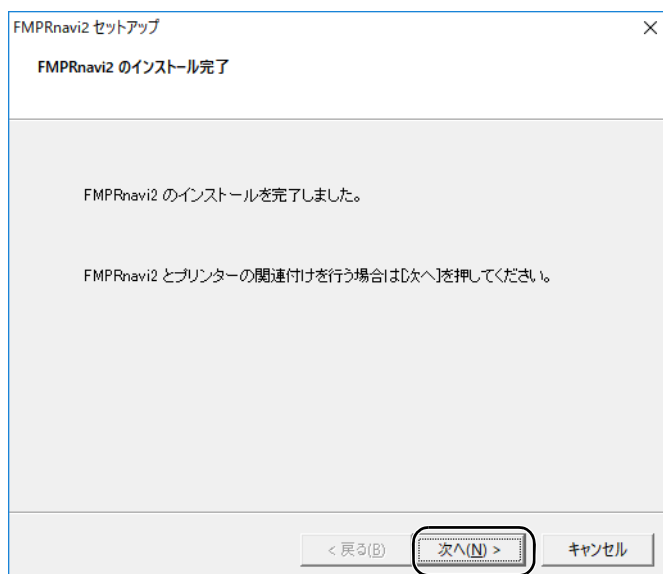
5 「インストール先フォルダ」を確認し、「次へ」をクリックします。

フォルダーを変更する場合は、「参照」をクリックして、フォルダーを選択します。

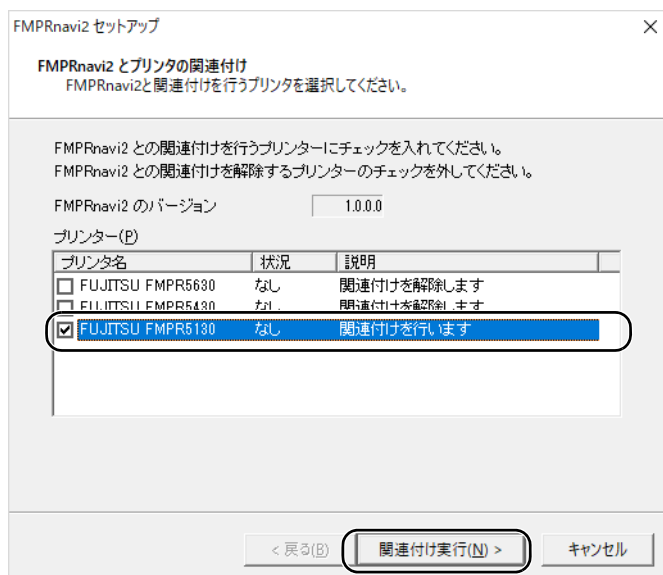


「FMPPRnavi2」のインストールが開始されます。
インストールが完了すると、「FMPPRnavi2 のインストール完了」が表示されます。

- 6 「FMPRnavi2」とプリンタの関連付けを行うため、「次へ」をクリックします。



- 7 関連付けを行うプリンタを選択し、「関連付け実行」をクリックします。



「FMPRnavi2」とプリンタの関連付けが行われ、「FMPRnavi2 セットアップの完了」が表示されます。

POINT

- ・「FMPRnavi2」との関連付けを行わないプリンタでは、「FMPRnavi2」の機能を使用することができません。
- ・プリンタの一覧には、「FMPRnavi2」に対応したプリンタのみ表示されます。
- ・関連付けを行ったプリンタは、「プリンターのプロパティ」ウィンドウに「FMPRnavi2」タブが追加され表示されます。

- ・状況欄に「使用不可」と表示されるプリンタは、現在「FMPRnavi2」が使用できない環境になっています。関連付けを行うことはできますが、「FMPRnavi2」の機能を使用することはできません。「FMPRnavi2」の動作環境については、「動作環境」（→ P.16）をご覧ください。
- ・「FMPRnavi2」との関連付けは、インストール後に行うこともできます。「FMPRnavi2 とプリンタドライバの関連付け」（→ P.40）をご覧ください。

8 「はい。今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。

Windows が再起動します。

POINT

- ・「FMPRnavi2」をインストールすると、アプリ画面に次のプログラムが追加されます。
- ・「FUJITSU Printer Utility」

FMPRnavi2 とプリンタドライバの関連付け

「FMPRnavi2」を使用するためには、プリンタドライバとの関連付け設定を行う必要があります。関連付けの設定または解除は、「FMPRnavi2 設定」を使って行います。

「FMPRnavi2 設定」は、「FMPRnavi2」をインストールすると、アプリ画面または「スタート」メニューに登録され、「FMPRnavi2」を削除するといっしょに削除されます。

1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。

2 「FMPRnavi2 設定」を起動します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Fujitsu Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 設定」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FUJITSU Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 設定」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 設定」をクリックします。

■ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

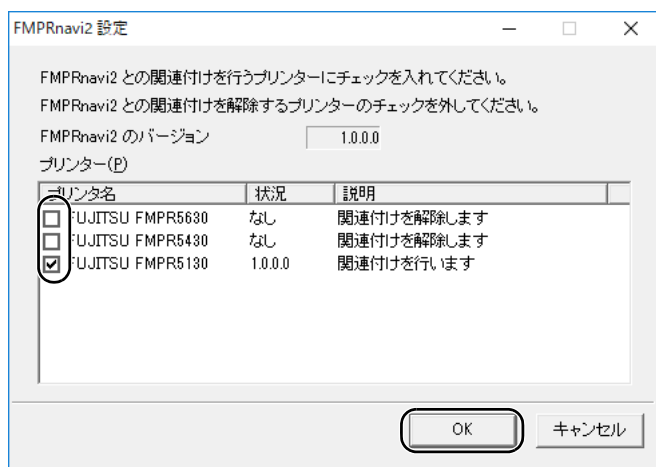
1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 設定」をクリックします。

「FMPRnavi2 設定」ウィンドウが表示されます。

3 関連付けを行うプリンタを選択または解除し、「OK」をクリックします。

☒ にすると、「FMPRnavi2」とプリンタドライバの関連付けの設定を行います。

☐ にすると、関連付けを解除します。



POINT

・「状況」欄について

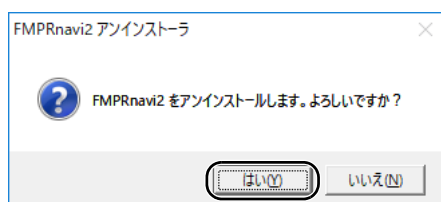
プリンタ名の右側の「状況」欄には、現在の関連付け設定状況が表示されます。

表示	説明
FMPRnavi2 バージョン	表示されているバージョンの「FMPRnavi2」と関連付け設定されている状態です。
なし	関連付けが解除されている状態です。
使用不可	関連付け設定を行っても「FMPRnavi2」を使用できない状態です。「FMPRnavi2」の動作環境については、「動作環境」(→ P.16)をご覧ください。

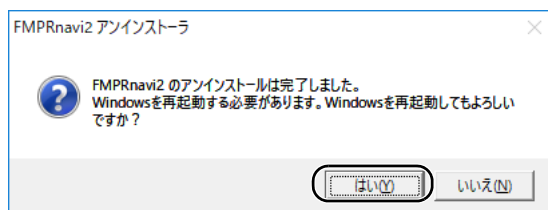
FMPRnavi2 を削除する

インストールされている FMPRnavi2 を削除するときは、次の手順で行います。

- 1 コントロールパネルを起動します。
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。
- 2 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
- 3 「FMPRnavi2」を選択して、「アンインストールと変更」をクリックします。
- 4 「はい」をクリックします。



- 5 「はい」をクリックします。



3

第 3 章 ネットワークを利用した プリンタの接続

この章では、プリンタをネットワークに接続し、印刷する方法を説明します。

1 ネットワーク接続の準備について	44
2 IPv4 環境で使用する	47
3 IPv6 環境で使用する	76

1 ネットワーク接続の準備について

プリンタをLANケーブルでネットワークに接続した場合、印刷方法によりインストールの順番や設定方法などが異なります。ここでは、印刷方法ごとの作業の流れを説明します。

作業の流れ

次の手順でネットワーク接続を設定します。

- 1 事前準備 (→ P.44)
- 2 パソコンのネットワーク設定を確認／記録する (→ P.47)
- 3 パソコンのインターネットの設定を確認／記録／変更する (→ P.50)
- 4 プリンタ LAN 設定ツールをインストールする (→ P.52)
- 5 LAN カードに IP アドレスを設定する (→ P.55)
- 6 パソコンへの印刷ポートの設定
 - ・ FMPR TCP/IP Port で印刷する場合 (→ P.60)
 - ・ OS 標準のクライアント機能 (Standard TCP/IP ポート) で印刷する場合 (→ P.64)
 - ・ OS 標準のクライアント機能 (LPR ポート) で印刷する場合 (→ P.70)

IPv6 環境で使用する場合は、続けて次の作業を行ってください。

- 7 IPv6 アドレスを有効にする (→ P.76)
- 8 パソコンのネットワーク設定を確認する (→ P.79)
- 9 パソコンへの印刷ポートの設定
 - ・ Standard TCP/IP ポートで印刷する場合 (→ P.81)
 - ・ LPR ポートで印刷する場合 (→ P.87)

事前準備

IP アドレスを設定するため、次の環境を準備してください。

- ・ 設定用パソコン

プリンタ LAN 設定ツールをインストールします。

ネットワーク設定として次の確認、設定を行ってください。

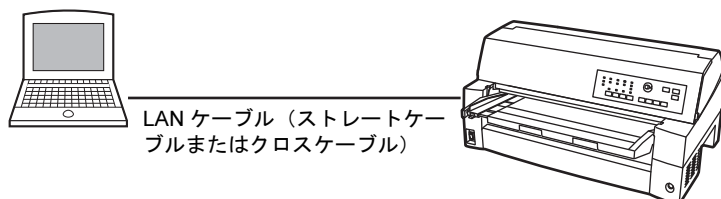
 - 使用する LAN ポートの IP アドレス (IPv4) を手動で設定し、DHCP を無効にしてください。
 - インターネットの設定でプロキシサーバーを無効にしてください。
プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にしてください。
 - 市販のアンチウィルスソフトやファイアウォールが有効の場合は、一時的に無効にしてください。

POINT

- ・パソコンのネットワーク設定の変更前に、ネットワーク設定を必ず記録してください。
IP アドレス設定済みの LAN カードを使用する場合は、パソコンのネットワーク設定の変更は不要です。

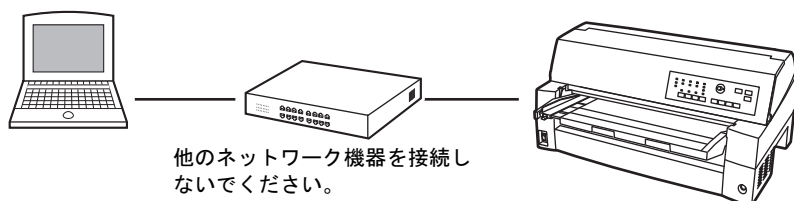
・ LAN カード設定用ネットワーク

設定用パソコンと本製品に搭載した LAN カードのみを接続した環境で設定してください。



Auto MDI/MDIX に対応した LAN インターフェースを搭載したパソコンは自動でストレートケーブル／クロスケーブルを判断し接続します。

うまく接続できない場合は、次のように HUB を使用した環境をご用意ください。



POINT

- ・無線 LAN ルータや DHCP サーバなど、他のネットワーク機器が同一ネットワークに存在すると、設定ができない場合があります。

環境の準備ができれば、次に、LAN カードに IPv4 アドレスを設定します。「IPv4 環境で使用する」（→ P.47）に進んでください。

IPv6 環境をご使用になる場合は、まず、LAN カードに IPv4 アドレスを設定する必要があります。IPv4 アドレスを設定した後に、IPv6 アドレスを有効にします。詳しくは、「IPv6 環境で使用する」（→ P.76）をご覧ください。

重要

- ・他のプリンタで使用していた LAN カードを流用する場合は、LAN カードに以前の環境設定が残っているため、LAN カードに設定できないことがあります。LAN カードの初期化の後、再設定を行ってください。LAN カードの初期化については、「LAN カードの初期化」（→ P.190）をご覧ください。

印刷ポートについて

プリンタに LAN ケーブルを直接接続して印刷する場合は、次の方法があります。

- FMPR TCP/IP Port を使用して印刷する

FMPR TCP/IP Port は、双方向プリンティングシステムに対応した、FMPR シリーズ専用のポートです。

この FMPR TCP/IP Port を使用し、LAN に直接接続されたプリンタに印刷します。

FMPRnavi2 や FMPR リモートパネルを使用する場合は、FMPR TCP/IP Port を使用するようしてください。

- Standard TCP/IP ポートを使用して印刷する

OS 標準の Standard TCP/IP ポートの「LPR」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN に直接接続されたプリンタに印刷します。

Standard TCP/IP ポートを使用した印刷では、プリンタドライバのみのサポートとなり、FMPRnavi2 や FMPR リモートパネルは使用できません。

- LPR ポートを使用して印刷する

OS 標準の LPR ポート使用し、LAN に直接接続されたプリンタに印刷します。

LPR ポートを使用した印刷では、プリンタドライバのみのサポートとなり、FMPRnavi2 や FMPR リモートパネルは使用できません。

2 IPv4 環境で使用する

ここでは、Windows の IPv4 環境で LAN カード（FMPR-LN4）を接続して、TCP/IP で印刷する方法について説明します。

IPv4 環境から TCP/IP で印刷する

LAN カードを TCP/IP プロトコルを使用して印刷するときの手順は次のとおりです。

重要

- ・ あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。詳しくは、「プリンタドライバをインストールする」（→ P.21）をご覧ください。
- ・ 設定を行うには、管理者権限が必要です。
- ・ LAN カードの設定時に、設定用パソコンのネットワークの設定、インターネットの設定（プロキシサーバーの設定）の変更が必要になる場合があります。変更前の設定を記録しながら作業を行ってください。

POINT

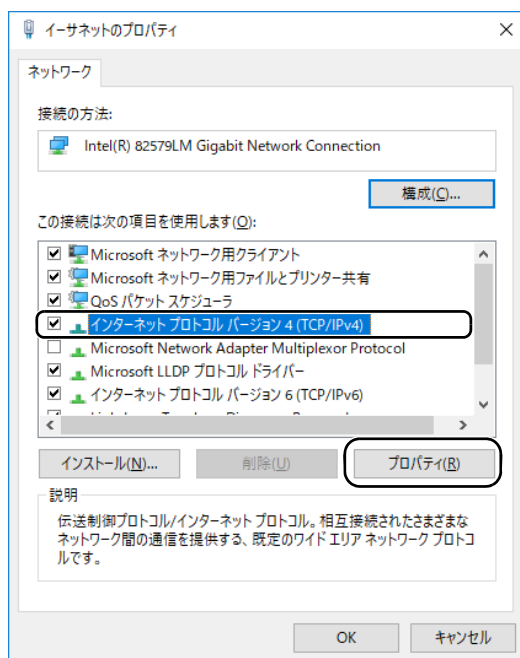
- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアントで印刷する場合は、「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」（→ P.64）をご覧ください。

パソコンのネットワーク設定を確認／記録する

「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」が追加されていることを確認します。

- 1** コントロールパネルを起動します。
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」（→ P.7）をご覧ください。
- 2** 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。
- 3** 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
お使いの OS によって、右クリックするアイコンが「イーサネット」など 표시됩니다。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」が追加されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」→「プロトコル」→「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、追加してください。

5 「全般」タブで、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認、記録します。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 0 . 1

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 0 . 1

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

続いて、設定用パソコンのみ、次の手順を行ってください。
「全般」タブの設定を、LAN カード設定用に変更します。LAN カード設定用に変更するため、一時的にパソコンの IP アドレスを手動で設定します。

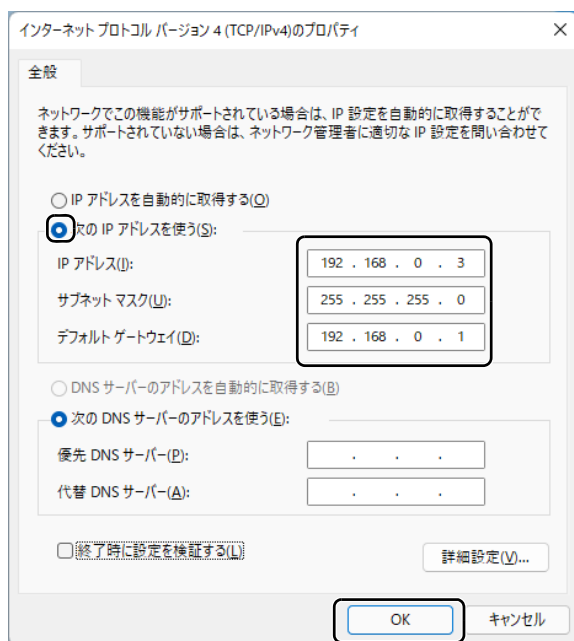
POINT

- ・ FMPR TCP/IP Port のみを追加する場合は、パソコンの設定や変更は不要です。

6 「次の IP アドレスを使う」にチェックを付け、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定し、「OK」をクリックします。

IP アドレスは、お客様の環境に合わせて指定してください。設定用パソコンのサブネットマスク、デフォルトゲートウェイはプリンタを接続する環境に合わせてください。

例えば、プリンタの IP アドレスが 192.168.0.2、サブネットマスクが 255.255.255.0、デフォルトゲートウェイが 192.168.0.1 の場合、設定用パソコンの IP アドレスは 192.168.0.3、サブネットマスクは 255.255.255.0、デフォルトゲートウェイは 192.168.0.1 となります。



重要

- ・ LAN カードの設定 (IPv4) が終了した後に、「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」の設定を元に戻してください。

パソコンのインターネットの設定を確認／記録／変更する

設定用パソコンのインターネットの設定を確認、記録します。設定用パソコン以外は、次の設定「プリンタ LAN 設定ツールをインストールする」(→ P.52)に進んでください。

1 コントロールパネルを起動します。

詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7)をご覧ください。

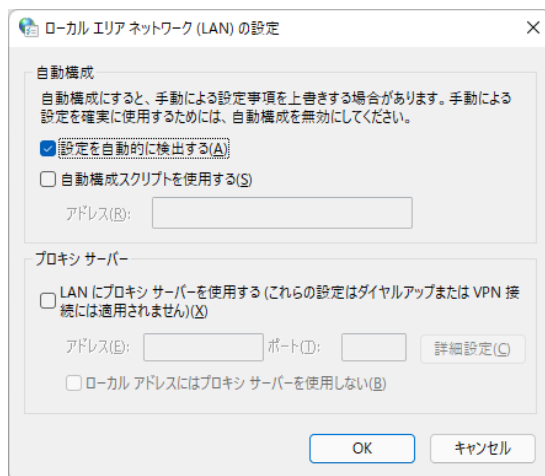
2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「インターネットオプション」の順にクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「接続」タブをクリックし、「LAN の設定」をクリックします。

「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ウィンドウが表示されます。

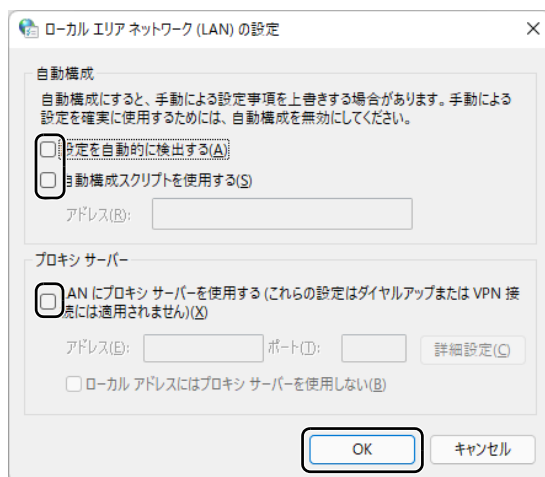
4 現在の「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の設定を確認、記録します。



お客様の環境によっては、自動構成のスクリプトやプロキシサーバーのアドレスが設定されています。

5 すべてのチェックボックスのチェックを外し、「OK」をクリックします。

プロキシサーバーの設定を一時的に無効にしてください。



重要

- ・ LAN カードの設定 (IPv4) が終了した後に、「インターネットオプション」の設定を元に戻してください。

プリンタ LAN 設定ツールをインストールする

LAN カード (FMPR-LN4) に、IP アドレスを設定するために必要なプリンタ LAN 設定ツールをインストールします。

POINT

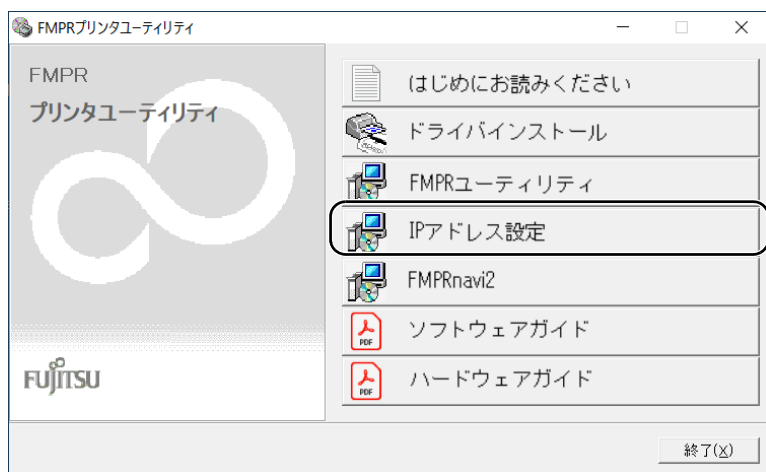
- ・プリンタ LAN 設定ツールは、FMPR-LN4 を使用して印刷するための最小限の設定をウィザード形式で行うソフトウェアです。IP アドレスの設定、ポートの作成、およびポートの設定を行います。

- 1 管理者権限をもったユーザーでサインインします。
- 2 ②「**FMPR プリンタユーティリティ**」をパソコンにセットします。
「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FMPR プリンタユーティリティ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・自動再生時や「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「FMPRSTART.EXE」であることを確認し、「Fmprstart.exe の実行」をクリックしてください

- 3 「**IP アドレス設定**」をクリックします。

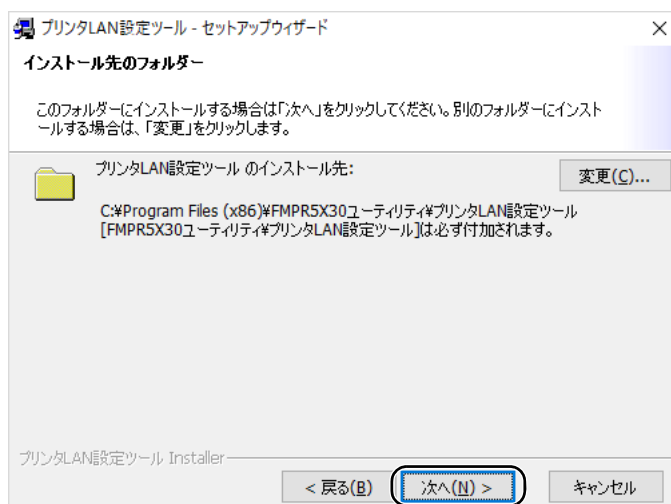


「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「プリンタ LAN 設定ツール - セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。



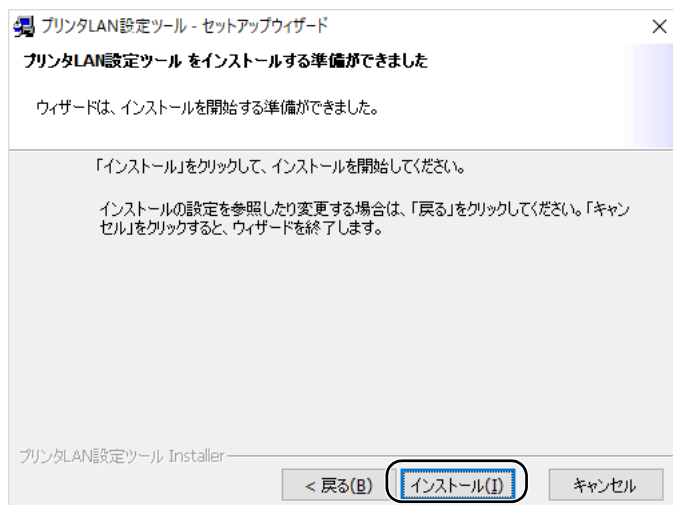
5 インストール先フォルダーを確認して、「次へ」をクリックします。



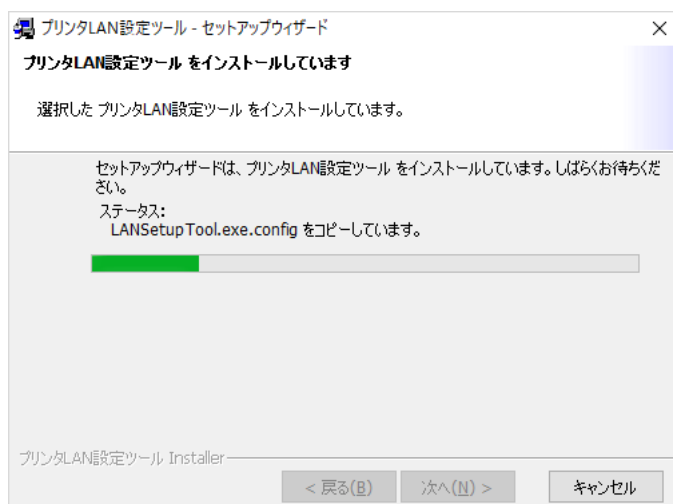
POINT

- ・「変更」をクリックすると、インストール先フォルダーを変更することができます。

6 「インストール」をクリックします。



インストール中は次の画面が表示されます。インストールが完了するまで、お待ちください。



7 「完了」をクリックします。




LAN カードに IP アドレスを設定する

オプションの LAN カード (FMPR-LN4) に IP アドレスを設定します。


LAN カードのプリンタへの取り付けは、『ハードウェアガイド』の「オプションを取り付ける」をご覧ください。

1 次の操作を行います。


■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

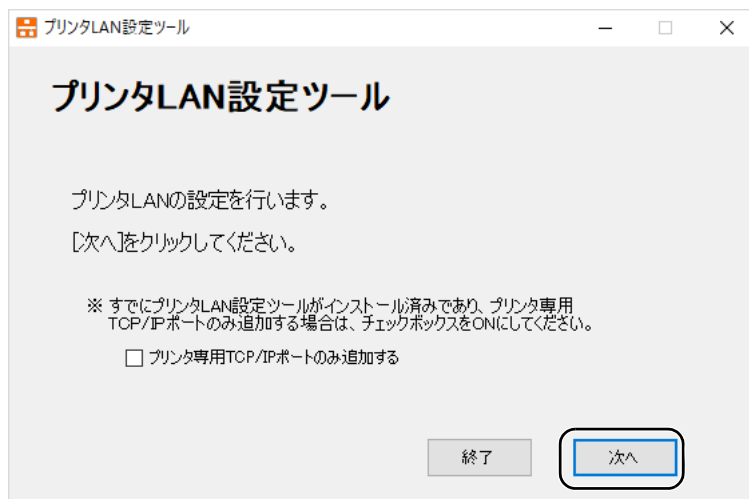
1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。

「プリンタ LAN 設定ツール」ウィンドウが表示されます。

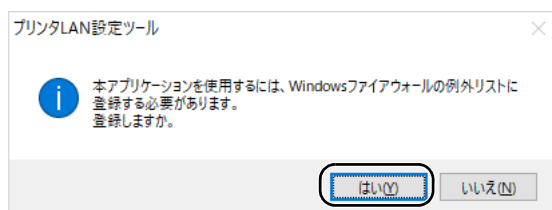
2 「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ プリンター専用 TCP/IP ポート（FMPR TCP/IP Port）のみを追加する場合は、「プリンタ専用 TCP/IP ポートのみ追加する」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。

3 「はい」をクリックします。



プリンタを検索する画面が表示されます。

4 設定するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ネットワークにケーブルを接続した状態でプリンタの電源を入れてください。
- ・プリンタが見つからない場合は、再度「検索」をクリックしてください。
- ・プリンタの電源を切り、プリンタの再起動後に再度検索してください。プリンタの電源を入れてから、LAN インターフェースの起動のため、30 秒程度お待ちください。
- ・検索で見つからない場合は、「LAN カードの初期化」(→ P.190) をご覧になり、LAN カードを初期化してください。
- ・MAC アドレスは、LAN カードのシールの表示を確認してください。
- ・DHCP サーバを搭載していない環境で、DHCP が「有効」に設定しているプリンタを検索した場合は、IP アドレスに「0.0.0.0」と表示されます。

5 IP アドレスを設定します。

重要

- ・LAN カードの IP アドレスは、手動で設定することをお勧めします。
ネットワークを使用した印刷ポートは、IP アドレスの値と連携した TCP/IP ポートを使用します。

■ DHCP サーバから IP アドレスを自動取得するとき

1. DHCP を「有効」に設定し、「次へ」をクリックします。

プリンタLAN設定ツール

プリンタLAN設定 (2/3)

LAN設定

DHCP: 有効

IPアドレス: [] . [] . [] . []

サブネットマスク: [] . [] . [] . []

ゲートウェイ: [] . [] . [] . []

戻る 次へ

■手動で IP アドレスを設定するとき

1. DHCP を「無効」に設定し、プリンタをお使いになる環境に合わせ、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定して、「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'Printer LAN Setting (2/3)' window. The title bar is 'プリンタLAN設定ツール'. The main heading is 'プリンタLAN設定 (2/3)' and the sub-heading is 'LAN設定'. There are four rows of settings: 'DHCP' with a dropdown menu set to '無効'; 'IPアドレス' with four input boxes containing '192', '168', '0', and '2'; 'サブネットマスク' with four input boxes containing '255', '255', '255', and '0'; and 'ゲートウェイ' with four input boxes containing '192', '168', '0', and '1'. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) on the left and '次へ' (Next) on the right, which is highlighted with a blue dashed border.

6 設定内容を確認し、「実行」をクリックします。

■DHCP サーバから IP アドレスを自動取得するとき

The screenshot shows the 'Printer LAN Setting (3/3)' window. The title bar is 'プリンタLAN設定ツール'. The main heading is 'プリンタLAN設定 (3/3)' and the sub-heading is 'LAN設定確認'. There is a large rectangular box containing the text 'DHCP' and '有効'. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) on the left and '実行' (Execute) on the right, which is highlighted with a blue dashed border.

■ 手動で IP アドレスを設定するとき

DHCP	無効
IPアドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

POINT

- ・ 設定内容に誤りがあった場合や IP アドレスを変更する場合は、「戻る」をクリックし、設定し直してください。

7 プリントサーバ（LAN カード：FMPR-LN4）に設定する「root パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

rootパスワードを入力してください

パスワード

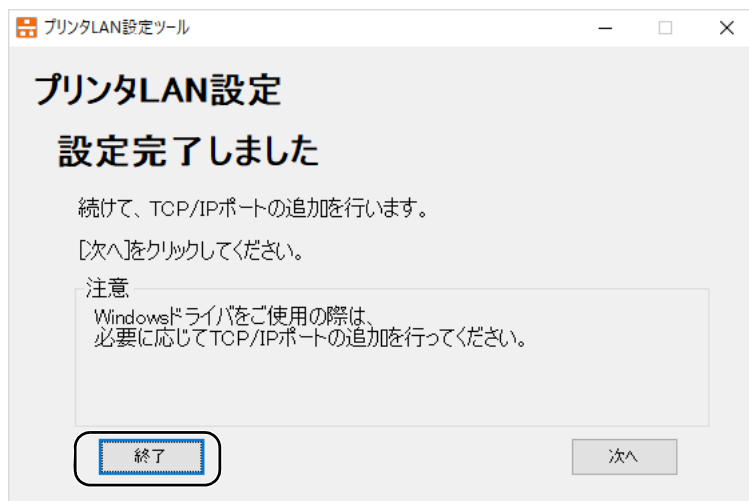
* 工場出荷時設定の場合は、パスワードは設定されていませんので、ブランクのままとしてください。

OK

POINT

- ・ root パスワードの初期値は「なし」（空白）になっていますので、プリンタ LAN カードが初期状態の場合は、パスワードの入力なしでそのまま「OK」をクリックしてください。

8 「終了」をクリックします。



POINT

- ・続けて、FMPR TCP/IP Port を作成するときは、「次へ」をクリックしてください。「次へ」をクリックすると、「FMPR TCP/IP Port で印刷する」の手順4（→ P.62）に進みます。

パソコンのネットワーク／インターネットの設定を作業前に戻す


LAN カードの設定のために、設定用パソコンの設定を変更した場合は、「パソコンのネットワーク設定を確認／記録する」（→ P.47）と「パソコンのインターネットの設定を確認／記録／変更する」（→ P.50）をご覧になり、記録したネットワークとインターネットの設定を元に戻してください。

FMPR TCP/IP Port で印刷する


ここでは、FMPR TCP/IP Port を追加する方法を説明します。

1 次の操作を行います。


■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。

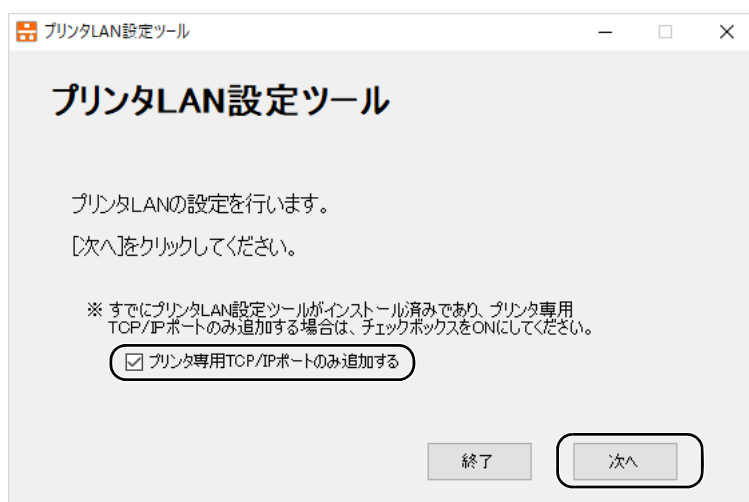
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。

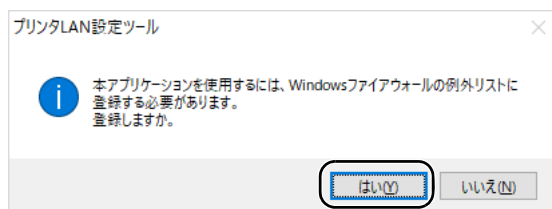
■ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。
「プリンタ LAN 設定ツール」ウィンドウが表示されます。

2 「プリンタ専用 TCP/IP ポートのみ追加する」にチェックを付けて、「終了」をクリックします。

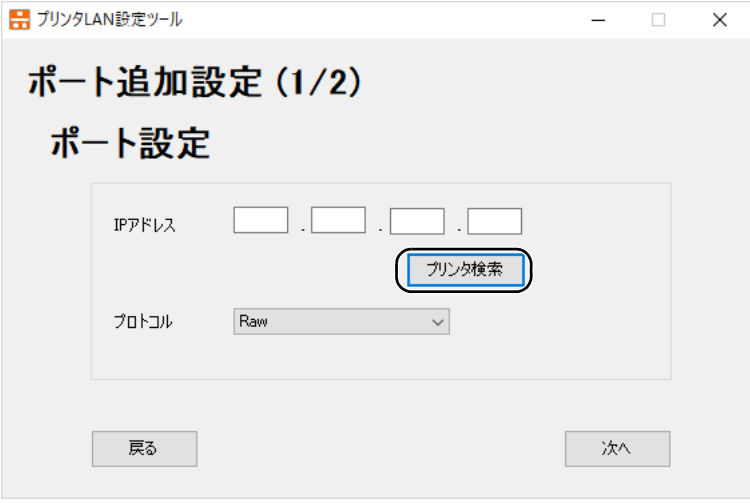


3 「はい」をクリックします。



4 「プリンタ検索」をクリックします。

複数プリンタが検索された場合は、選択画面が表示されますので、プリンタ専用 TCP/IP ポートを作成する IP アドレスを選択します。



プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定 (1/2)

ポート設定

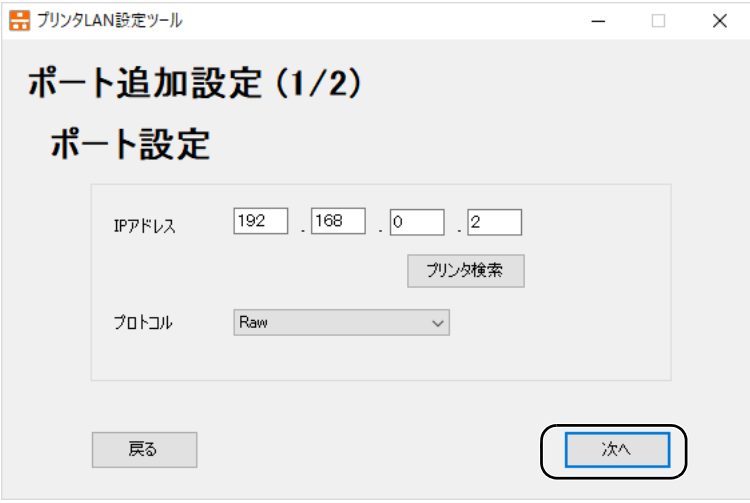
IPアドレス . . .

プリンタ検索

プロトコル Raw ▼

戻る 次へ

5 「次へ」をクリックします。



プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定 (1/2)

ポート設定

IPアドレス 192 . 168 . 0 . 2

プリンタ検索

プロトコル Raw ▼

戻る 次へ

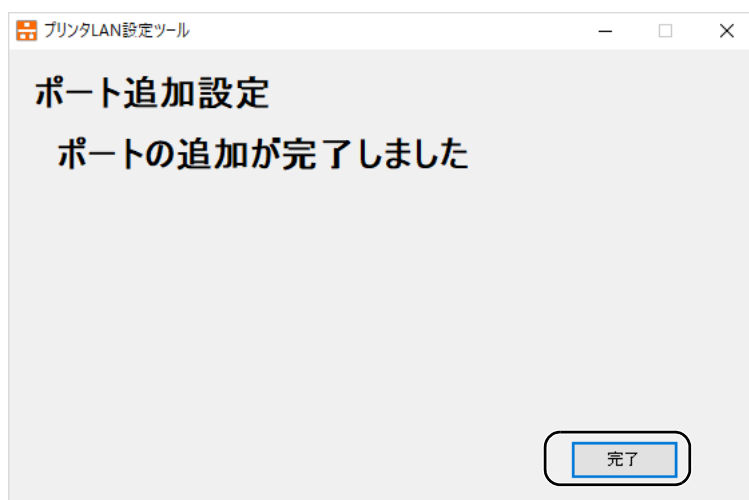
6 設定内容を確認し、「実行」をクリックします。



POINT

- ・ 設定内容に誤りがあった場合や IP アドレスを変更する場合は、「戻る」をクリックし、設定し直してください。

7 「完了」をクリックします。

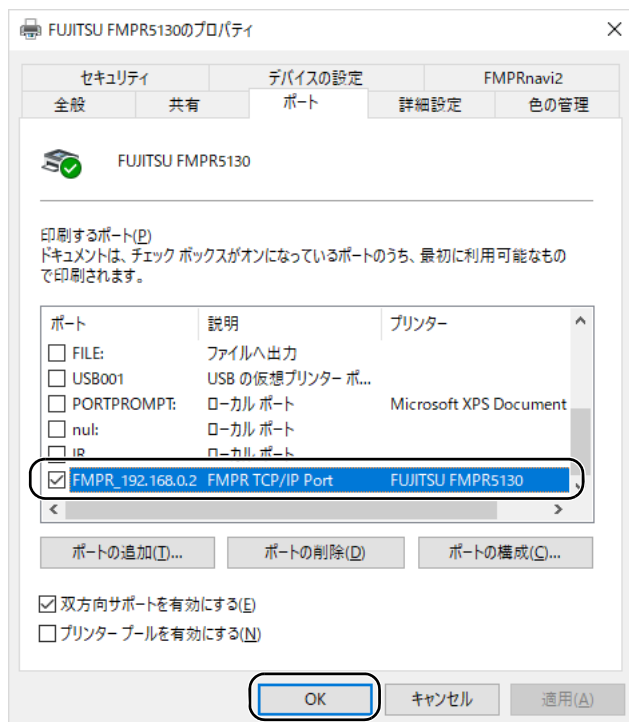


8 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

9 プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

10 「ポート」タブの「FMPR TCP/IP Port」を選択し、「OK」をクリックします。



OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する

ここでは、FMPRnavi2 を使用せず OS 標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法について、Windows 10 の画面例で説明します。

Standard TCP/IP ポートで印刷する

重要

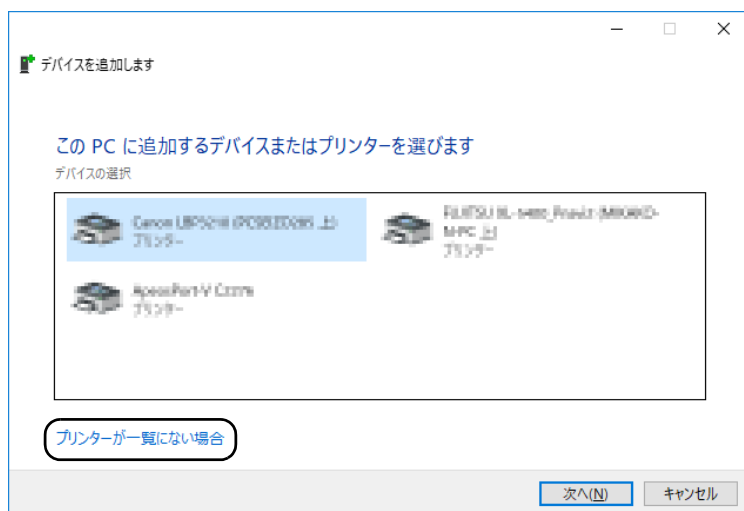
- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能では、「FMPRnavi2」をご利用することができません。
- ・ FMPR リモートパネルは、OS 標準ポートに対応していません。
- ・ Windows 10 以外の OS をお使いの場合、画面や手順が異なる場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 コントロールパネルを起動します。

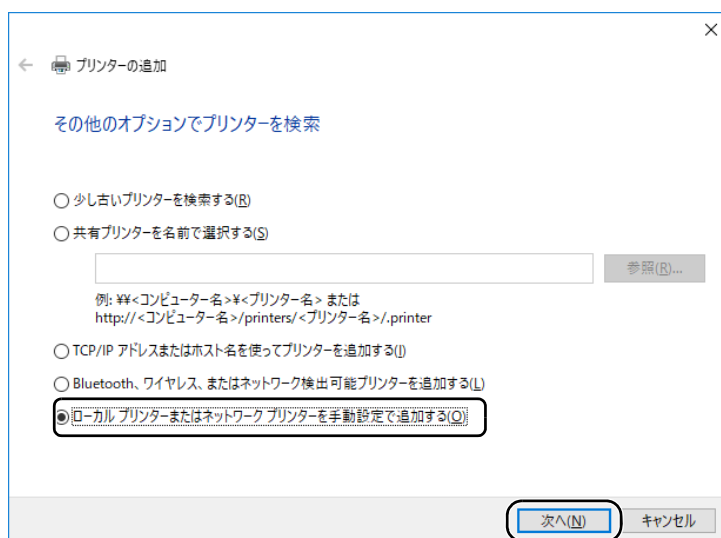
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。

2 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

3 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



4 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



- 5 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」に「**Standard TCP/IP Port**」を選択し、「次へ」をクリックします。

- 6 「プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する」にチェックを付けて、「ホスト名または IP アドレス」に **LAN** カードに設定した **IP アドレス** を入力し、「次へ」をクリックします。

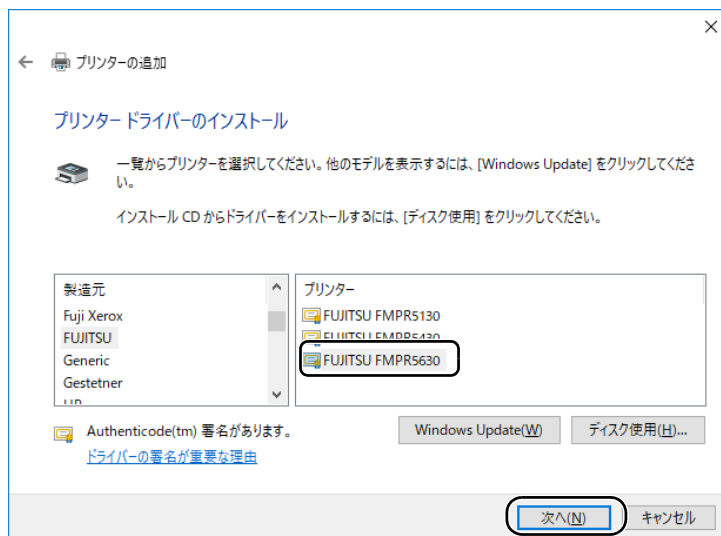
7 「デバイスの種類」で「カスタム」にチェックを付け、「設定」をクリックします。

8 「LPR」にチェックを付け、「キュー名」に「Ip」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを付け、「OK」をクリックします。

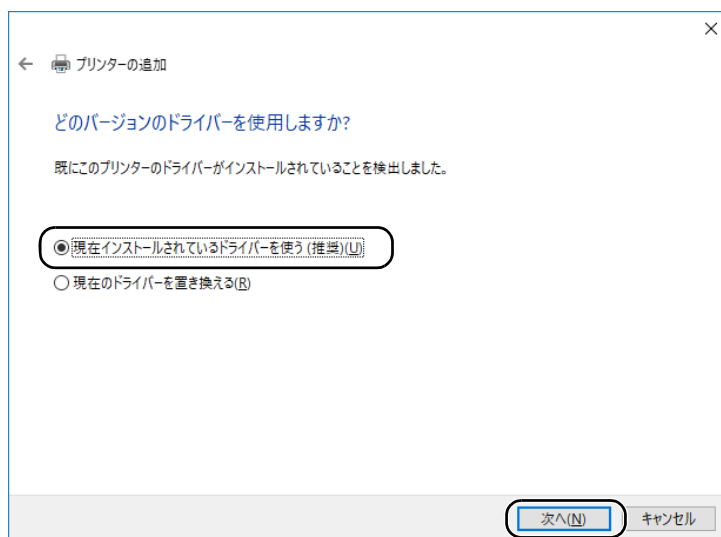
POINT

- ・「OK」をクリックすると、手順 7 の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

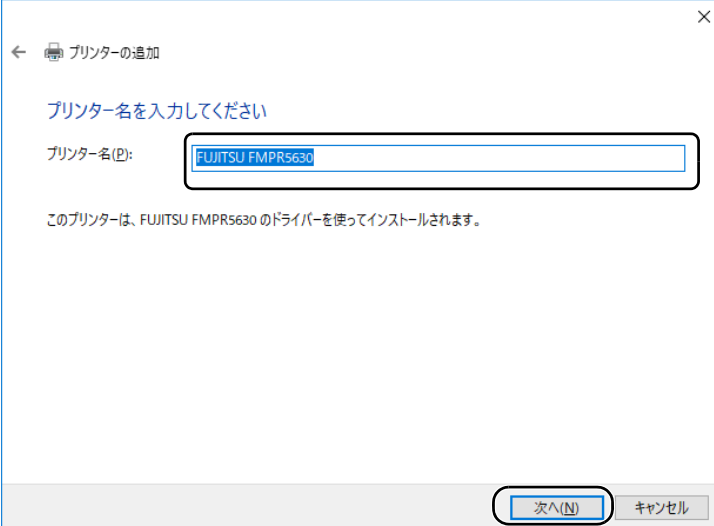
9 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



10 「現在インストールされているドライバーを使う」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

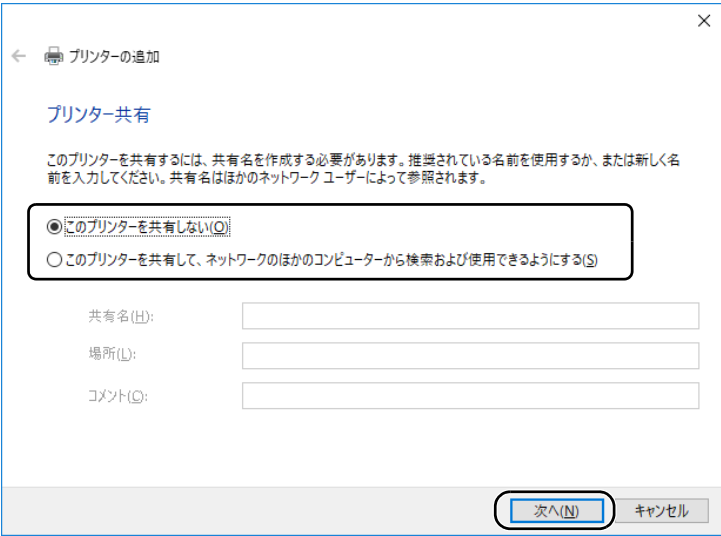


11 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



「プリンター共有」ウィンドウが表示されます。

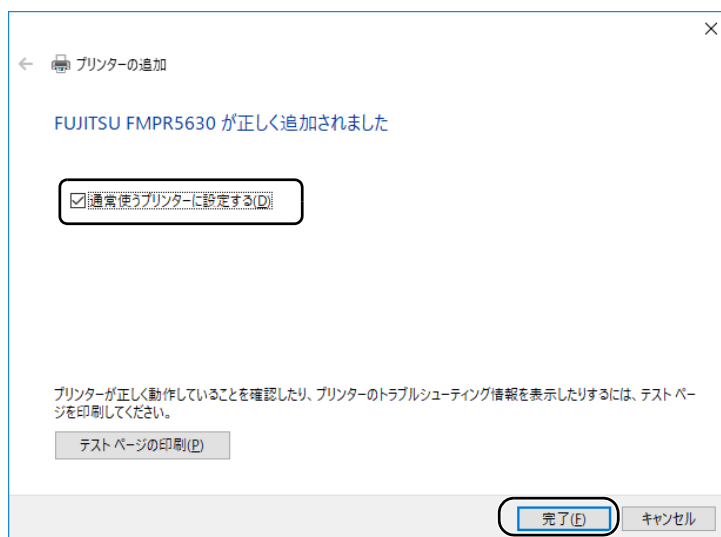
12 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ 同一ネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンターをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。

13 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、「完了」をクリックします。



テスト印刷を行う場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。
正常に出力されれば、設定完了です。

14 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8)をご覧ください。

15 プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

16 「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

LPR ポートで印刷する

重要

- ・ LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は、コントロールパネルで LPR ポートモニターを追加する必要があります。
 1. コントロールパネルを起動します。
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7)をご覧ください。
 2. 「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」の順にクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
 3. 「Windows の機能」ウィンドウで、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」の順にクリックして、「OK」をクリックします。
これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能では、「FMPRnavi2」をご利用することはできません。

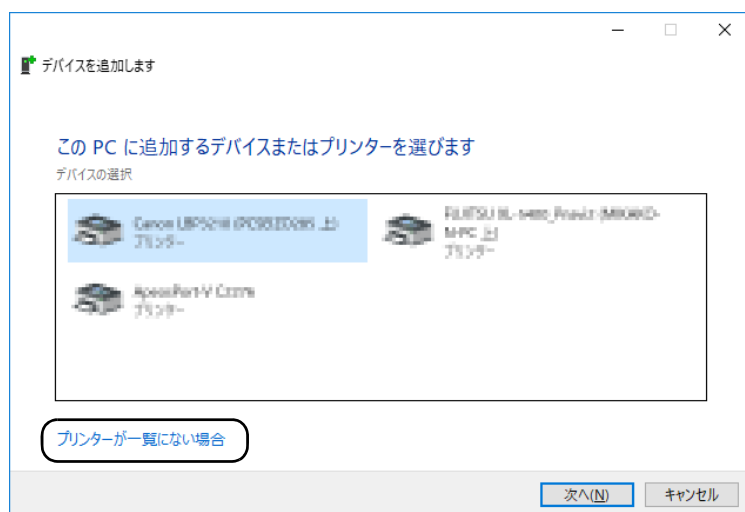
- ・ Windows 10 以外の OS をお使いの場合、画面や手順が異なる場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 コントロールパネルを起動します。

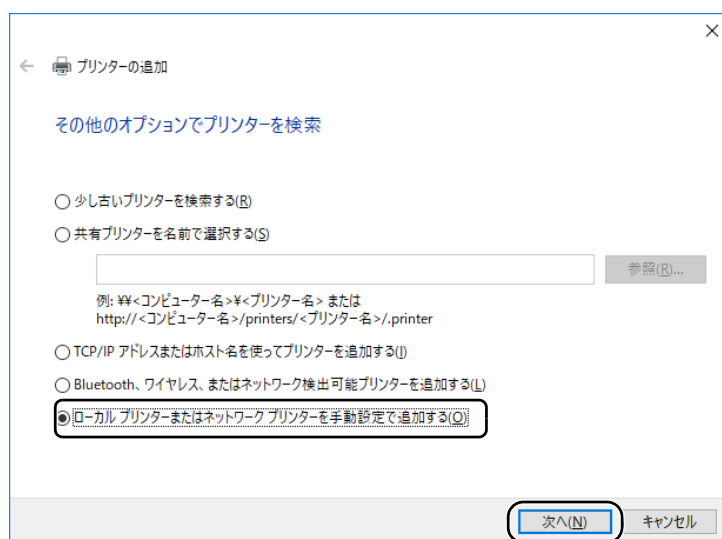
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。

2 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

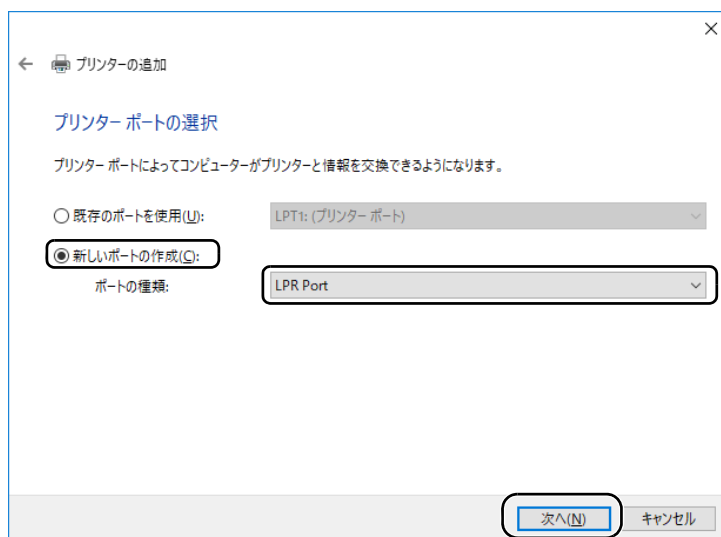
3 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



4 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

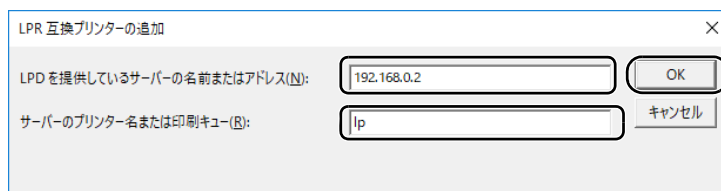


- 5 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」に「**LPR Port**」を選択し、「次へ」をクリックします。

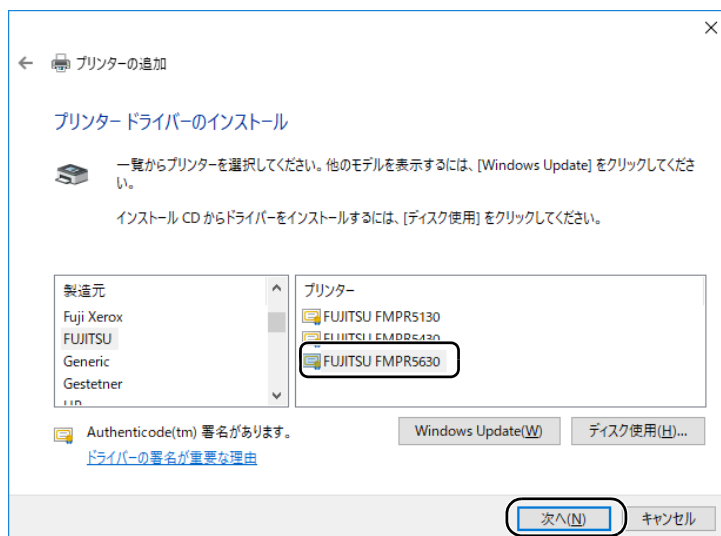


「LPR 互換プリンターの追加」ウィンドウが表示されます。

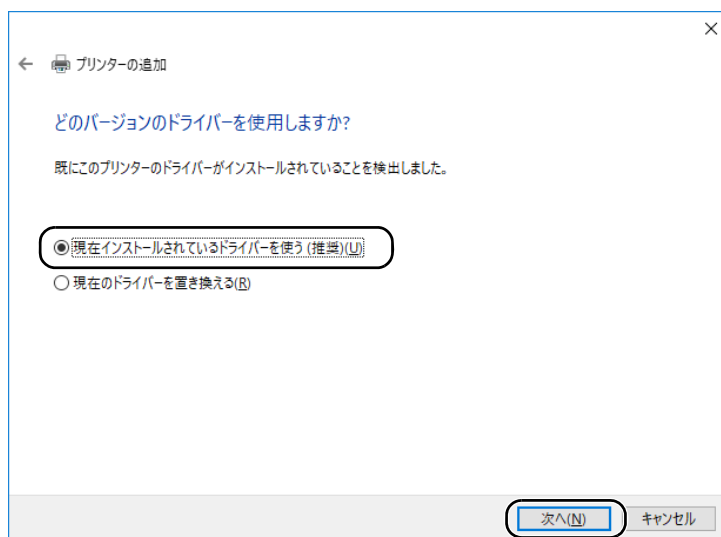
- 6 LAN カードに設定した IP アドレスを入力し、「サーバーのプリンター名または印刷キュー」に「**lp**」と入力し、「**OK**」をクリックします。



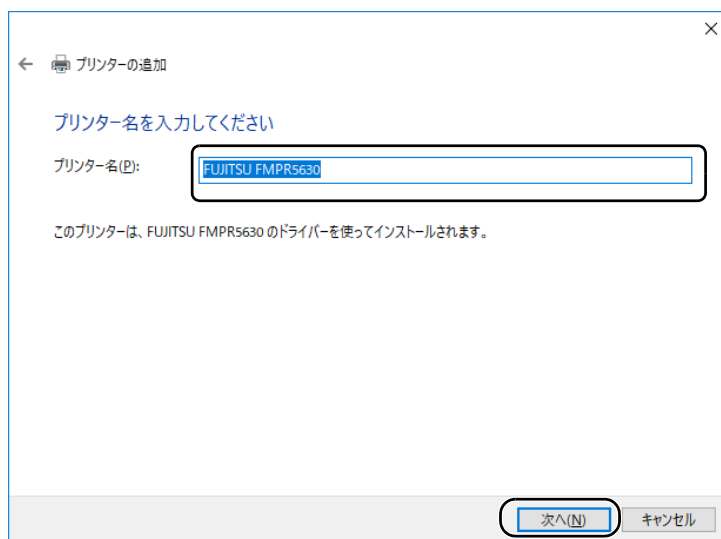
- 7 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



- 8 「現在インストールされているドライバーを使う」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



- 9 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



「プリンター共有」が表示されます。

10 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

POINT

- ・ 同じネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンターをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。

11 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、「完了」をクリックします。

テスト印刷を行う場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。
正常に出力されれば、設定完了です。

- 12** コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 13** プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
- 14** 「詳細設定」タブの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択し、「適用」をクリックします。
- 15** 「ポート」タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

3 IPv6 環境で使用する

ここでは、IPv6 環境で LAN カードを接続し、TCP/IP で印刷する方法について説明します。

あらかじめ、「IPv4 環境で使用する」(→ P.47) をご覧になり、IPv4 アドレスを設定する必要があります。

TCP/IP で印刷する

LAN カードを TCP/IP プロトコルを利用して印刷するときの手順は次のとおりです。

重要

- ・ あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・ 設定を行うには、管理者権限が必要です。

POINT

- ・ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアントで印刷する場合は、「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」(→ P.81) をご覧ください。
- ・ LAN カードの IPv6 アドレス (リンクローカルアドレス) は次のとおりです。
リンクローカルアドレス: fe80::280:92ff:fexx:yyzz (xxyyzz は LAN カードの Ethernet アドレスの下 6 桁です)

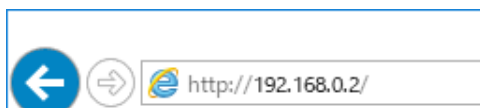
IPv6 アドレスを有効にする

IPv6 機能は、ご購入時、機能しないように設定されています。IPv6 機能を有効にするには次の操作を行います。

1 通常 TCP/IP 設定により IPv4 アドレスを設定します。

プリンタ LAN 設定ツールにより LAN カードに IPv4 アドレスを設定します。詳しくは、「IPv4 環境で使用する」(→ P.47) をご覧ください。

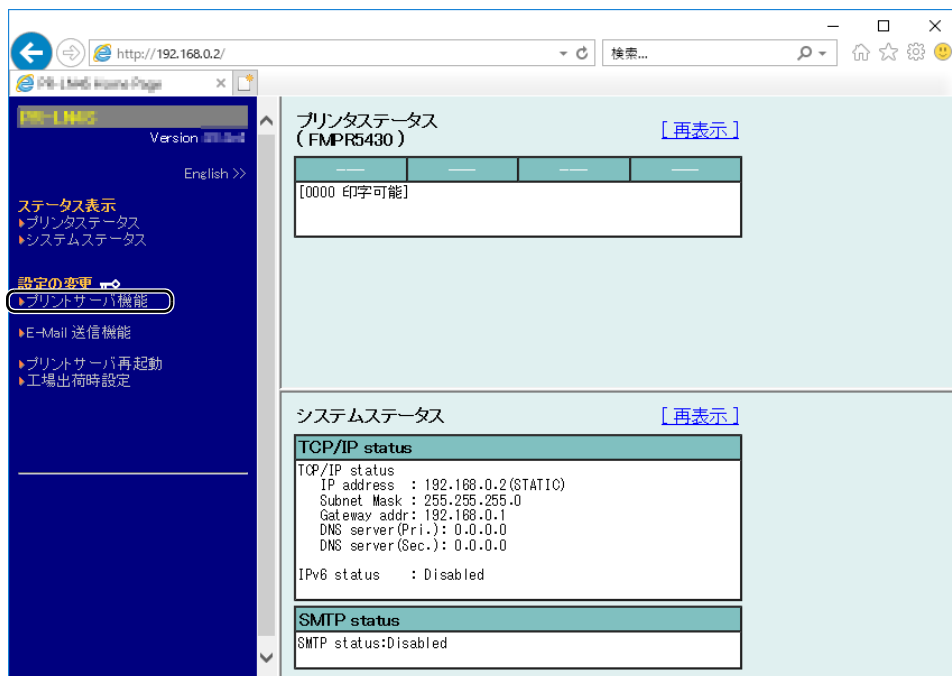
2 Web ブラウザを表示して、設定した IPv4 アドレスで LAN カードにアクセスします。



POINT

- ・ 例 : http://192.168.0.252/

3 「設定の変更」の「プリントサーバ機能」を選択します。



重要

- ・「Japanese」をクリックして日本語表示にしてください。
- ・ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。

- 4 「TCP/IP」を選択し、「IPv6 機能」を「ENABLE」に設定し、「設定更新」をクリックします。

The screenshot shows the configuration interface for the PCL-1H63 device. The left sidebar contains navigation links such as 'ステータス表示' (Status Display), '設定の変更' (Change Settings), and 'プリントサーバ機能' (Print Server Function). The main content area is titled 'TCP/IP設定' (TCP/IP Settings) and includes tabs for 'General', 'TCP/IP', and 'SNMP'. The 'TCP/IP' tab is active, displaying a table of network settings. The 'IPv6 機能' (IPv6 Function) is currently set to 'DISABLE', and the '設定更新' (Update Settings) button at the bottom is highlighted with a red circle.

項目名	設定値	設定できる値
DHCP	DISABLE	一覧より選択
IP アドレス	192.168.0.2	IPアドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	IPアドレス
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	IPアドレス
IPv6機能	DISABLE	一覧より選択
タイムアウト	120	0 - 600000の整数値

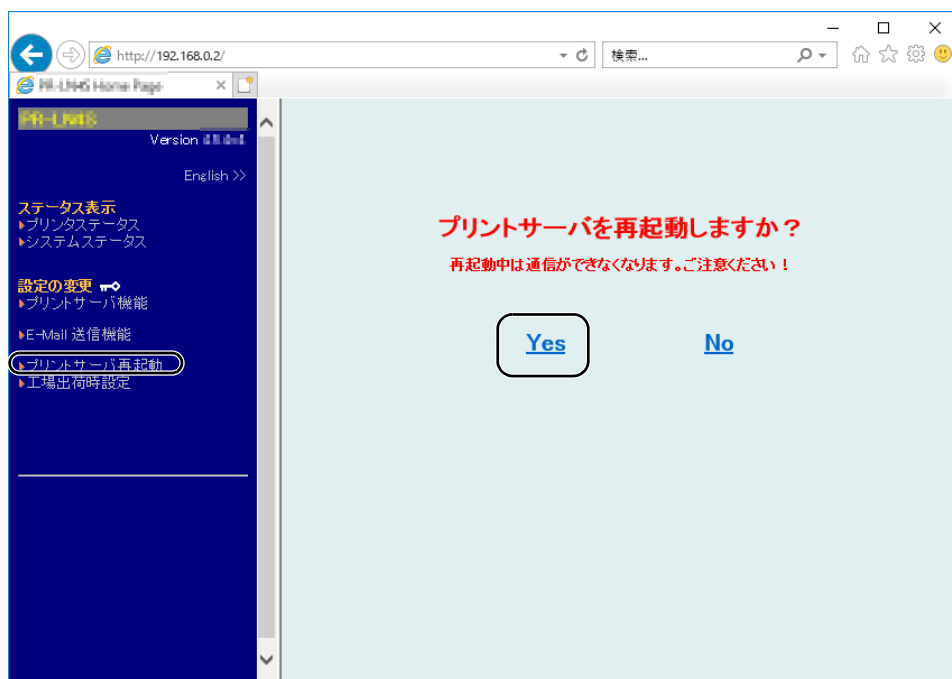
項目名	設定値	設定できる値
プライマリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス
セカンダリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス

項目名	設定値	設定できる値
動作モード	DENY	一覧より選択
フィルタ #0 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #0 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス

設定更新 初期値に戻す

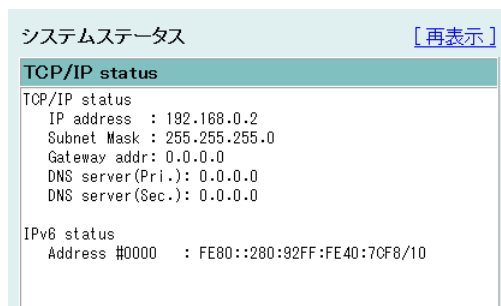
「設定変更後は、プリントサーバを再起動してください」が表示されます。

- 5 「設定の変更」の「プリントサーバ再起動」を選択し、「プリントサーバを再起動しますか？」と表示されたら、「Yes」をクリックします。



- 6 Web ブラウザの「ステータス表示」の「システムステータス」で IPv6 アドレスを確認します。

IPv6 アドレスは、システムステータスの「IPv6 status」に表示されます。



パソコンのネットワーク設定を確認する

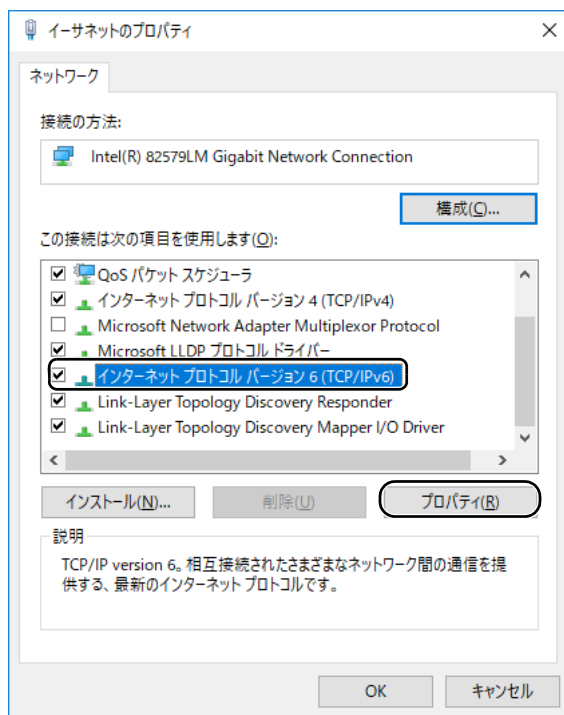
「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が追加されていることを確認します。

- 1 コントロールパネルを起動します。
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。
- 2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
お使いの OS によって、右クリックするアイコンが「イーサネット」などと表示されます。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

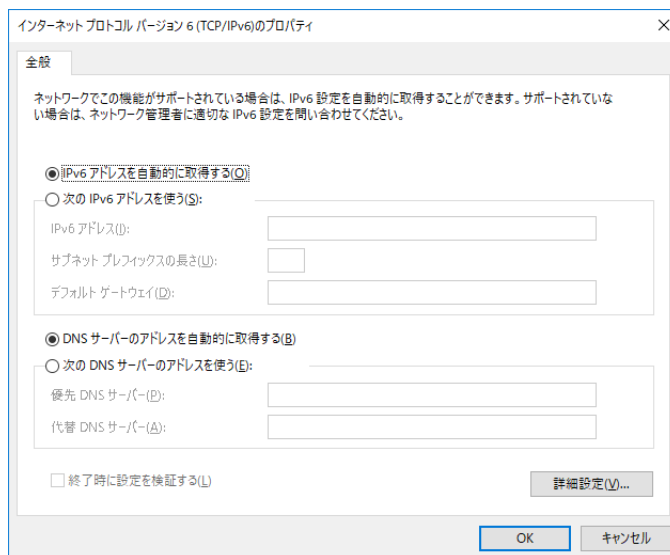
- 4 「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が追加されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」→「プロトコル」→「インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」を選択し、追加してください。

5 「全般」タブで、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。



OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する

IPv6 環境で、OS 標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Standard TCP/IP ポートで印刷する

重要

- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「FMPRnavi2」をご利用することができません。
- ・ FMPR リモートパネルは、OS 標準ポートおよび IPv6 環境には対応しておりません。

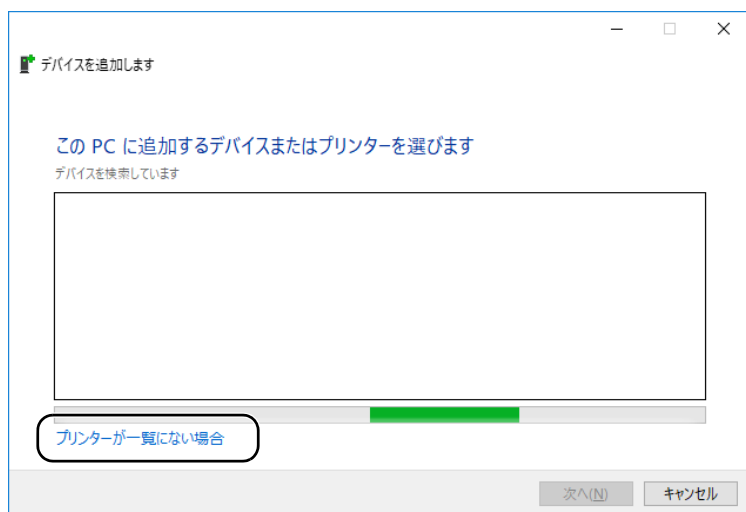
1 コントロールパネルを起動します。

詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。

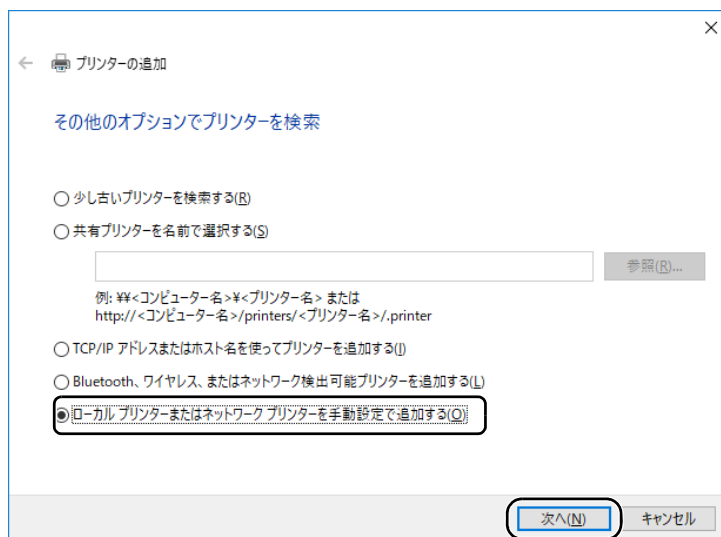
2 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

3 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



4 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



- 5 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」に「**Standard TCP/IP Port**」を選択し、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター ポートの選択

プリンター ポートによってコンピュータがプリンターと情報を交換できるようになります。

☐ 既存のポートを使用(U): LPT1: (プリンター ポート)

☒ 新しいポートの作成(C):

ポートの種類: Standard TCP/IP Port

次へ(N) キャンセル

- 6 「プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する」にチェックを付け、「ホスト名または IP アドレス」に **LAN** カードに設定した **IPv6 環境の IP アドレス** を入力し、「次へ」をクリックします。
- 「ポート名」を付けない場合は、既定値をご使用ください。

← プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類(D): TCP/IP デバイス

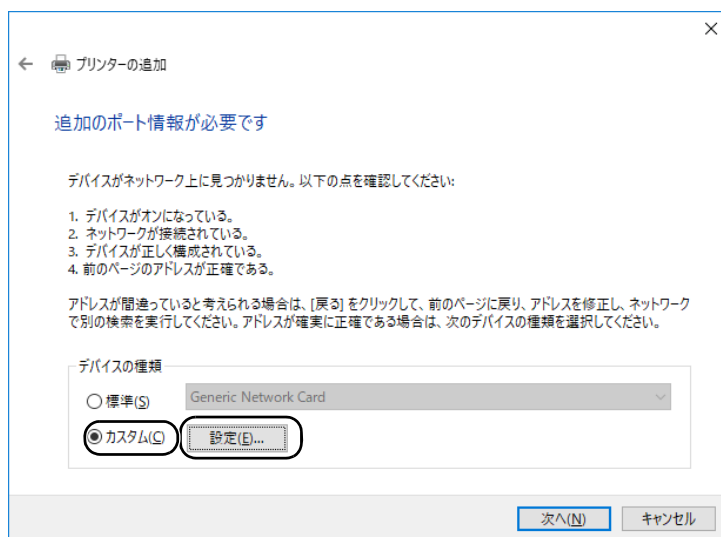
ホスト名または IP アドレス(A): fe80:280:92ff:fe01:95f

ポート名(P): fe80:280:92ff:fe01:95f

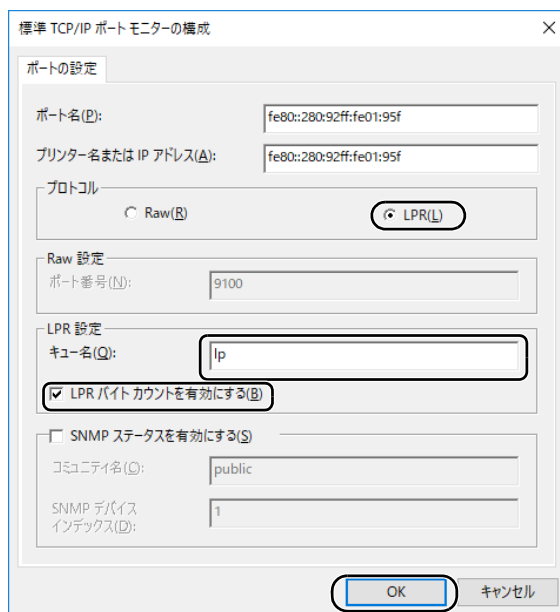
☒ プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する(Q)

次へ(N) キャンセル

7 「デバイスの種類」で「カスタム」にチェックを付け、「設定」をクリックします。



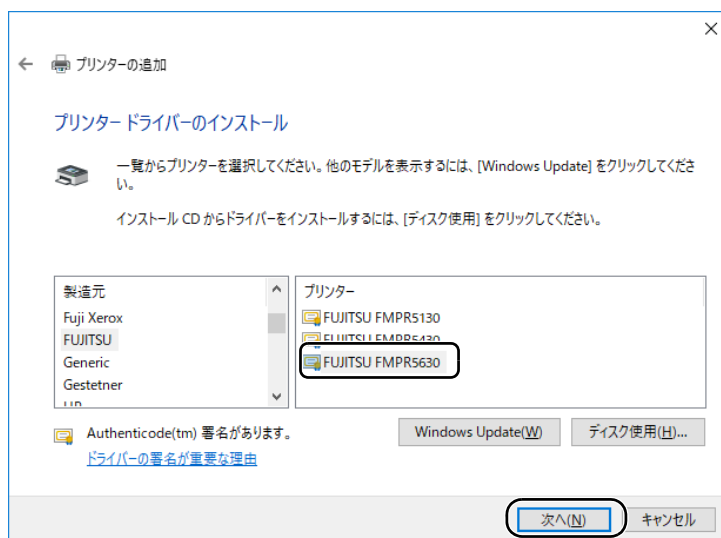
8 「LPR」にチェックを付け、「キュー名」に「lp」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを付け、「OK」をクリックします。



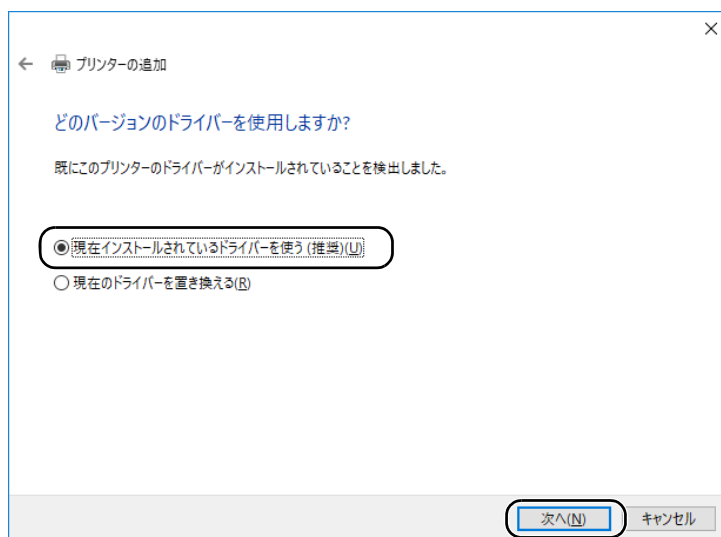
POINT

・「OK」をクリックすると、手順 7 の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

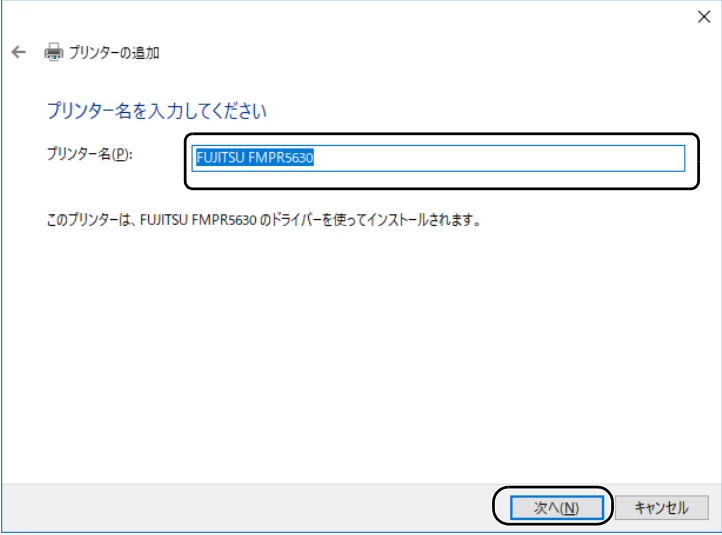
9 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



10 「現在インストールされているドライバーを使う」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

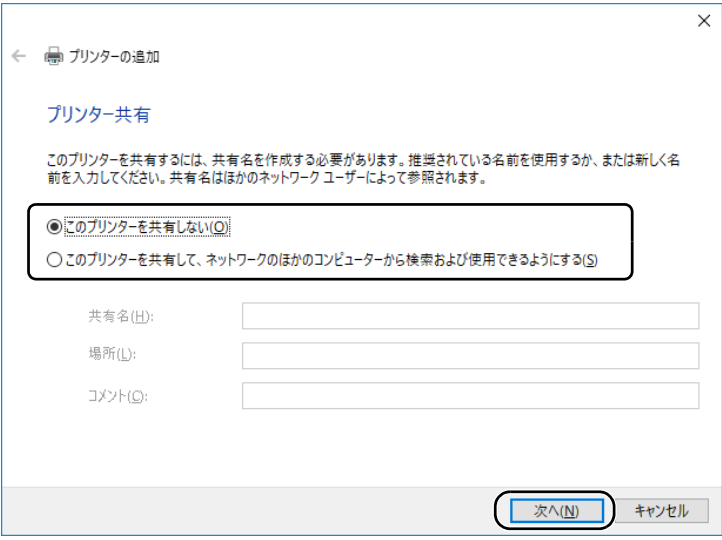


11 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



「プリンター共有」ウィンドウが表示されます。

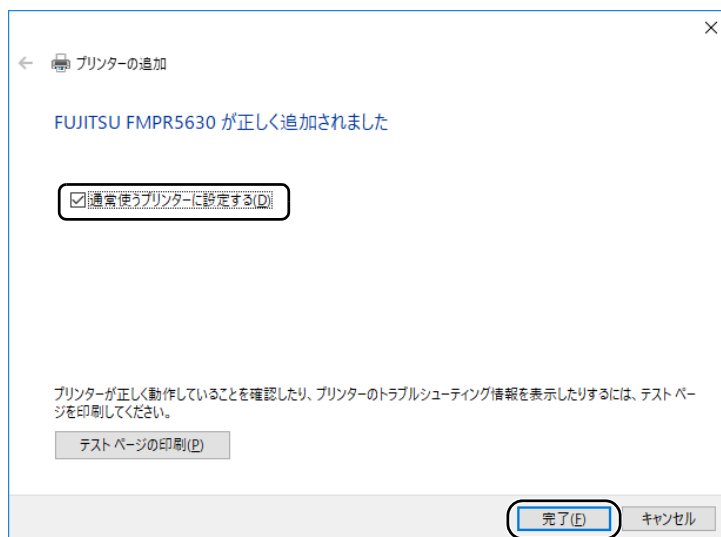
12 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



POINT

- ・ 同じネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンターをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。

13 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、「完了」をクリックします。



テスト印刷を行う場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。
正常に出力されれば、設定完了です。

LPR ポートで印刷する

重要

- ・ LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は、コントロールパネルで LPR ポートモニターを追加する必要があります。
 1. コントロールパネルを起動します。
詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。
 2. 「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」の順にクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
 3. 「Windows の機能」ウィンドウで、「印刷とドキュメントサービス」→「LPR ポートモニター」の順にクリックして、「OK」をクリックします。
これで LPR ポートモニターの追加は完了です。
- ・ ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ OS 標準の印刷クライアント機能および IPv6 環境では、「FMPRnavi2」をご利用することはできません。

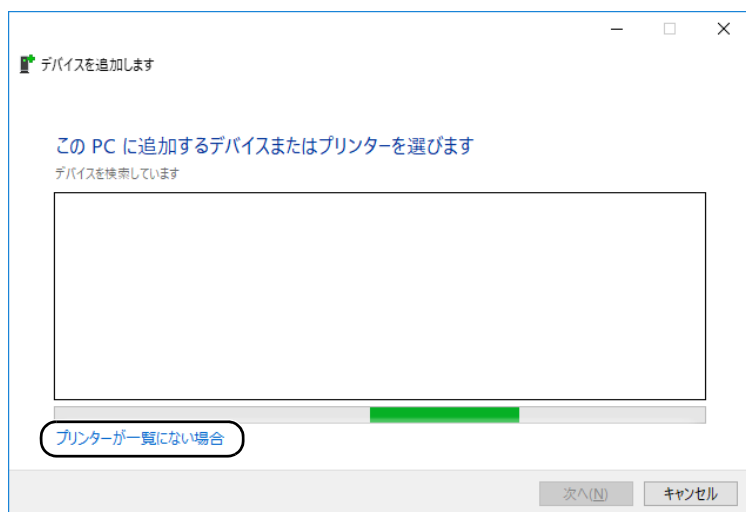
1 コントロールパネルを起動します。

詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。

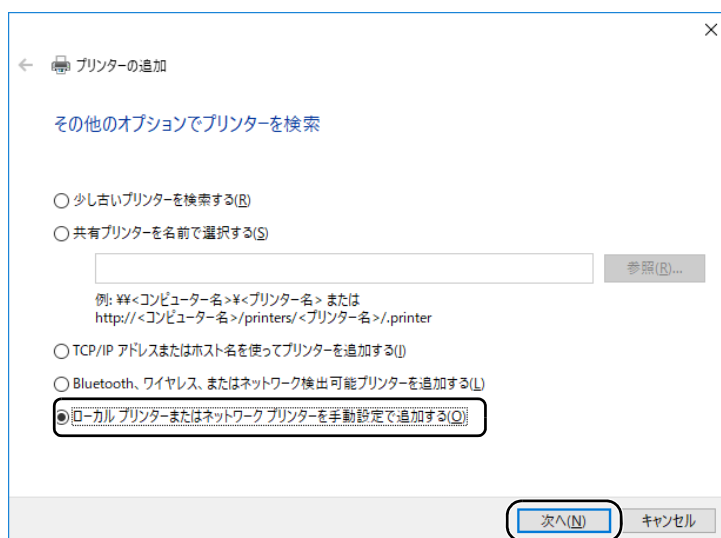
2 「デバイスとプリンターの表示」→「プリンターの追加」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

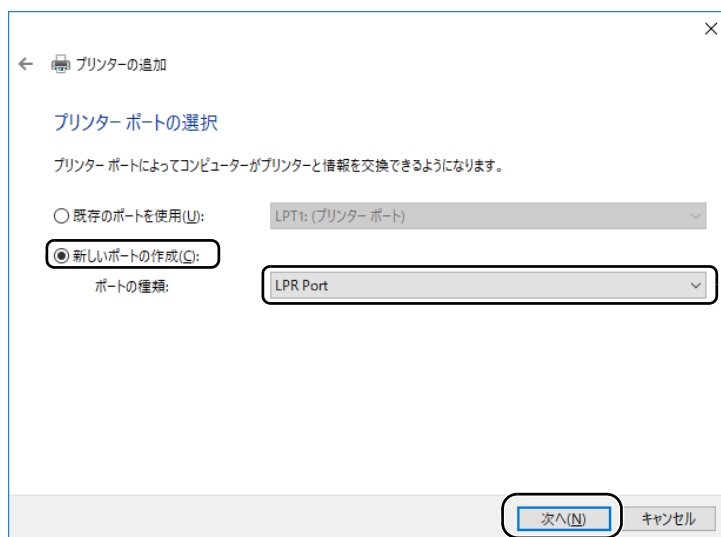
3 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



4 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

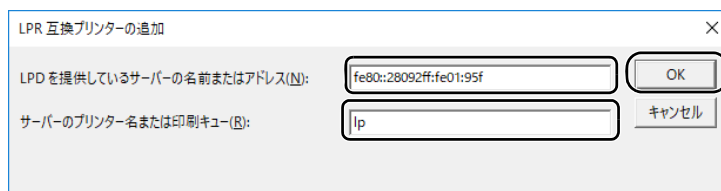


- 5 「新しいポートの作成」にチェックを付け、「ポートの種類」に「**LPR Port**」を選択し、「次へ」をクリックします。

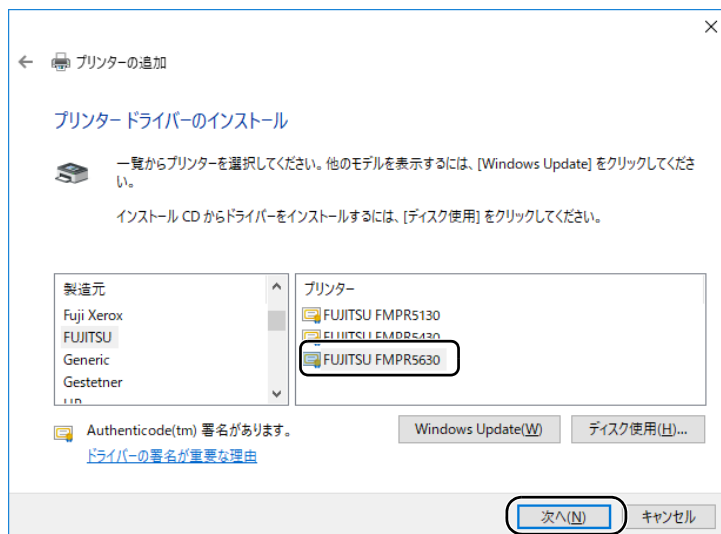


「LPR 互換プリンターの追加」ウィンドウが表示されます。

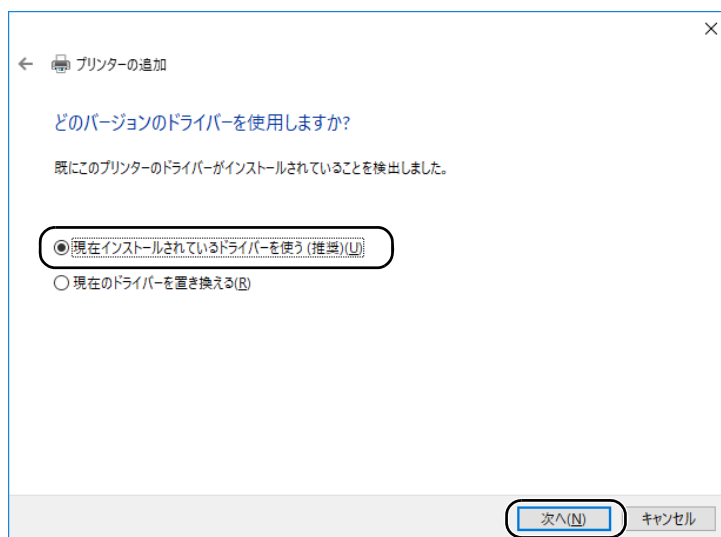
- 6 LAN カードに設定した **IPv6** 環境の **IP** アドレスを入力し、「サーバーのプリンター名または印刷キュー」に「**lp**」と入力し、「**OK**」をクリックします。



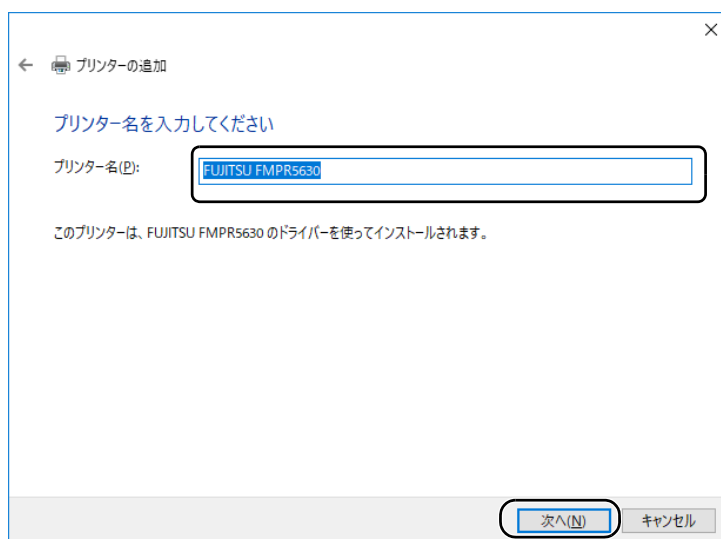
- 7 ご使用になるプリンタドライバを選択し、「次へ」をクリックします。



- 8 「現在インストールされているドライバーを使う」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



- 9 「プリンター名」を入力し、「次へ」をクリックします。



10 「このプリンターを共有しない」または「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

POINT

- ・ 同じネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンターをご使用になる場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択してください。

11 「通常使うプリンターに設定する」にチェックを付け、「完了」をクリックします。

テスト印刷を行う場合は、「テストページの印刷」をクリックしてください。
正常に出力されれば、設定完了です。

- 12** コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 13** プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
- 14** 「詳細設定」タブの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択し、「**OK**」をクリックします。

4

第 4 章 プリンタドライバの機能と 利用方法

この章では、プリンタドライバ（FMPR ドライバ）がもつ機能とその利用方法について説明します。

1 プリンタドライバの設定	94
2 印刷可能領域	114
3 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法	119
4 プリンタドライバのバージョンを確認する	124

1 プリンタドライバの設定

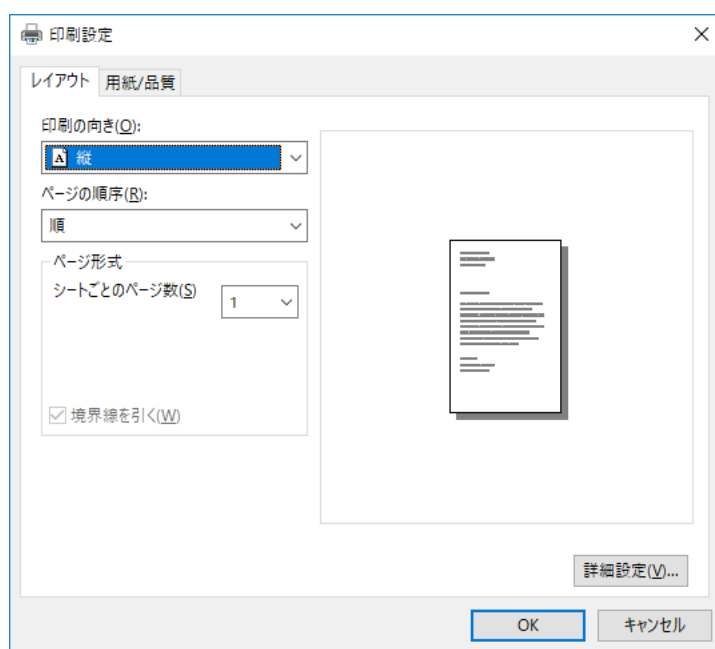
ここでは、FMPR プリンタドライバの設定画面について説明します。

プリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンターのプロパティ」で行います。各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

POINT

- ・アプリケーションによっては、データの保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーション側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。アプリケーションによっては、「全般」タブが表示されないことがあります。
- ・ここでは、FMPR5630 を例に説明します。
FMPR5430/FMPR5130 をお使いの場合は、「FMPR5630」をお使いのプリンタに読み替えてください。

アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

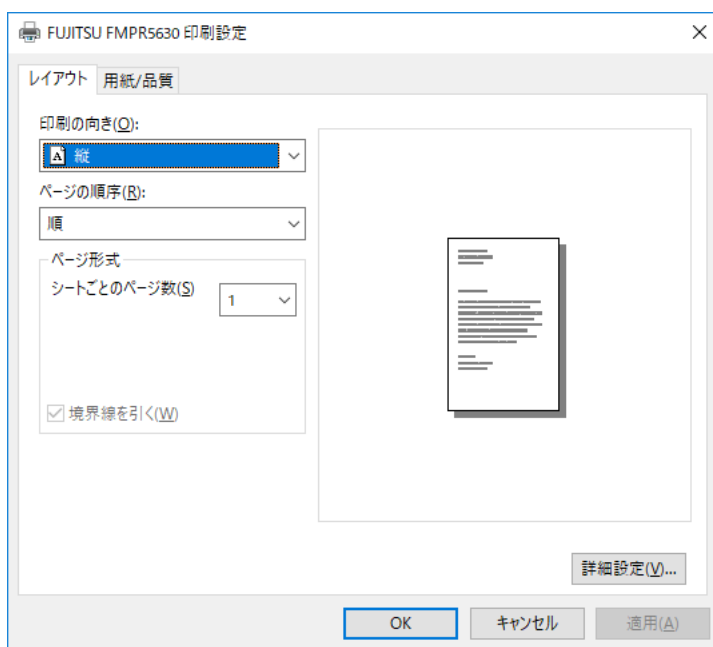
■ 設定画面の表示と設定の変更

プリンタ設定のプロパティを表示する方法またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションごとに異なります。

ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

- 1 ワードパッドのメニューから「印刷」を選択します。
- 2 印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し「詳細設定」をクリックします。
- 3 目的の項目を含むタブまたは「詳細設定」をクリックし、設定を変更します。
- 4 「OK」をクリックし、「印刷設定」ウィンドウを閉じます。
「OK」をクリックすると変更した設定が保存されます。
「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

コントロールパネルからの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。

アプリケーションで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

■ 設定画面の表示と設定の変更

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。

2 「FUJITSU FMPR5630 プリンタ」アイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

3 プリンタドライバの各種機能を設定できます。

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、「詳細設定」をクリックし、設定を変更します。

「OK」をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ウィンドウを終了します。

「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

「適用」をクリックすると、変更した設定を保存します。このときウィンドウは表示されたままです。

POINT

- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには次の方法があります。
 1. 「レイアウト」「用紙／品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
 2. 「詳細設定」の場合、「FUJITSU FMPR5630 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして「変更したオプションを元に戻す」ボタンを表示し、クリックします。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」が有効になります。

プリンタの状態確認 (ポップアップ)

プリンタの状態確認

双方向プリンティングシステム「FMPRnavi2」を使うと、プリンタの状態をパソコンで見ることができます。

「FMPRnavi2」は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法がパソコンの画面にポップアップ表示されます。



POINT

- ・「FMPRnavi2」によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定および詳しい説明については、プリンタドライバの「ヘルプ」または「「FMPRnavi2」タブ [注 2]」(→ P.107)をご覧ください。

プリンターのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

■ 設定画面の表示と設定の変更

- 1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8)をご覧ください。
- 2 「FUJITSU FMPR5630 プリンタ」アイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」を選択します。
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更します。
「OK」をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
「キャンセル」をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
「適用」をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは表示されたままです。

POINT

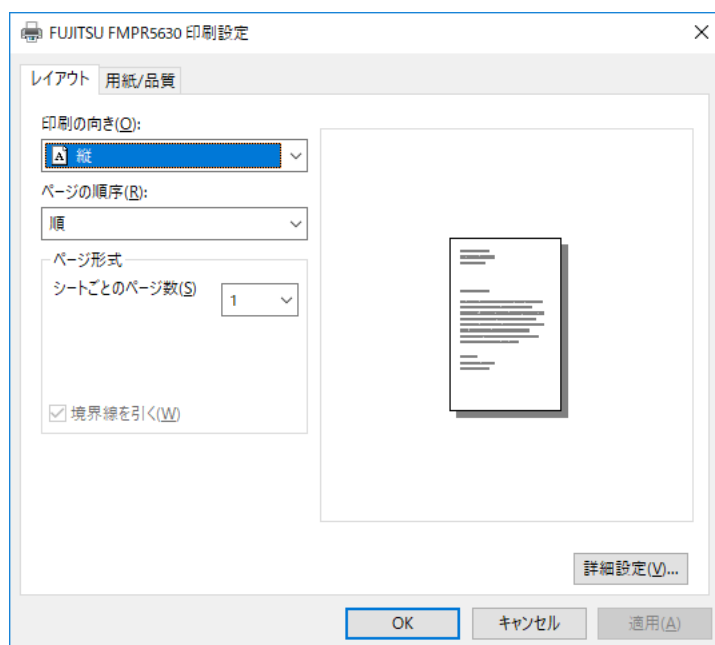
- ・ 変更した設定を以前の設定に戻すには次の方法があります。
 1. 設定を変更した後、「デバイスの設定」タブの「FUJITSU FMPR5630 デバイスの設定」を右クリックします。「変更したオプションを元に戻す」ボタンが表示されますので、クリックします。「デバイスの設定」タブのみ有効です。
- ・ 設定内容に変更があった場合のみ、「適用」が有効になります。

ウィンドウ一覧

POINT

- ・ [注 1] とあるウィンドウは「印刷」ウィンドウまたは「印刷設定」ウィンドウで表示されます。
- ・ [注 2] とあるウィンドウは「プリンターのプロパティ」ウィンドウで表示されます。

「レイアウト」 タブ [注 1]

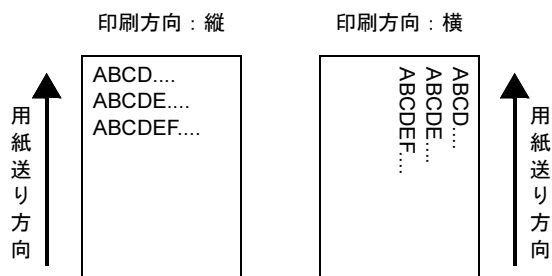


印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。詳しくは、「印刷の向き」(→ P.99)をご覧ください。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に割り付けるページ数を指定します。
境界線を引く	「シートごとのページ数」で割り付けたページに対して、境界線を引くかどうかを指定します。

■印刷の向き

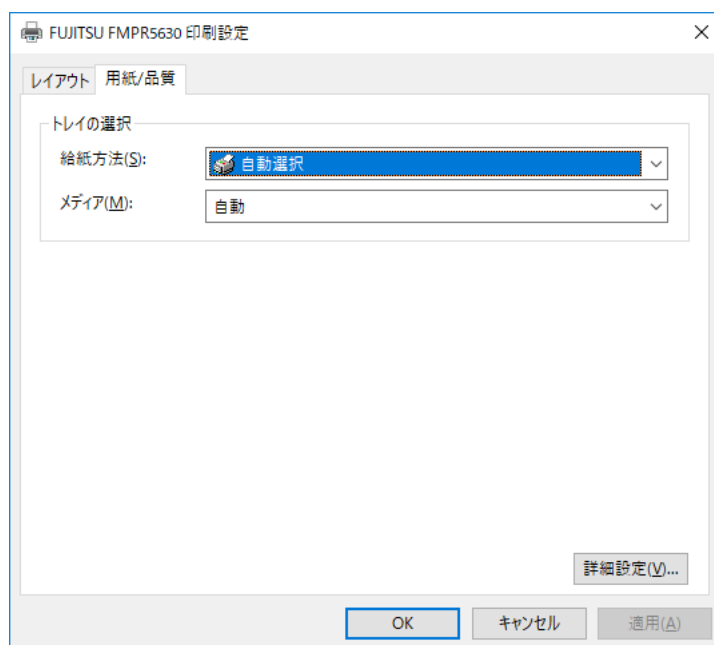
印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。




POINT

- ・アプリケーションにより、表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

「用紙／品質」 タブ [注 1]

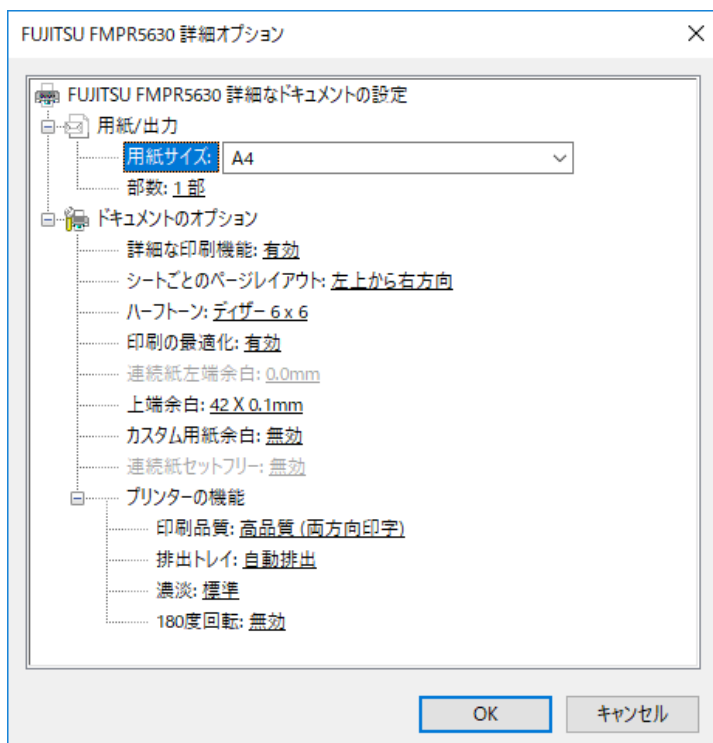


給紙方法を設定します。

設定項目	内 容
給紙方法	<p>印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを選択します。次のいずれかを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・「自動選択」 「デバイスの設定」タブで、同じサイズの下紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。・手差し 単票テーブルから給紙します。 吸入した用紙の上端余白量は、「詳細設定」ウィンドウにある「ドキュメントのオプション」の「上端余白」で設定した値となります。・前トラクタフィーダ 単票テーブルの下に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。 吸入した用紙の上端余白量は、「詳細設定」ウィンドウにある「ドキュメントのオプション」の「上端余白」で設定した値となります。・後トラクタフィーダ プリンタ後面に装備されている用紙送りトラクタから給紙します。 吸入した用紙の上端余白量は、「詳細設定」ウィンドウにある「ドキュメントのオプション」の「上端余白」で設定した値となります。・カットシートフィーダフロント 前シートフィーダから給紙します。 吸入した用紙の上端余白量は、「詳細設定」ウィンドウにある「ドキュメントのオプション」の「上端余白」で設定した値となります。・カットシートフィーダリア 後シートフィーダから給紙します。 吸入した用紙の上端余白量は、「詳細設定」ウィンドウにある「ドキュメントのオプション」の「上端余白」で設定した値となります。 <p> POINT</p> <ul style="list-style-type: none">・プリンタの機能設定の上端余白量指定をプリンタ優先にしている場合は、プリンタの共通設定の上端余白量で設定してある余白量になります。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」に記載している「機能設定を変える」をご覧ください。正しい印刷結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。・給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙方法とは異なった給紙方法が指定される場合があります。印刷に使用する用紙に合わせ、自動選択以外の給紙方法を指定してください。



設定項目	内 容
メディア	<p>印刷する用紙の厚さに応じて設定します。</p> <p>プリンタ側の用紙厚調整の設定がオートに設定されている場合のみ、本設定が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 プリンタが用紙の厚さ自動的に調整します。 ・ レンジ 1 ～レンジ D（FMPR5630/FMPR5430 の場合） 印刷する用紙の厚さを設定します。 ・ 用紙厚 1 ～用紙厚 8（FMPR5130 の場合） 印刷する用紙の厚さを設定します。 ・ プリンタ設定優先 プリンタで設定されている用紙厚に従います。

「詳細設定」 ウィンドウ [注 1]




次の項目が設定できます。

設定項目	設定内容	備 考
用 紙 ／ 出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。

設定項目	設定内容	備 考
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・有効 「ページの順序」、「シートごとのページ」、および「部数」の設定が有効になります。 ・無効 「ページの順序」、「シートごとのページ」、および「部数」の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	「レイアウト」タブの「シートごとのページ数」で「1」以外を選択したときのページ割り付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができません。
	連続紙左端余白	連帳用紙の左端余白を設定します。設定した値による右端余白の値は、「連続紙左端余白」（→ P.105）をご覧ください。 連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。
	上端余白	上端余白量を設定します。 初期値は 4.2mm で、設定可能な範囲は 0.0mm ～ 51.0mm です。
	カスタム用紙余白	<p>「プリントサーバーのプロパティ」でユーザー定義サイズを作成したときに設定した余白（上下左右）を有効にします。 左右余白量の違いで印字位置がずれるときは、「プリントサーバーのプロパティ」でユーザー定義サイズ用紙を作成し、上下左右余白を設定して本項目を「有効」にしてください。 本項目を「有効」で使用するときは、プリンタの「余白量設定」で使用する給紙口の「上端余白量」および「セットフリー余白量」を 0mm にしてください。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「設定項目」－「余白量設定」をご覧ください。</p> <p> 重要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷するときは、本プリンタの印刷保証範囲内でお使いください。 印刷保証範囲外への印刷は、印字ヘッドピンが折れたり、プリンタが故障したりする原因となります。印刷保証範囲外への印刷が原因でのプリンタの故障については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。 やむを得ず印刷保証範囲外に印刷するときは、十分な確認を行ったうえでお使いください。

設定項目	設定内容		備 考
ドキュメントのオプション	連続紙セットフリー		<p>プリンタの連帳セットフリーを有効にしたとき、本項目を「有効」にします。</p> <p>連帳用紙をセットフリーで動作させるときに適切な左右余白にします。</p> <p>連帳系給紙口、または連帳系用紙やユーザー定義サイズ用紙を選択したときに設定することができます。</p>
	プリンタの機能	印刷品質 [注]	<p>印字品質および印字方向の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質（両方向印字） 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字） 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字） 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字） 高速モードで片方向印字を行います。 ・低騒音（両方向印字） 低騒音モードで両方向印字を行います。 ・低騒音（片方向印字） 低騒音モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字） 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字） 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		出力トレイ	<p>単票用紙の排出方法を設定します。お使いの OS により、排出装置や用紙／出力、出力トレイと表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出 プリンタの設定に従って、用紙を排出します。 ・手前排出 単票テーブルに用紙を排出します。 ・後方排出 リアスタッカに用紙を排出します。
		出力トレイ	<p>単票用紙の排出方法を設定します。お使いの OS により、排出装置や用紙／出力、出力トレイと表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動排出 プリンタの設定に従って、用紙を排出します。 ・手前排出 単票テーブルに用紙を排出します。 ・後方排出 リアスタッカに用紙を排出します。

設定項目	設定内容		備 考
ドキュメントのオプション	プリンターの機能	濃淡	印字圧の設定をします。お使いの OS により、印刷密度または濃淡と表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 標準 標準の印字圧で印刷します。 高複写 1 (FMPR5630/FMPR5430 の場合) 高複写の印字圧で印刷します。 高複写 2 (FMPR5630/FMPR5430 の場合) 2 度打ちすることにより、高複写 1 よりさらに高複写の印字圧で印刷します。 高複写 (FMPR5130 の場合) 高複写の印字圧で印刷します。 プリンタ設定優先 プリンタで設定されている印字圧に従います。
		180度回転	ページ単位で 180 度回転して印刷します。 <div>  POINT </div> <ul style="list-style-type: none"> プリンタフォントやバーコードフォントで指定された文字は、近似の TrueType フォントに置き換えて印刷します。 余白も 180 度回転します。

注 プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

■連続紙左端余白

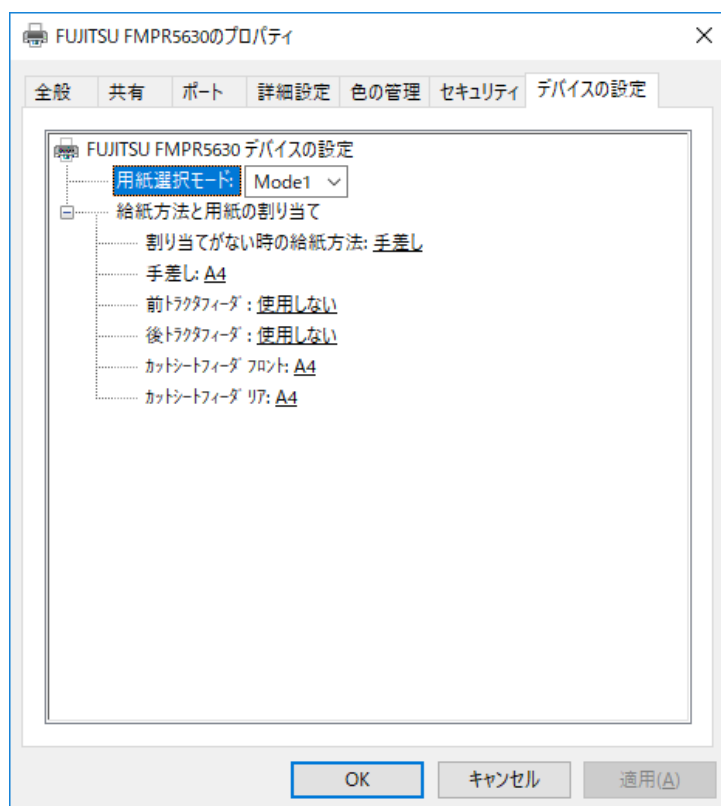
連帳用紙の左端余白を設定します。

設定した値により、右端余白は次表の値となります。

(単位：mm)

設定項目	右端余白	
	用紙幅が最大印刷可能領域 (345.44mm) 以下	用紙幅が最大印刷可能領域 (345.44mm) より大きい
0.0mm	0.0mm	最大印刷可能領域を超える分はすべて余白
5.0mm		
12.7mm		

「デバイスの設定」 タブ [注2]



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

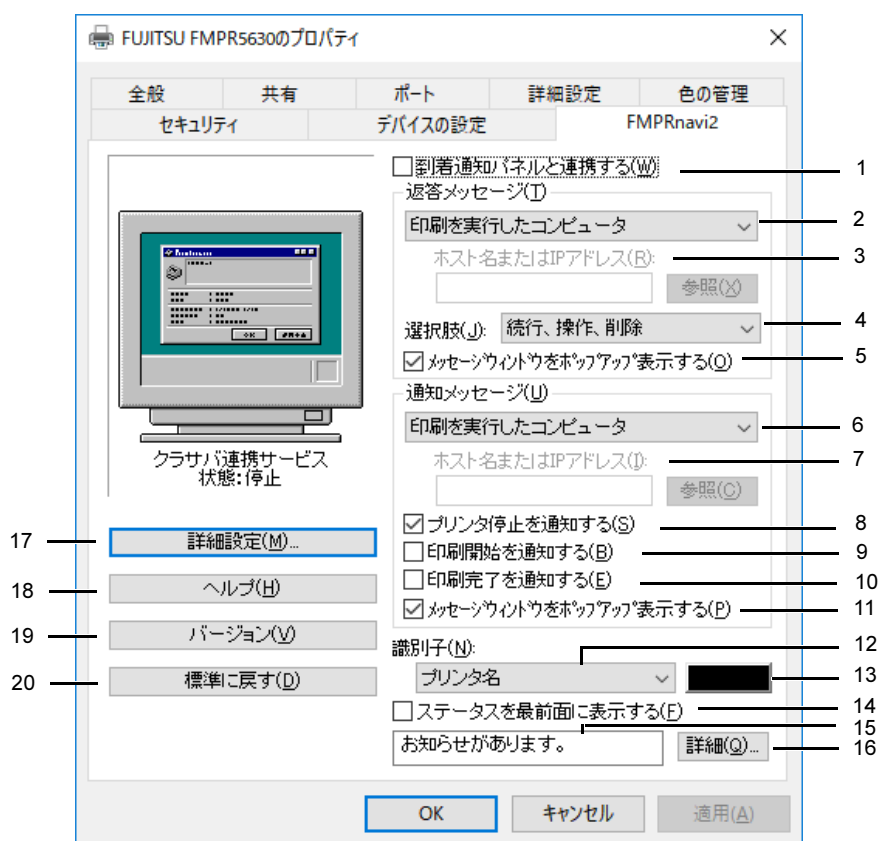
設定項目	内 容
用紙選択モード	用紙サイズ決定方法の切り替えを行います。 お使いのアプリケーションで指定した用紙と異なる用紙が選択される場合、本設定を変更してください。
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生したりすることがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定を一致させてください。

「FMPRnavi2」 タブ [注 2]

「FMPRnavi2」に関する表示方法を設定します。

POINT

- ・「FMPRnavi2」タブ画面を表示するには、プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」を選択します。（「印刷設定」を選択した場合は、表示されません）。プリンタアイコンを表示するには、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」（→ P.8）をご覧ください。
- ・「FMPRnavi2」の各システムの機能概要については、「機能」（→ P.17）をご覧ください。
- ・「FMPRnavi2」タブ画面をはじめとする FMPRnavi2 機能および設定は、お使いの環境によって推奨値に変更される場合があります。



1 到着通知パネルと連携する

「Interstage Print Manager」の到着パネルと連携して印刷する場合は、☒ にします。

2 返信メッセージ

プリンタの印刷中のエラー、テストプリント完了、用紙交換表示（返信メッセージ）の最初の通知先を設定します。

- ・印刷を実行したコンピュータ
印刷を実行したパソコンに、メッセージを通知します。
- ・プリントサーバ
プリントサーバにメッセージを通知します。

- ・コンピュータを指定
他のパソコンにメッセージを通知します。

3 ホスト名または IP アドレス

「返答メッセージ」で「コンピュータを指定」を選択した場合に、メッセージの通知先をホスト名または IP アドレスで設定します。

IPv6 アドレスでの入力もできます。カンマで区切って、複数のパソコンを設定することもできます。複数のパソコンを設定した場合、先に記載されているパソコンに通知できなかった場合に、次に記載されているパソコンに通知されます。

4 選択肢

返答メッセージウィンドウで表示するボタンの組み合わせを設定します。

- ・続行、操作、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「操作」、「削除」になります。
- ・続行、保留、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「保留」、「削除」になります。
- ・続行、操作、保留、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「操作」、「保留」、「削除」になります。
- ・続行、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「削除」になります。
- ・続行、保留
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「保留」になります。
- ・操作、保留、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」、「保留」、「削除」になります。
- ・保留、削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「保留」、「削除」になります。
- ・続行
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「続行」のみになります。
- ・保留
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「保留」のみになります。
- ・削除
返答メッセージウィンドウで表示するボタンは「削除」のみになります。

5 メッセージウィンドウをポップアップ表示する

返答メッセージウィンドウを、ポップアップ表示させるか、最小化して表示するかを指定します。

6 通知メッセージ

印刷中に発生したエラーおよび警告を知らせるメッセージの最初の通知先を設定します。

- ・印刷を実行したコンピュータ
印刷を実行したパソコンにメッセージを通知します。
- ・コンピュータを指定
他のパソコンにメッセージを通知します。

7 ホスト名または IP アドレス

「通知メッセージ」で「コンピュータを指定」を選択した場合に、メッセージの通知先をホスト名または IP アドレスで設定します。

IPv6 アドレスでの入力もできます。カンマで区切って、複数のパソコンを設定することもできます。複数のパソコンを設定した場合、先に記載されているパソコンに通知できなかった場合に、次に記載されているパソコンに通知されます。

8 プリンタ停止を通知する

選択した通知先に、印刷中に発生したエラーおよび警告を知らせるメッセージを通知するかどうかを設定します。

9 印刷開始を通知する

選択した通知先に印刷開始を通知するかどうかを設定します。

10 印刷完了を通知する

選択した通知先に印刷完了を通知するかどうかを設定します。

11 メッセージウィンドウをポップアップ表示する

通知メッセージウィンドウを、ポップアップ表示させるか、最小化して表示させるかを設定します。

12 識別子

複数のステータス画面が表示された場合に、どのプリンタからのステータス画面かを判別するための情報を選択します。

- ・プリンタ名

印刷を行ったプリンタ名を表示します。

- ・場所

「プリンターのプロパティ」の「場所」に記入された内容を表示します。

- ・コメント

「プリンターのプロパティ」の「コメント」に記入された内容を表示します。改行が含まれている場合は、最初の改行直前までの内容を表示します。

13 文字色

ステータス画面で識別子を表示する文字の色を設定します。「文字色」ボタンをクリックし、「色の設定」ウィンドウから文字色を選択します。現在選択している色が、ボタンの色に反映されません。

14 ステータスを最前面に表示する

メッセージの到着時、返答メッセージウィンドウおよび通知メッセージウィンドウを常に最前面に表示するかどうかを設定します。

15 ヒント情報

プリンタドライバを設定するうえでのヒント（アドバイス）が表示されます。

16 詳細

ボタンをクリックすると、プリンタドライバを設定するうえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.113）をご覧ください。

17 詳細設定

「詳細設定」ウィンドウが表示されます。詳しくは、「「詳細設定」ウィンドウ」（→ P.110）をご覧ください。

18 ヘルプ

ヘルプが表示されます。

19 バージョン

「FMPRnavi2」のバージョンが表示されます。バージョンの確認方法については、「FMPRnavi2のバージョン確認」（→ P.125）をご覧ください。

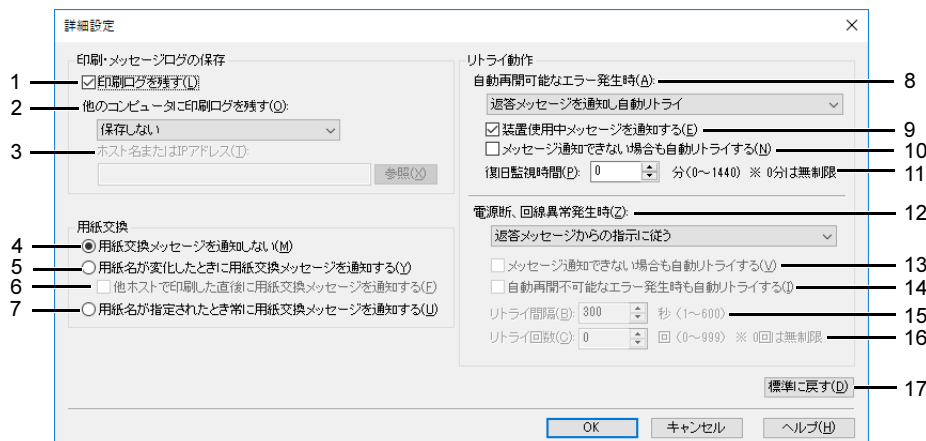
20 標準に戻す

「FMPRnavi2」タブで設定した内容を、すべて初期設定に戻します。

POINT

- 印刷を実行したコンピュータ以外にメッセージを通知する場合には、クラサバ連携サービスが必要です。クラサバ連携サービスについては、「クラサバ連携サービス」(→ P.137) をご覧ください。

「詳細設定」 ウィンドウ



1 印刷ログを残す

印刷ログを保存するかどうかを設定します。

- 有効
印刷ログを保存します。
- 無効
印刷ログを保存しません。

2 他のコンピュータに印刷ログを残す

プリントサーバ以外に、印刷ログを保存するかどうかを設定します。

- 保存しない
プリントサーバ以外に印刷ログを保存しません。
- 印刷を実行したコンピュータ
印刷を実行したパソコンに印刷ログを保存します。
- コンピュータを指定
他のパソコンに印刷ログを保存します。

3 ホスト名または IP アドレス

「他のコンピュータに印刷ログを残す」で「コンピュータを指定」を選択した場合に、印刷ログの保存先をホスト名または IP アドレスで設定します。

IPv6 アドレスでの入力もできます。カンマで区切って、複数のパソコンを設定することもできます。複数のパソコンを設定した場合、先に記載されているパソコンに印刷ログが保存できなかった場合に、次に記載されているパソコンに保存されます。

4 用紙交換メッセージを通知しない

同一のプリントサーバにおいて、指定した用紙名が直前の印刷で指定していた用紙名と異なっても、用紙交換メッセージ（返答メッセージ）を通知しません。


また、印刷ジョブの途中で用紙名が変わったときにも、用紙交換メッセージを通知しません。

5 用紙名が変化したときに用紙交換メッセージを通知する

同一のプリントサーバにおいて、直前の印刷で指定していた用紙名と、今回の印刷で指定する用紙名が異なる場合、用紙交換メッセージ（返答メッセージ）を通知するように設定します。

用紙交換メッセージ（返答メッセージ）が通知されるまで、印刷を中断します。

6 他ホストで印刷した直後に用紙交換メッセージを通知する

「用紙名が変化したときに用紙交換メッセージを通知する」が  のとき、設定可能になります。

印刷先のプリンタで、直前に他ホストから印刷されていた場合、用紙交換メッセージ（返答メッセージ）を通知するように設定します。

用紙交換メッセージ（返答メッセージ）が通知されるまで、印刷を中断します。

7 用紙名が指定されたとき常に用紙交換メッセージを通知する

用紙名が指定された場合、常に用紙交換メッセージ（返答メッセージ）を通知します。ただし、同一の印刷では、用紙名が変わったときのみ通知します。

用紙交換メッセージ（返答メッセージ）が通知されるまで、印刷を中断します。

8 自動再開可能なエラー発生時

自動再開可能なエラー（ストップ、用紙なし、用紙づまりなど）を検出したときの動作を設定します。

・ 返答メッセージを通知し自動リトライ

返答メッセージを通知してプリンタの復旧監視を行い、復旧後に印刷を自動再開します。

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留して処理を終了します。

・ 返答メッセージを通知せず自動リトライ

返答メッセージが通知できる状態でも常にメッセージの通知は行わず、復旧監視および自動再開を行います。

POINT

- ・ エラーの発生後、そのままオンラインに復帰した場合は続きから印刷を行い、FMPRnavi2 で表示したメッセージで「操作」を行った場合は、指定したページから印刷します。

9 装置使用中メッセージを通知する

他のプリンタで使用中のため印刷できない場合、返答メッセージを通知してプリンタの復旧監視を行い、復旧後に印刷を自動再開します。

「自動再開可能なエラー発生時」の設定が「返答メッセージを通知し自動リトライ」の場合のみ選択できます。

・ 無効

他のプリンタで使用中のため印刷できない場合、返答メッセージが通知できる状態でもメッセージを通知しないで、復旧監視および自動再開を行います。

・ 有効

他のプリンタで使用中のため印刷できない場合、返答メッセージを通知してプリンタの復旧監視を行い、復旧後に印刷を自動再開します。

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留して処理を終了します。

10 メッセージ通知できない場合も自動リトライする

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

「自動再開可能なエラー発生時」の設定が「返答メッセージを通知し自動リトライ」の場合のみ選択できます。

- ・無効

メッセージを通知できない場合は、印刷を保留して処理を終了します。

- ・有効

メッセージを通知できない場合でも印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

11 復旧監視時間

プリンタを復旧監視する時間を設定します。

設定された監視時間を超えた場合、印刷を一時停止状態にして処理を終了します。

12 電源断、回線異常発生時

電源断、回線異常検出時の動作を設定します。

- ・返答メッセージからの指示に従う

返答メッセージを通知して、メッセージからの操作指示を待ちます。

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留して処理を終了します。

- ・返答メッセージを通知し自動リトライ

返答メッセージを通知してプリンタの復旧監視を行い、復旧後に印刷を自動再開します。

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留して処理を終了します。

- ・返答メッセージを通知せず自動リトライ

返答メッセージが通知できる状態でも常にメッセージの通知は行わず、復旧監視および自動再開を行います。

13 メッセージ通知できない場合も自動リトライする

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

「電源断、回線異常発生時」の設定が「返答メッセージを通知し自動リトライ」の場合のみ選択できます。

- ・無効

メッセージを通知できない場合は、印刷を保留して処理を終了します。

- ・有効

メッセージを通知できない場合でも印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

14 自動再開不可能なエラー発生時も自動リトライする

電源断、回線異常以外の自動再開が不可能なエラー（プリンタのハードエラーなど）を検出したときも、印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

「電源断、回線異常発生時」の設定が「返答メッセージを通知し自動リトライ」の場合のみ選択できます。

- ・無効

電源断、回線異常以外の自動再開が不可能なエラー（プリンタのハードエラーなど）を検出したときは、返答メッセージを通知して、メッセージからの操作指示を待ちます。

返答メッセージの通知に失敗した場合、印刷を保留して処理を終了します。

- ・有効

電源断、回線異常以外の自動再開が不可能なエラー（プリンタのハードエラーなど）を検出したときも、印刷を保留せず、復旧監視および自動再開を行います。

15 リトライ間隔

プリンタとの接続を試行する間隔を設定します。

接続に失敗すると、設定した時間後に、もう一度接続を試みます。試行する回数はリトライ回数で設定します。

16 リトライ回数

プリンタとの接続を試行する回数を指定します。

指定された回数を超えた場合、印刷を保留して処理を終了します。

17 標準に戻す

「詳細設定」ウィンドウの設定を初期値に戻します。

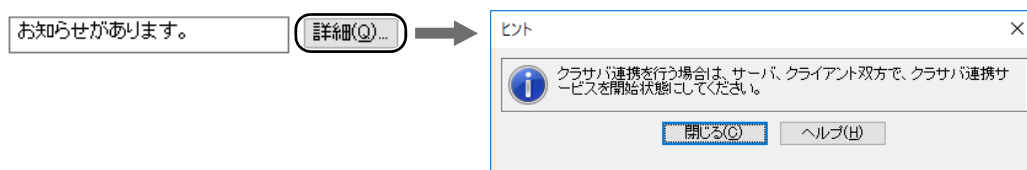
POINT

- ・指定のパソコンに印刷ログを保存するには、クラサバ連携サービスが必要です。クラサバ連携サービスについては、「クラサバ連携サービス」(→ P.137)をご覧ください。

ヒント情報

プリンタドライバを設定するうえでのヒント（アドバイス）が表示されます。

「詳細」をクリックすると、詳細な情報を確認することができます。



ヒント情報には、次の3種類があります。

レベル	通知領域表示内容	アイコン	内容
警告	警告があります。		このままの設定では、正しく印刷が行えないことを表しています。
ソフト	使用できない機能があります。		設定を変更したことにより、他の設定項目が使用できなくなったり、他の設定項目が選択状態になったりしていることを表しています。
お知らせ	お知らせがあります。		上記以外のお知らせを表示しています。

2 印刷可能領域

プリンタドライバで利用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

(単位：mm)

用紙 [注 1]	縦 (ポートレート)		横 (ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
A3 ノビ	329.00	483.00	—	—
A4 ノビ	224.00	355.00	355.00	224.00
B4 (JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B5 (JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
郵便はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒 (長形 5 号)	—	—	185.00	90.00
封筒 (長形 4 号)	—	—	205.00	90.00
封筒 (長形 3 号)	—	—	235.00	120.00
封筒 (長形 2 号)	—	—	277.00	119.00
封筒 (角形 8 号)	—	—	197.00	119.00
封筒 (角形 7 号)	—	—	205.00	142.00
封筒 (角形 6 号)	—	—	229.00	162.00
封筒 (角形 5 号)	—	—	240.00	190.00
封筒 (角形 4 号)	—	—	267.00	197.00
封筒 (角形 3 号)	—	—	277.00	216.00
封筒 (角形 2 号)	—	—	332.00	240.00
封筒 (洋形 7 号)	—	—	165.00	92.00
封筒 (洋形 6 号)	—	—	190.00	98.00
封筒 (洋形 5 号)	—	—	217.00	95.00
封筒 (洋形 4 号)	—	—	235.00	105.00
封筒 (洋形 3 号)	—	—	148.00	98.00

用紙 [注 1]	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
封筒（洋形 2 号）	—	—	162.00	114.00
封筒（洋形 1 号）	—	—	176.00	120.00
封筒（US10）	—	—	239.00	105.00
封筒（German Type）	—	—	220.00	111.00
名刺	55.00	90.00	—	—
10×11inch 連続紙	254.00	279.40	—	—
12×11inch 連続紙	304.80	279.40	—	—
15×11inch 連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	381.00	25.40	—	—
縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	381.00	50.80	—	—
縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	381.00	76.20	—	—
縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	381.00	84.67	—	—
縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	381.00	93.14	—	—
縦 4 インチ（101.6mm）連続紙	381.00	101.60	—	—
縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙	381.00	110.06	—	—
縦 4.5 インチ（114.3mm）連続紙	381.00	114.30	—	—
縦 4 2/3 インチ（118.5mm）連続紙	381.00	118.53	—	—
縦 5 インチ（127.0mm）連続紙	381.00	127.00	—	—
縦 5 1/3 インチ（135.5mm）連続紙	381.00	135.46	—	—
縦 5 2/3 インチ（143.9mm）連続紙	381.00	143.93	—	—
縦 6 インチ（152.4mm）連続紙	381.00	152.40	—	—
縦 7 インチ（177.8mm）連続紙	381.00	177.80	—	—
縦 8 インチ（203.2mm）連続紙	381.00	203.20	—	—
縦 9 インチ（228.6mm）連続紙	381.00	228.60	—	—
縦 10 インチ（254.0mm）連続紙	381.00	254.00	—	—
縦 10.5 インチ（266.7mm）連続紙	381.00	266.70	—	—
縦 11 インチ（279.4mm）連続紙	381.00	279.40	—	—
縦 12 インチ（304.8mm）連続紙	381.00	304.80	—	—
縦 13 インチ（330.2mm）連続紙	381.00	330.20	—	—
縦 14 インチ（355.6mm）連続紙	381.00	355.60	—	—
ユーザー定義サイズ [注 2]	55.00 ～ 420.00	25.40 ～ 420.00	—	—

注 1 プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。

注 2 デフォルト値（mm）は、用紙幅が 55.00、用紙長が 25.40 です。

POINT

ユーザー定義サイズ用紙について

- ・用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印刷可能範囲内（最大 345.5mm）で使用してください。最大印刷可能範囲を超えると、正しく印刷されない場合があります。

- ・ ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows の演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生する場合があります。
その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ（Windows のバージョンによっては長さ也表示されます）を調整するか、複数ページを 1 つの単位とした用紙を作成してください。
- ・ ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（→ P.119）をご覧ください。

印刷領域

（単位：mm）

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端 [注 2]
手差し	[注 1]	4.23
前トラクタフィーダ		0.00
後トラクタフィーダ		0.00
カットシートフィーダフロント		4.23
カットシートフィーダリア		4.23

注 1 上端余白は、「上端余白」で設定に従った値となります。

注 2 「カスタム用紙余白」を有効にしたときは、ユーザー定義サイズ用紙の作成時に設定した余白になります。

（単位：mm）



用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.32	37.32
A4、A4 横	5.08	5.08
A5、A5 横	5.08	5.08
A6、A6 横	5.08	5.08
B4 (JIS)	5.08	5.08
B4 (JIS) 横	5.08	13.48
B5 (JIS)、B5 (JIS) 横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
郵便はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒（長形 5 号）	12.00	12.00
封筒（長形 4 号）	12.00	12.00
封筒（長形 3 号）	12.00	12.00
封筒（長形 2 号）	12.00	12.00
封筒（角形 8 号）	12.00	12.00
封筒（角形 7 号）	12.00	12.00
封筒（角形 6 号）	12.00	12.00

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
封筒（角形 5 号）	12.00	12.00
封筒（角形 4 号）	12.00	12.00
封筒（角形 3 号）	12.00	12.00
封筒（角形 2 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 7 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 6 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 5 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 4 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 3 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 2 号）	12.00	12.00
封筒（洋形 1 号）	12.00	12.00
封筒（US10）	12.00	12.00
封筒（German Type）	12.00	12.00
名刺	5.08	5.08
10×11inch 連続紙	0.00	0.00
12×11inch 連続紙	0.00	0.00
15×11inch 連続紙	0.00	35.56
縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 インチ（101.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4.5 インチ（114.3mm）連続紙	0.00	35.56
縦 4 2/3 インチ（118.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 インチ（127.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 1/3 インチ（135.5mm）連続紙	0.00	35.56
縦 5 2/3 インチ（143.9mm）連続紙	0.00	35.56
縦 6 インチ（152.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 7 インチ（177.8mm）連続紙	0.00	35.56
縦 8 インチ（203.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 9 インチ（228.6mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10 インチ（254.0mm）連続紙	0.00	35.56
縦 10.5 インチ（266.7mm）連続紙	0.00	35.56
縦 11 インチ（279.4mm）連続紙	0.00	35.56
縦 12 インチ（304.8mm）連続紙	0.00	35.56

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 13 インチ（330.2mm）連続紙	0.00	35.56
縦 14 インチ（355.6mm）連続紙	0.00	35.56
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

- ・ 給紙方法によって上端、下端余白が異なります。
- ・ プリンタドライバのバージョンによっては、連続帳票用紙名が異なる場合があります。

重要

- ・ 封筒を使用する場合の余白量については、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」に記載している用紙規格に合わせて調整してください。
- ・ 「縦 1 インチ（25.4mm）連続紙」～「縦 14 インチ（355.6mm）連続紙」の連続紙については、用紙幅をすべて 15inch に規定してあります。使用する場合には 『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」に記載している用紙規格をご覧ください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダー、フッターの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダー、フッターの位置を調節して印刷してください。

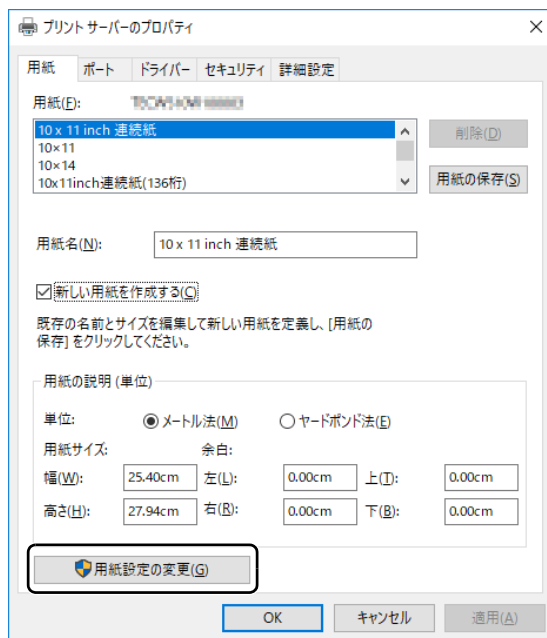
3 ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について説明します。

POINT

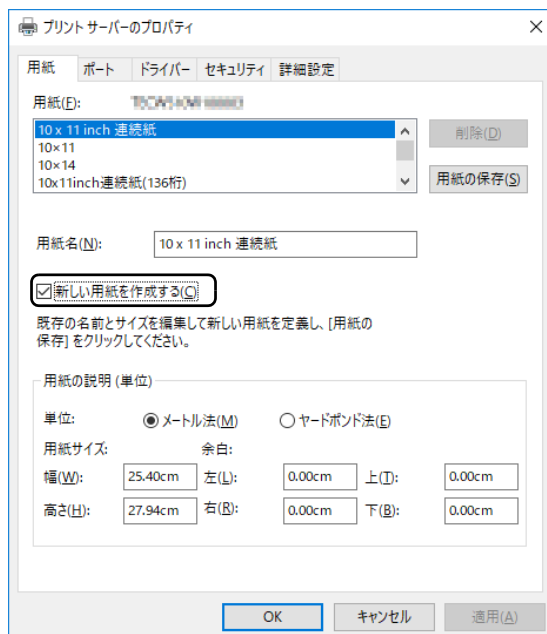
- ・ ご使用の Windows の種類によっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成してください。

- 1 コントロールパネルでプリンタフォルダーを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2 プリンタアイコンをクリックし、「プリントサーバープロパティ」をクリックします。
- 3 「用紙設定の変更」ボタンが表示されている場合は、「用紙設定の変更」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

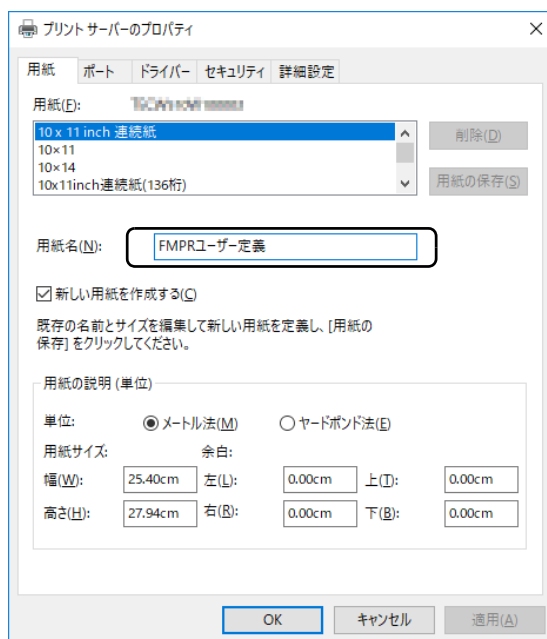
4 「新しい用紙を作成する」にチェックを付けます。



「用紙の説明」や「用紙サイズ」のグレーアウトが解除されます。

5 「用紙名」に作成する用紙名を入力します。

ここでは、「FMPR ユーザー定義」という名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。

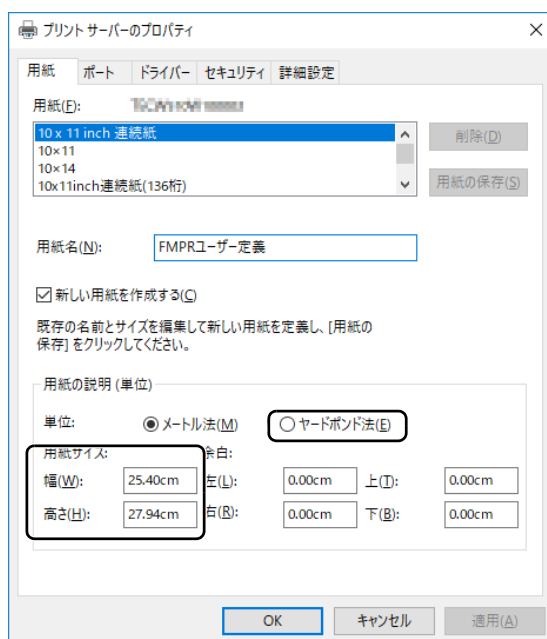


6 「単位」の「ヤードポンド方法」を選択し、用紙サイズの幅と高さを入力します。

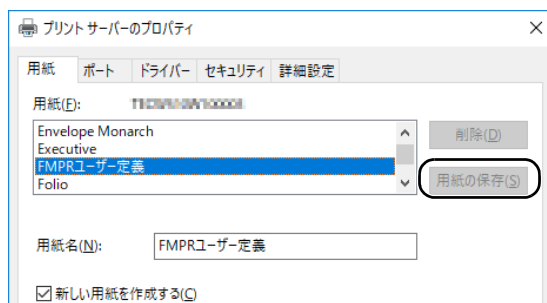
ここでは、幅 11 インチ、高さ 11 インチの用紙を作成します。

重要

- ・プリンタドライバの規定値による余白量の違いで印字位置がずれるときは、用紙サイズの幅と高さの入力に合わせ、余白（上下左右）を入力します。
「プリンターのプロパティ」で作成した用紙を選択し、「カスタム用紙余白」を「有効」にしてください。
- ・作成可能な用紙幅、高さについては、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙について」をご覧ください。



7 「用紙の保存」をクリックします。

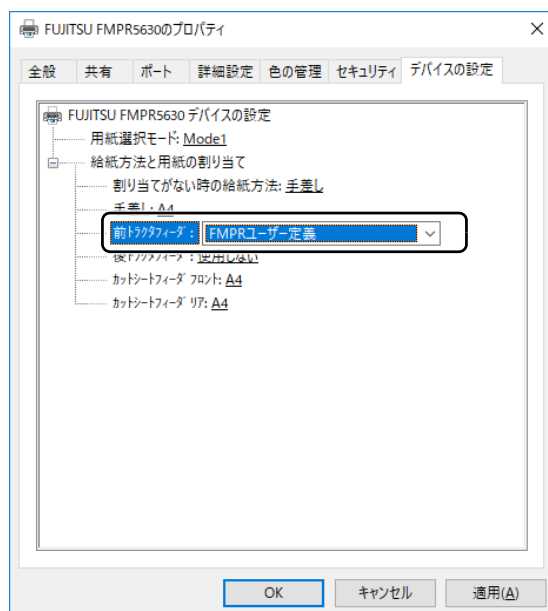


「用紙名」に入力した用紙名が、「用紙」に追加されます。

8 「閉じる」をクリックし、「プリントサーバーのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

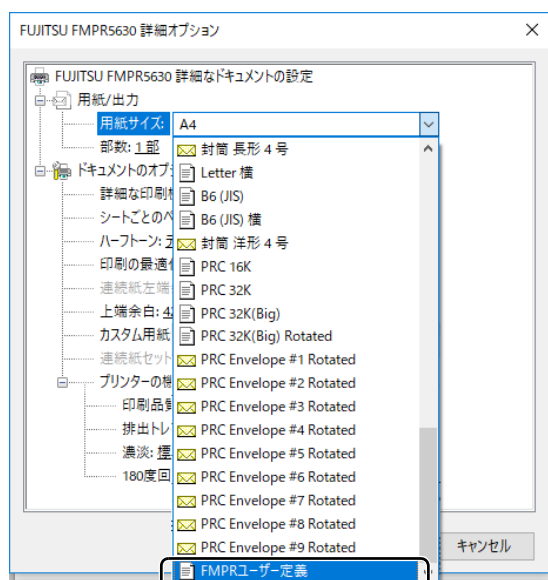
9 インストールされているプリンタドライバのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

10 「デバイスの設定」タブをクリックし、使用する給紙口に作成した用紙サイズを設定します。



11 インストールされているプリンタドライバアイコンを右クリックし、「印刷設定」→「詳細設定」の順にクリックします。

「用紙サイズ」に、作成した「FMPR ユーザー定義」という用紙が一覧にあることを確認してください。



重要

- ・作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。
再度、「プリントサーバーのプロパティ」を表示して、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。

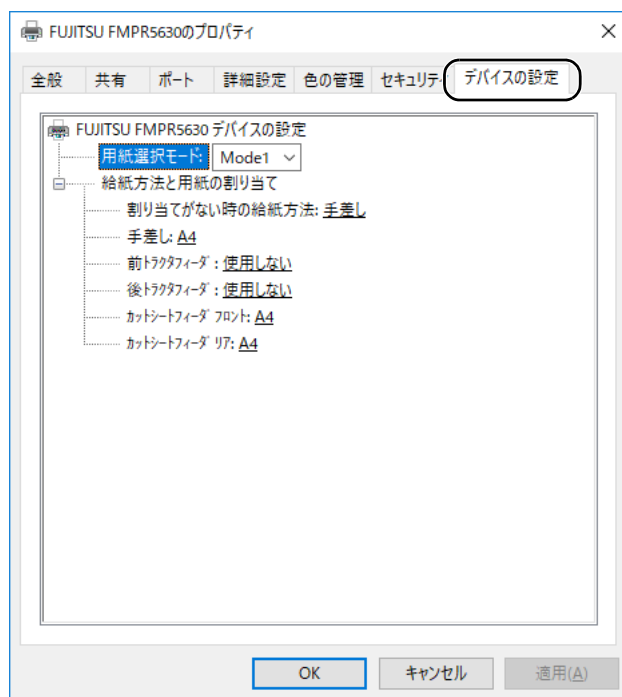
POINT

- ・3 ページで用紙長が 10、11、13、14、16、または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合があります。ドライバで指定できる用紙サイズ(3 ページで用紙長が 13 インチの場合は「縦 4 1/3inch 連続紙」)を設定してください。
- ・連続帳票の用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。
例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンタのドットピッチ (1/180 インチ) に従いドットに変換され、807 ドット (Windows では少数点以下第 1 位切り捨て) となるため、4.5 インチの 810 ドットとは合わなくなります。

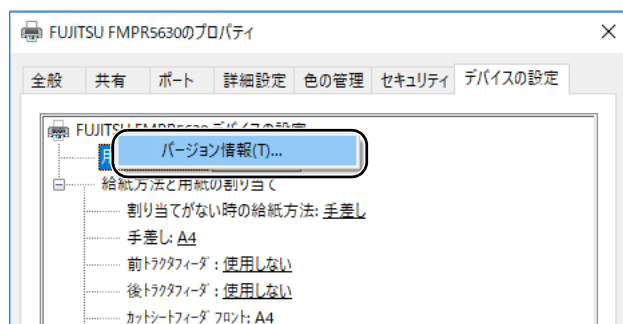
4 プリンタドライバのバージョンを確認する

プリンタドライバのバージョン確認

- 1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2 「FUJITSU FMPR5630 プリンタ」アイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
- 3 「デバイスの設定」タブをクリックします。



- 4** 「FUJITSU FMPR5630 デバイスの設定」を右クリックし、「バージョン情報」をクリックします。



バージョン情報が表示されます。



FMPRnavi2 のバージョン確認

「FMPRnavi2」のバージョンは、「プリンターのプロパティ」の「FMPRnavi2」タブから確認できます。詳しくは、「「FMPRnavi2」タブ [注 2]」(→ P.107) をご覧ください。

- 1** コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2** バージョンを確認したいプリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
「プリンタのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「FMPRnavi2」タブの「バージョン」をクリックします。
「FMPRnavi2」のバージョンが表示されます。



5

第 5 章 印刷ログの確認

この章では、印刷の履歴を管理するログ機能とクラサバ連携サービスについて説明します。

1 印刷ログ機能（印刷ログビューア）	128
2 クラサバ連携サービス	137

1 印刷ログ機能（印刷ログビューア）

印刷ログは、印刷時の最後の状態を記録したものです。

「印刷ログビューア」を使用することで、印刷が終了してから時間が経過していても、自分の印刷物がいつ、どこに印刷されたかを確認できます。

POINT

- ・「印刷ログビューア」は、「FMPRnavi2」をインストールすると、「スタート」メニューに登録されます。
- ・「印刷ログビューア」は、「FMPRnavi2」を削除すると、いっしょに削除されます。ログファイルは削除されません。
- ・印刷ログは、各メッセージ（ステータス表示、印刷完了通知）の表示先にバイナリファイル形式で格納されます。
- ・パソコン1台につき、印刷ログファイルは1個となります（「FMPRnavi2」と関連付けしているプリンタが複数ある場合は、複数のプリンタのログが1ファイルに格納されます）。

印刷ログビューアでできること

「印刷ログビューア」では、次のことができます。

■ ログの表示

お使いのパソコンから実行した印刷について、終了状態を確認できます。

■ ログの情報表示

印刷ログごとに詳細を確認できます。

印刷を行ったユーザーや印刷枚数などの情報に加えて、印刷時の詳細設定や、セキュリティに関する設定の有無などを確認できます。印刷のコスト計算や、印刷時のセキュリティ設定の徹底などに、ログを活用できます。

■ ログの CSV ファイルへの出力

採取したログを CSV ファイルとして出力できます。


印刷ログビューアを起動するには

1 次の操作を行います。


■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FUJITSU Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 印刷ログビューア」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FUJITSU Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 印刷ログビューア」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 印刷ログビューア」をクリックします。

■ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
 2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 印刷ログビューア」をクリックします。
- 「FMPRnavi2 印刷ログビューア」ウィンドウが表示されます。

印刷ログ一覧の見かた







「印刷ログビューア」の初期設定では、一部の項目のみが表示されます。確認したい項目が表示されていない場合は、「表示項目の設定」（→ P.131）を行ってください。

分類	日時	文書名	ユーザー名	印刷完了ページ	部数	モノクロ印刷ページ	印刷完了枚数	プリンタ名	印刷要求元
 印刷終了	2018/04/04 12:00:01	テストページ	testuser	2	1	2	2	FUJITSU FMPR5130	TECHNICAL
 用紙無し(手差し)	2018/04/04 12:00:01	テストページ	testuser	1	1	1	1	FUJITSU FMPR5130	TECHNICAL
 印刷開始	2018/04/04 12:00:00	テストページ	testuser	0	1	0	0	FUJITSU FMPR5130	TECHNICAL

3 個の印刷ログ

1 分類

印刷終了時の状態が、アイコンと共に表示されます。表示内容は次のとおりです。

アイコン	名称	説明
	印刷開始	印刷が開始したことを表しています。
	印刷終了	正常に印刷が完了しました。
	保留	印刷が保留されたことを表しています。
	印刷削除	印刷が削除されたことを表しています。
	エラー	現在、プリンタにエラーが発生しています。
	用紙交換、テストプリント完了など	印刷時のエラー以外のプリンタの情報が表示されます。

2 日時

ログが採取された日時が表示されます。

3 文書名

印刷を行った文書名が表示されます。

4 ユーザー名

印刷を行ったユーザー名が表示されます。

5 印刷完了ページ

印刷が完了したページ数が表示されます。

6 部数

印刷部数が表示されます。

7 モノクロ印刷ページ

モノクロで印刷したページ数が表示されます。

8 印刷完了枚数

印刷完了枚数が表示されます。

9 プリンタ名

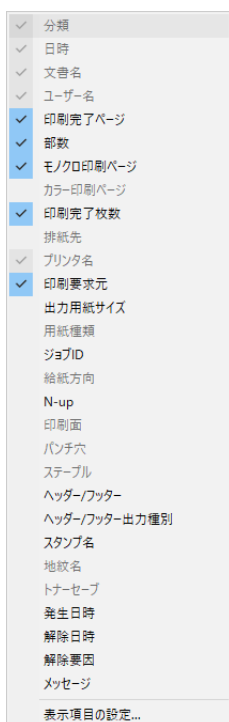
印刷先のプリンタ名が表示されます。

10 印刷要求元

印刷を行ったパソコン名が表示されます。

POINT

- ・印刷ログを採取しない場合は、「詳細設定」ウィンドウの「印刷ログを残す」のチェックを外してください。「詳細設定」ウィンドウは、「プリンターのプロパティ」ウィンドウの「FMPRnavi2」タブの「詳細設定」をクリックすると表示されます。
- ・印刷中にプリンタの電源を切ると、記録される印刷ページ数は、実際の印刷ページ数と合わない場合があります。
- ・印刷完了枚数が不確定の場合、総印刷枚数は空白となります。
- ・「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウに表示する項目は、「表示項目の設定」（→ P.131）で設定できます。また、表示項目を右クリックして表示されるメニューからも設定できます。

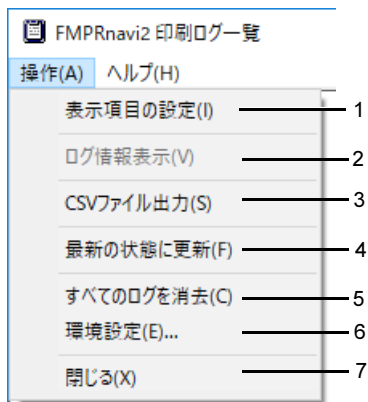


- ・表示項目をドラッグすると、表示順を変更できます。

印刷ログ一覧の操作

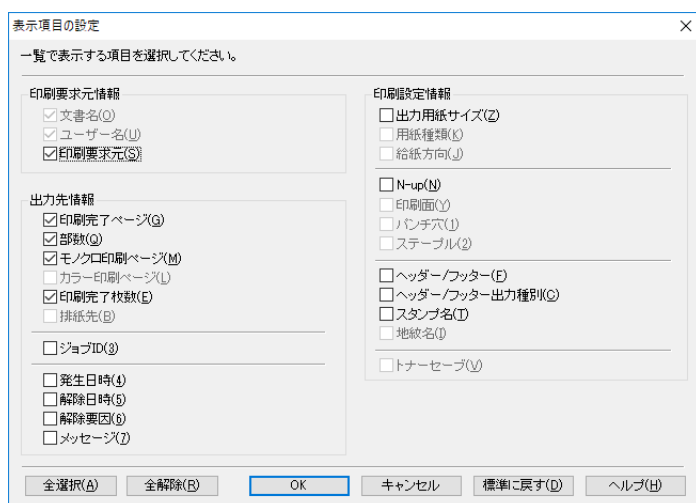
「印刷ログビューア」のメニューバーから、次の操作を行えます。

■ 「操作」 メニュー



1 表示項目の設定

「表示項目の設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウの表示項目を選択できます。ただし、「分類」「プリンタ名」「日時」は、非表示への変更はできません。



2 ログ情報表示

一覧で印刷ログを選択し、「ログ情報表示」を選択すると、「FMPRnavi2 印刷ログ情報」ウィンドウが表示されます。「FMPRnavi2 印刷ログ情報」では、印刷ログの詳細を確認できます（→ P.134）。

3 CSV ファイル出力

「CSV ファイル出力」ウィンドウが表示されます。設定を行って「CSV 出力」をクリックすると、「印刷ログビューア」に現在読み込まれている情報を、CSV ファイルとして出力できます。

CSVファイル出力

CSVファイルの出力先(E)
D:\FMPRPRT2.CSV 参照(R)

CSVヘッダー情報

- ☒ バージョン情報を出力する(V)
- ☒ 各列の型情報を出力する(T)
- ☒ 各列のIDを出力する(I)
- ☒ 各列のデータ名称を出力する(N)

CSVデータ

- ☒ すべてのログ情報を出力する(S)
- ☐ 表示されている情報のみを出力する(D)

CSV出力(O) キャンセル ヘルプ(H)

No.	項目	説明
1	CSV ファイルの出力先	CSV ファイルの出力先を指定します。
2	CSV ヘッダー情報	CSVファイルのヘッダー行として出力する情報を指定します。 <ul style="list-style-type: none">バージョン情報を出力する 印刷ログの版数を出力します。各列の型情報を出力する 印刷ログデータの型（文字列、数値）をデータ名ごとに出力します。各列のデータ ID を出力する データを分類するための、ID（数値）を出力します。各列のデータ名称を出力する データを分類するための、データ名（項目名）を出力します。
3	CSV データ	ログデータに含まれるすべての内容出力するか、「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウに表示されている項目のみを出力するかを選択します。

4 最新の情報に更新

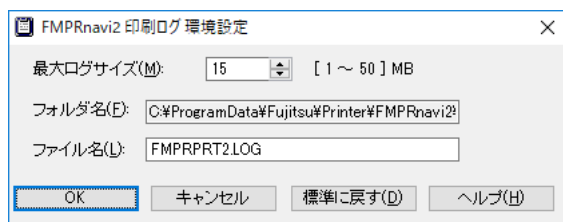
印刷ログの一覧を最新の状態に更新します。なお、印刷ログは15秒ごとに自動的に更新されます。

5 すべてのログを消去

すべての印刷ログを初期化します。

6 環境設定

「FMPRnavi2 印刷ログ環境設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、最大ログサイズとログのファイル名を指定できます。



- ・最大ログサイズ（初期値：15MB）
ログファイルの最大サイズを、1～50MBの範囲で指定します。
- ・フォルダ名
ログファイルの格納先です。変更はできません。
- ・ファイル名
ログファイル名を指定します。

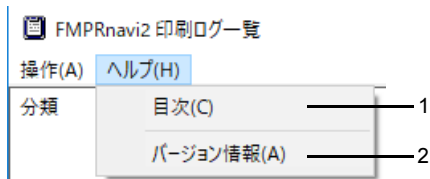
重要

- ・ログファイルのサイズが最大ログサイズを超える場合、古いログから削除されます。
- ・環境設定は、管理者権限でサインインしてから行ってください。管理者権限以外でサインインした場合はグレースアウトされます。

7 閉じる

「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウを閉じ、「印刷ログビューア」を終了します。

■「ヘルプ」メニュー



1 目次

ヘルプが表示されます。

2 バージョン情報

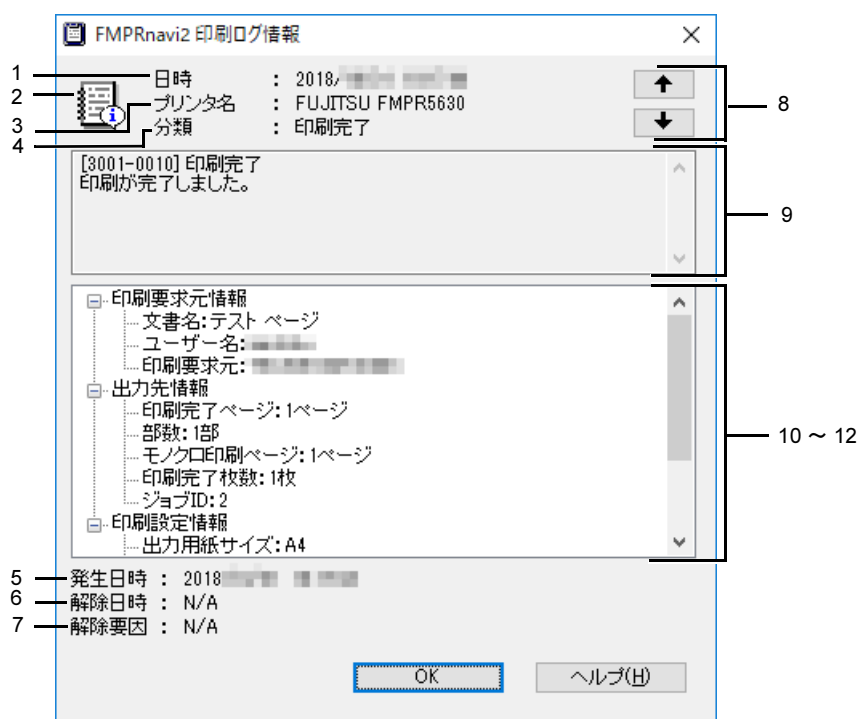
「印刷ログビューア」のバージョン情報が表示されます。

印刷ログ情報表示

「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウで選択中のログの詳細を表示することができます。ログの詳細を表示するときは、「FMPRnavi2 印刷ログ情報」ウィンドウを表示します。

「FMPRnavi2 印刷ログ情報」ウィンドウは、次のいずれかの操作で表示されます。

- ・「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウで、情報を表示したいログをダブルクリックする
- ・「FMPRnavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウのメニューバーで「操作」→「ログ情報表示」の順にクリックする



「FMPRnavi2 印刷ログ情報」ウィンドウを閉じるには、「OK」をクリックします。

1 日時

ログが採取された日時が表示されます。

2 アイコン

プリンタの状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの種類と意味については、「分類」(→ P.129) の表をご覧ください。

3 プリンタ名

印刷先のプリンタ名が表示されます。

4 分類

ログの分類が表示されます。次の種類があります。

印刷開始／印刷終了／保留／印刷削除／エラー／用紙交換、テストプリント完了など

5 発生日時

エラーが発生した日時が表示されます。

6 解除日時

エラーを解除した日時が表示されます。

7 解除要因

エラーを解除した要因（方法）が表示されます。

8 ログ切り替え

他の印刷ログの詳細情報を表示したいときに使用します。「↑」をクリックすると 1 つ前に発生したログ情報が、「↓」をクリックすると 1 つ後に発生したログ情報が表示されます。

9 メッセージ

エラーメッセージが表示されます。

10 印刷要求元情報

- ・ 文書名
印刷を行った文書名が表示されます。
- ・ ユーザー名
印刷を行ったユーザー名が表示されます。
- ・ 印刷要求元
印刷を行ったパソコン名が表示されます。

11 出力先情報

- ・ 印刷完了ページ
印刷が完了したページ数が表示されます。
- ・ 部数
印刷部数が表示されます。
- ・ モノクロ印刷ページ
モノクロで印刷したページ数が表示されます。
- ・ 印刷完了枚数
印刷完了枚数が表示されます。
- ・ ジョブ ID
Windows が割り当てた「ジョブ ID」が表示されます。

12 印刷設定情報

- ・ 出力用紙サイズ
印刷した用紙のサイズが表示されます。文書の途中で用紙サイズが変わっている場合は、ジョブの先頭ページの用紙サイズが表示されます。
- ・ N-up
N-up の設定が表示されます。
- ・ ヘッダー / フッター
ヘッダー / フッターの使用有無が「する」「しない」で表示されます。
FMPR5630/FMPR5430/FMPR5130 では未サポートのため、「しない」と表示されます。
- ・ ヘッダー / フッター出力種別
ヘッダー / フッターに印刷する内容が表示されます。ヘッダー / フッターを印刷しない場合は、「空欄」になります。
次の印字内容を複数設定した場合、印刷ログ一覧には印字内容を「／（スラッシュ）」で区切って表示されます。

表示される印字内容	意味
AC	印刷するパソコンにサインインしているユーザー名
PC	印刷するパソコン名
IP	印刷するパソコンの IP アドレス

表示される印字内容	意味
MAC	印刷するパソコンの MAC アドレス
日付	印刷日付
時間	印刷時刻
文書	印刷するデータのファイル名
ページ	印刷するデータのページ番号
PRN	印刷するプリンタ名

- ・スタンプ名

スタンプ名称が表示されます。FMPR5630/FMPR5430/FMPR5130 では、未サポートのため「なし」と表示されます。

POINT

- ・印刷中にプリンタの電源を切ると、記録される印刷完了ページ、モノクロ印刷ページは、実際の印刷枚数と合わない場合があります。

2 クラサバ連携サービス

クラサバ連携サービスとは、ネットワーク上の他のコンピュータへ、返答メッセージや通知メッセージを表示する機能です。

クラサバ連携サービスでできること


クラサバ連携サービスでは、次のことができます。

- ・ 返答メッセージの表示
「FMPRnavi2」タブの返答メッセージで設定された表示先（→ P.107）に、印刷中のエラー、テストプリント完了、用紙交換などのメッセージを表示します。
- ・ 通知メッセージの表示
「FMPRnavi2」タブの通知メッセージで設定された表示先（→ P.108）に、プリンタの停止、印字開始、印字完了、用紙交換などのメッセージを表示します。
- ・ ログの保存
「FMPRnavi2」タブの「詳細設定」ウィンドウで、「他のコンピュータに印刷ログを残す」（→ P.110）で設定したネットワークの他のコンピュータに、ログを保存します。


クラサバ連携サービスを開始する

1 「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」を起動します。


■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FUJITSU Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FUJITSU Printer Utility」 → 「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」をクリックします。

■ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

1. スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FUJITSU Printer Utility」の「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」をクリックします。

2 「開始」をクリックします。

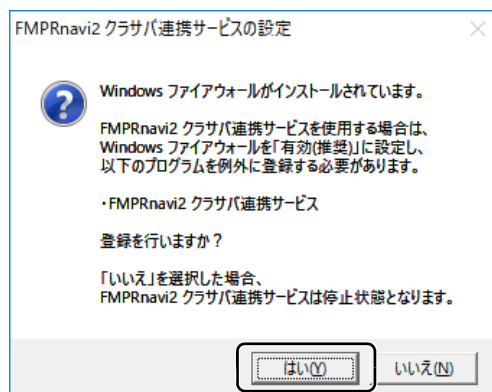


「サービスの状態」が「開始」になります。

POINT

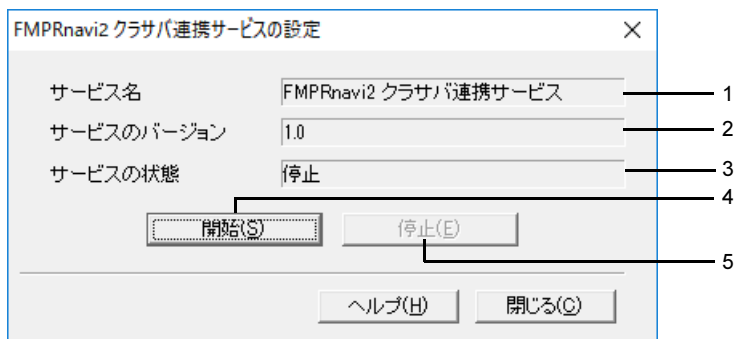
- ・ クラサバ連携サービスが、ファイアウォールの例外に登録されていない場合、次のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックして、クラサバ連携サービスをファイアウォールの例外に登録してください。



3 「閉じる」をクリックします。

「FMPRnavi2 クラサバ連携サービスの設定」 ウィンドウ



1 サービス名

クラサバ連携サービスのサービス名が表示されます。

2 サービスのバージョン

FMPRnavi2 のバージョンが表示されます。

3 サービスの状態

クラサバ連携サービスの状態（開始／停止）が表示されます。

4 開始

クラサバ連携サービスを開始するときにクリックします。サービスが開始状態の場合は、本ボタンは無効になります。

5 停止

クラサバ連携サービスを停止するときにクリックします。サービスが停止状態の場合は、本ボタンは無効になります。

6

第 6 章 プリンタを設定するためのソフトウェア

この章では、プリンタの設定をパソコンから行うためのソフトウェアである FMPR リモートパネルについて説明します。

1 FMPR リモートパネル	142
----------------------	-----

1 FMPR リモートパネル

FMPR リモートパネルをインストールする


「FMPR リモートパネルをインストールする」(→ P.31) をご覧ください。

FMPR リモートパネルの機能

ここでは、FMPR リモートパネルの機能について説明します。

FMPR リモートパネルは、通常はプリンタのオペレータパネルの操作により行う機能設定を、パソコンの画面から行うことができるユーティリティです。


POINT

- FMPR リモートパネルを使用する場合は、お使いのプリンタのプリンタドライバが事前にインストールされている必要があります。
- エミュレーションモードやインターフェースの設定などの一部の設定は、FMPR リモートパネルから行うことはできません。一部の項目の設定は、プリンタのオフラインセットアップをお使いください。オフラインセットアップの方法は、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定を変える」をご覧ください。


FMPR リモートパネルを起動する

1 次の操作を行います。


■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「FMPR5X30 リモートパネル」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「FMPR5X30 リモートパネル」の順にクリックします。

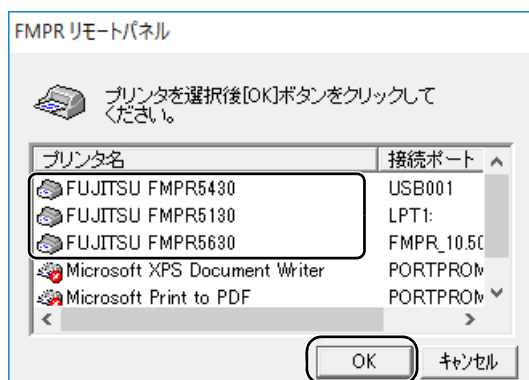
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「FMPR5X30 リモートパネル」をクリックします。

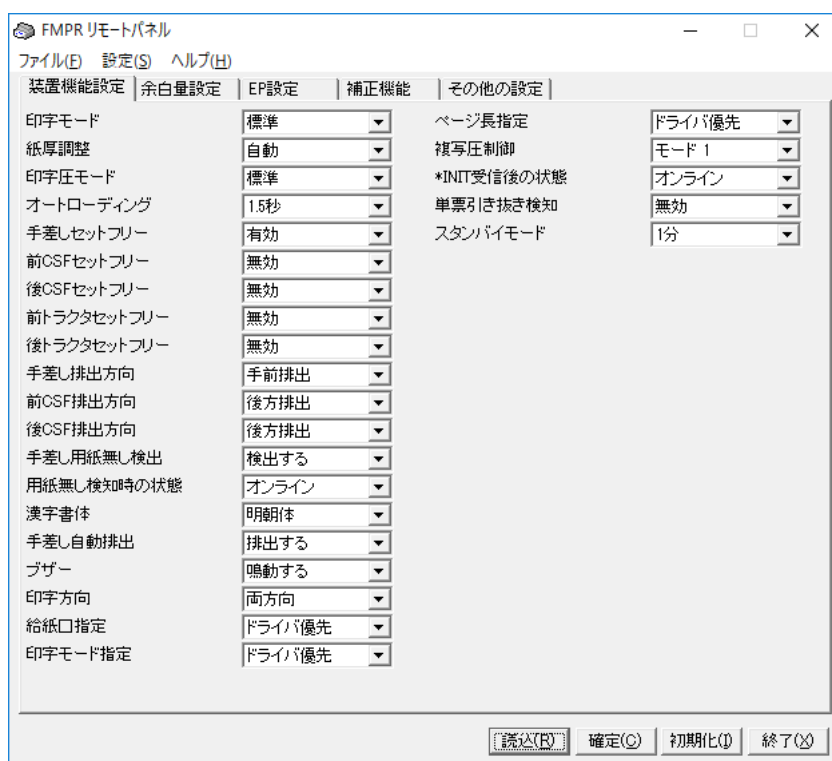
■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「FMPR5X30 リモートパネル」をクリックします。

2 「プリンタ」を選択し、「OK」をクリックします。



「FMPR リモートパネル」ウィンドウが表示されます。

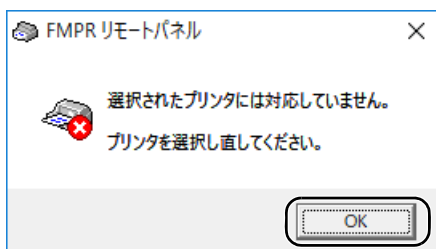


重要

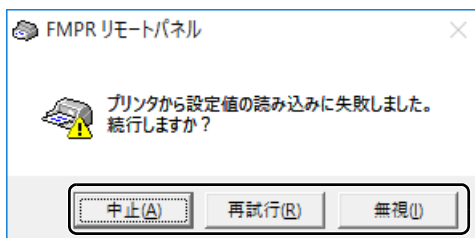
- ・ FMPR リモートパネルは、パラレル、USB、または LAN（オプションの FMPR-LN4 使用時）接続時に使用してください。
- ・ FMPR リモートパネルをお使いになる場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- ・ 次の環境では FMPR リモートパネルを使用できません。
 - ・ プリンタドライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプションの FMPR-LN4 使用時）以外の場合
 - ・ パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合
 - ・ プリンタドライバの双方向通信機能が無効になっている場合

POINT

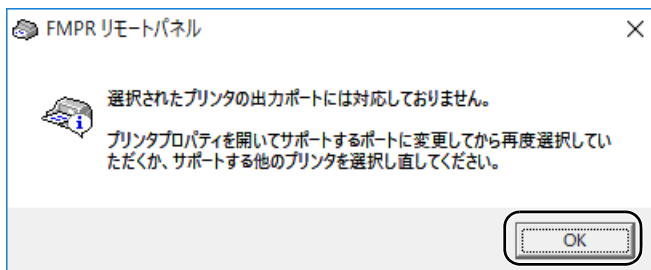
- ・ FMPR リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- ・ FMPR リモートパネル起動時に、実際に接続されているプリンタが選択したプリンタ機種と異なっている場合には、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。



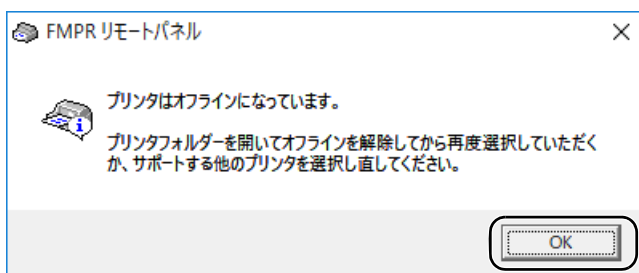
- ・ LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN4 使用時）で使用するときは、FMPR TCP/IP Port でデフォルトのポート名（FMPR_xxx.xxx.xxx.xxx）としてください。
「xxx.xxx.xxx.xxx」には IP アドレスが入ります。
デフォルトのポート名以外に設定されている場合や Windows 標準の Standard TCP/IP ポート、Windows 標準の LPR ポート、または未対応のネットワークポートでは動作しません。
- ・ FMPR リモートパネルは、ソフトウェアの起動時に、プリンタから機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、次のようなメッセージが表示されます。
FMPR リモートパネルの使用を中止する場合は「中止」をクリックしてください。
プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は「再試行」をクリックしてください。
プリンタからの情報を読み込まないで FMPR リモートパネルを起動する場合は「無視」をクリックしてください。



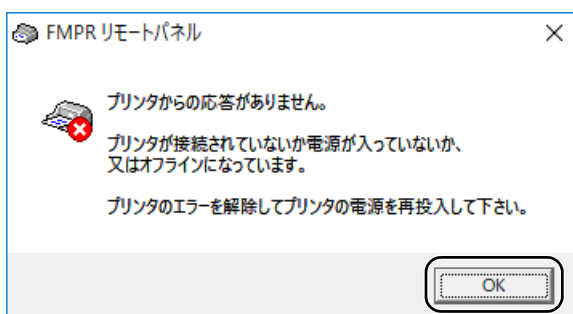
- ・ 接続ポートが異なるときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。



- ・ USB インターフェースで接続しているとき、プリンタの電源が入っていないか、プリンタフォルダーのプリンタドライバがオフライン状態のときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。

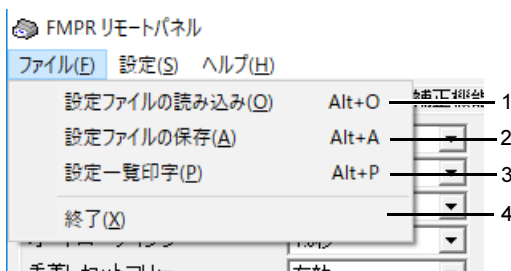


- ・ LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN4 使用時）のとき、プリンタの電源が入っていないか、接続されていないときは、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、接続を確認してください。



メニューの説明

■ 「ファイル」 メニュー



1 設定ファイルの読み込み

ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

ファイル名に設定ファイル名を指定して、「開く」をクリックしてください。

2 設定ファイルの保存

「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

ファイル名に設定ファイル名を指定して、「保存」をクリックしてください。

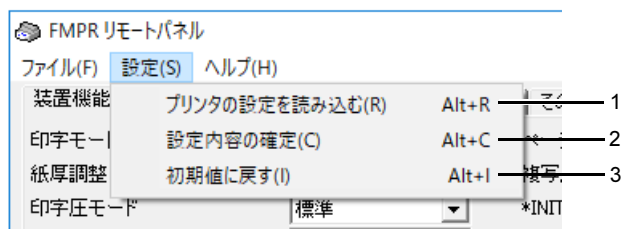
3 設定一覧印字

設定内容の一覧印刷を行います。

4 終了

「FMPR リモートパネル」ウィンドウを終了します。

■「設定」メニュー



1 プリンタの設定を読み込む

プリンタから設定値を読み込み、「FMPR リモートパネル」ウィンドウの各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

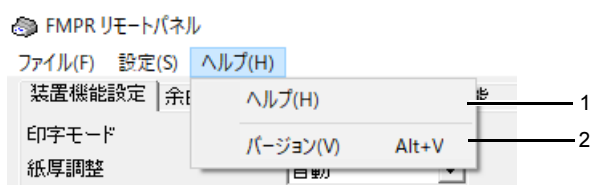
2 設定内容の確定

「FMPR リモートパネル」ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信します。

3 初期値に戻す

「FMPR リモートパネル」ウィンドウの設定値表示をご購入時の値に戻します。また、プリンタの設定を初期値にします。

■「ヘルプ」メニュー



1 ヘルプ

「FMPR リモートパネル」ウィンドウのヘルプを起動します。

2 バージョン

「FMPR リモートパネル」ウィンドウのソフトウェアのバージョンを表示します。

ボタンの説明

- ・「読込」
「設定」メニューの「プリンタの設定を読み込む」と同じ機能です。
- ・「確定」
「設定」メニューの「設定内容の確定」と同じ機能です。
- ・「初期化」
「設定」メニューの「初期値に戻す」と同じ機能です。
- ・「終了」
「FMPR リモートパネル」ウィンドウを終了します。

タブの説明

■「装置機能設定」 タブ

オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、プリンタ機能に関する共通項目の設定を行います。各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「装置機能設定」をご覧ください。

FMPR リモートパネル

ファイル(F) 設定(S) ヘルプ(H)

装置機能設定 | 余白量設定 | EP設定 | 補正機能 | その他の設定

印字モード	標準	ページ長指定	ドライバ優先
紙厚調整	自動	複写圧制御	モード 1
印字圧モード	標準	*INIT受信後の状態	オンライン
オートローディング	1.5秒	単票引き抜き検知	無効
手差しセットフリー	有効	スタンバイモード	1分
前CSFセットフリー	無効		
後CSFセットフリー	無効		
前トラクタセットフリー	無効		
後トラクタセットフリー	無効		
手差し排出方向	手前排出		
前CSF排出方向	後方排出		
後CSF排出方向	後方排出		
手差し用紙無し検出	検出する		
用紙無し検知時の状態	オンライン		
漢字書体	明朝体		
手差し自動排出	排出する		
ブザー	鳴動する		
印字方向	両方向		
給紙口指定	ドライバ優先		
印字モード指定	ドライバ優先		

「読み込み(R)」 確定(C) 初期化(O) 終了(X)

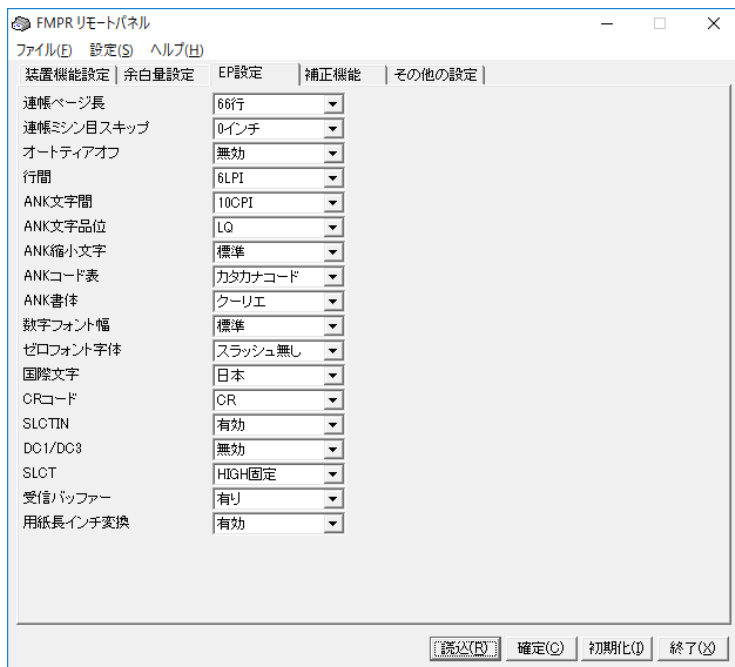
■「余白量設定」 タブ

余白量に関する項目の設定を行います。各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「余白量設定」をご覧ください。



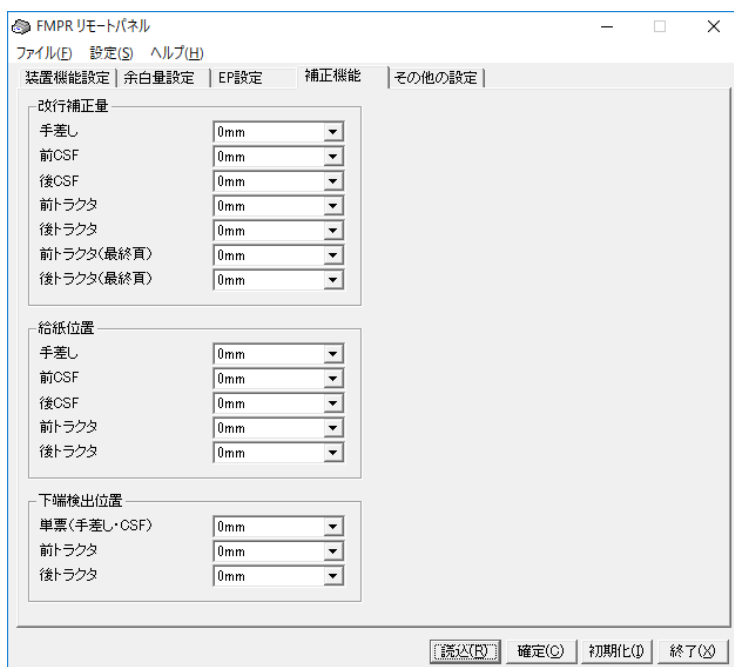
■「EP 設定」 タブ

EP モード (ESC/P エミュレーション) の設定を行います。各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「EP 設定」をご覧ください。



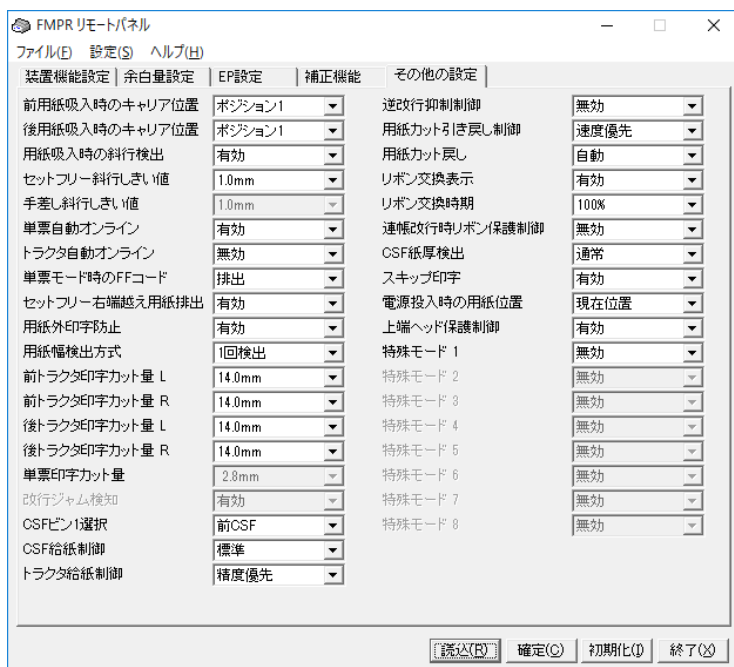
■「補正機能」 タブ

改行補正量、上端余白量補正、および下端余白量補正の設定を行います。各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「補正機能」をご覧ください。



■「その他の設定」 タブ

プリンタの制御方法に関する項目の設定を行います。各設定項目については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「操作方法」－「機能設定の種類」－「その他の設定」をご覧ください。



7

第 7 章 印刷関連のソフトウェア

この章では、FMPRnavi2 および Web ブラウザによる設定方法について説明します。

1 FMPRnavi2	152
2 Web ブラウザによる設定	160

1 FMPRnavi2

FMPRnavi2 をインストールする


「FMPRnavi2 をインストールする」(→ P.37) をご覧ください。

FMPRnavi2 の機能

ここでは、FMPRnavi2 の機能について説明します。

FMPRnavi2 は、プリンタの印刷状態やエラーの発生状況、印刷ジョブの状態（ステータス）を監視し、エラー発生時には印刷ジョブを操作することができるユーティリティです。

ここでの説明では、FMPR5630 を使用した場合の画面となっています。FMPR5430/FMPR5130 を使用される場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。

プリンタがエラーになったとき、表示されるメッセージおよび処置は、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

プリンタの状態を確認する

FMPRnavi2 を使うと、プリンタの印刷中のジョブの状態や、プリンタ側で発生したエラーの状態を確認して、パソコンで見ることができるようになります。

FMPRnavi2 は、印刷が実行されるとプリンタの状態確認を開始します。プリンタでエラーが発生するとエラーの内容と対処方法を、印刷が完了するとその結果を、パソコンの画面にポップアップ表示します。

「FMPRnavi2」によるエラー情報をポップアップするための設定については、「「FMPRnavi2」タブ [注 2]」(→ P.107) をご覧ください。

■ FMPRnavi2 のステータス表示の種類

FMPRnavi2 のステータス表示の種類には、ポップアップ表示と最小化表示の 2 つがあります。どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

- ・ ポップアップ表示

画面上にウィンドウが表示されます。



- ・ 最小化表示

画面右下の通知領域にアイコンが表示されます。

通知領域に表示される各アイコンの意味は、次のとおりです。

アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタは次のいずれかの状態です。 印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	警告の状態を示します。
	プリンタとの通信に異常が起きた状態です。
	消耗品の交換時期が近づいた状態です。

印刷の終了を通知する

印刷終了時に、印刷が終了したことを知らせるメッセージを表示させる、させないを指定します。表示させたい場合は、「「FMPRnavi2」タブ [注 2]」(→ P.107) の「印刷完了を通知する」を ☒ に設定します。

■印刷終了のメッセージ例



POINT

- ・印刷終了通知は、印刷が正常に終了した場合のみ通知されます。エラーなどによって印刷が打ち切られた場合は通知されません。

印刷ジョブを操作する

■印刷ジョブの続行

印刷中にエラーが発生した場合に、パソコンから印刷ジョブを続行することができます。ただし、プリンタ側でまだエラー要因が解除されていない場合には、再び同じエラーが表示されます。

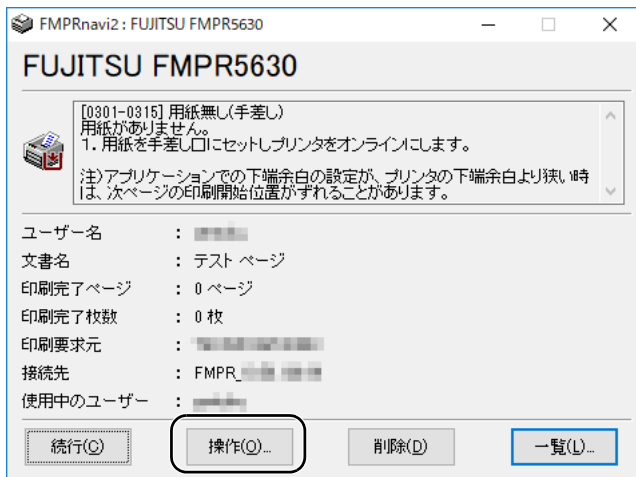
1 メッセージウィンドウの「続行」をクリックします。



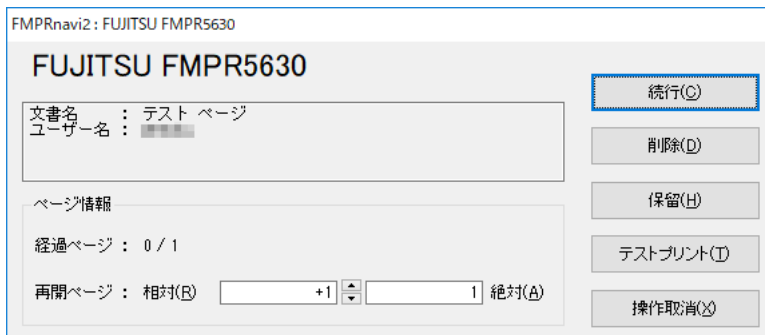
■印刷ジョブの操作

エラー発生時などに、印刷ジョブを操作してエラーを解除した場合に、印刷を再開するページ番号を指定したり、1枚だけ試し印刷（テストプリント）を行ったりすることができます。

1 メッセージウィンドウの「操作」をクリックします。



2 「操作」ウィンドウで、印刷ジョブの操作を行います。



・「ページ情報」

エラーを解除した後で、指定したページから印刷を再開したい場合に、再開するページを相対値または絶対値で指定します。どちらかを変更すると連動して、他方の表示も変わります。

・「続行」

再開ページ番号を指定した後で、印刷を続行する場合にクリックします。

・「削除」

印刷ジョブを削除する場合にクリックします。

・「保留」

印刷ジョブを保留（一時停止）する場合にクリックします。

・「テストプリント」

エラー再開時に、1ページだけ試し印刷（テストプリント）を行う場合にクリックします。テストプリント完了後は、印刷を一時停止します。テストプリント印字内容に問題がなければ、「続行」をクリックして印刷を続行します。

- ・「操作取消」

印刷ジョブの操作は行わずに、元のメッセージウィンドウに戻りたい場合にクリックします。

■印刷の中止


「FMPRnavi2」を使うと、印刷開始後にパソコンから印刷を中止できます。

「FMPRnavi2」タブ画面で、「メッセージウィンドウをポップアップ表示する」を ☒ に設定している場合は、印刷中に表示されるメッセージウィンドウから中止操作を行います。

1 メッセージウィンドウの「削除」をクリックします。





POINT

- ・「FMPRnavi2」タブ画面で、「メッセージウィンドウをポップアップ表示する」を ☐ に設定している場合は、画面右下の通知領域にある  (プリンタアイコン) をダブルクリックします。
メッセージウィンドウが表示されます。


FMPR TCP/IP Port を追加する

LAN 環境で FMPR Navi2 を使用するためには、パソコンに FMPR TCP/IP Port を追加する必要があります。

FMPR TCP/IP Port を追加する方法としては、次の 3 つの方法があります。

- ・方法 1：FMPR-LN4 の IP アドレス設定に続けて、FMPR TCP/IP Port を追加する場合
プリンタ LAN 設定ツールの「設定完了しました」という画面で、「続けて、TCP/IP ポートの追加を行います。」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- ・方法 2：プリンタ LAN 設定ツールを起動する場合
 - Windows 11 の場合
 1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。
 - Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合
 1.  → 「FMPR5X30 ユーティリティ」 → 「プリンタ LAN 設定ツール」の順にクリックします。

- Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

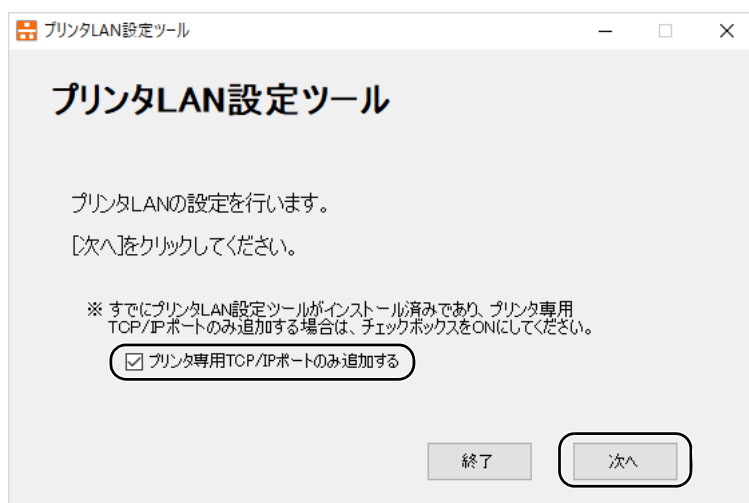
1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。

- Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

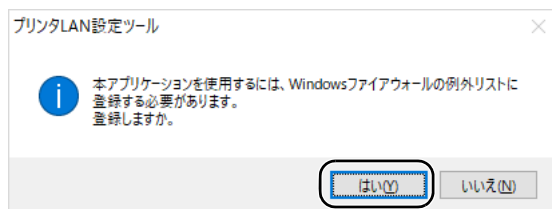
1. スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
 2. 「FMPR5X30 ユーティリティ」の「プリンタ LAN 設定ツール」をクリックします。
- ・ 方法 3 : 「プリンターのプロパティ」を表示し、ポートタブで「ポートの追加」をクリックし、利用可能なポートの種類として「FMPR TCP/IP Port」を選択して、「新しいポート」をクリックする場合

上記 3 つの方法のうち、いずれか 1 つを行うと、プリンタ LAN 設定ツールが起動します。
その後は、次のプリンタ LAN 設定ツールの手順に従って、FMPR TCP/IP Port を追加します。

1 「プリンタ専用 TCP/IP ポートのみ追加する」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。



2 「はい」をクリックします。



3 「プリンタ検索」をクリックします。

複数プリンタが検索された場合は、選択画面が表示されますので、プリンタ専用 TCP/IP ポートを作成する IP アドレスを選択します。

プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定 (1/2)

ポート設定

IPアドレス . . .

プリンタ検索

プロトコル Raw ▼

戻る 次へ

4 「次へ」をクリックします。

プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定 (1/2)

ポート設定

IPアドレス 192 . 168 . 0 . 2

プリンタ検索

プロトコル Raw ▼

戻る 次へ

5 設定内容を確認し、「実行」をクリックします。



プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定 (2/2)

設定内容確認

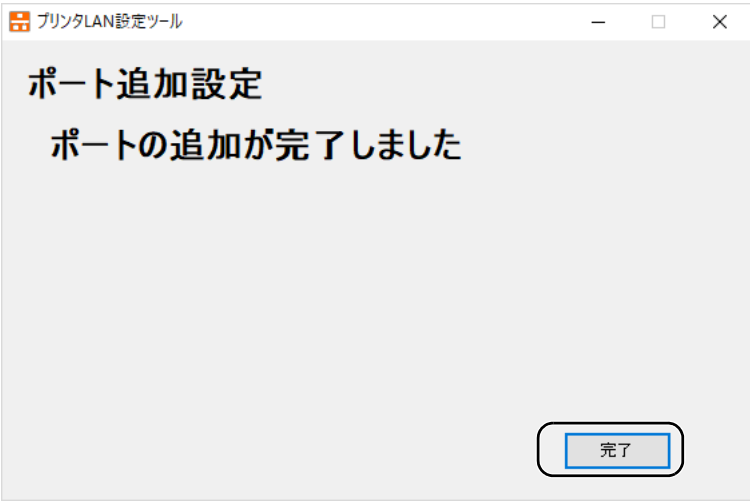
IPアドレス	192.168.0.2
ポート名	FMPR_192.168.0.2
プロトコル	Raw

戻る 実行

POINT

- ・ 設定内容に誤りがあった場合や IP アドレスを変更する場合は、「戻る」をクリックし、設定し直してください。

6 「完了」をクリックします。



プリンタLAN設定ツール

ポート追加設定

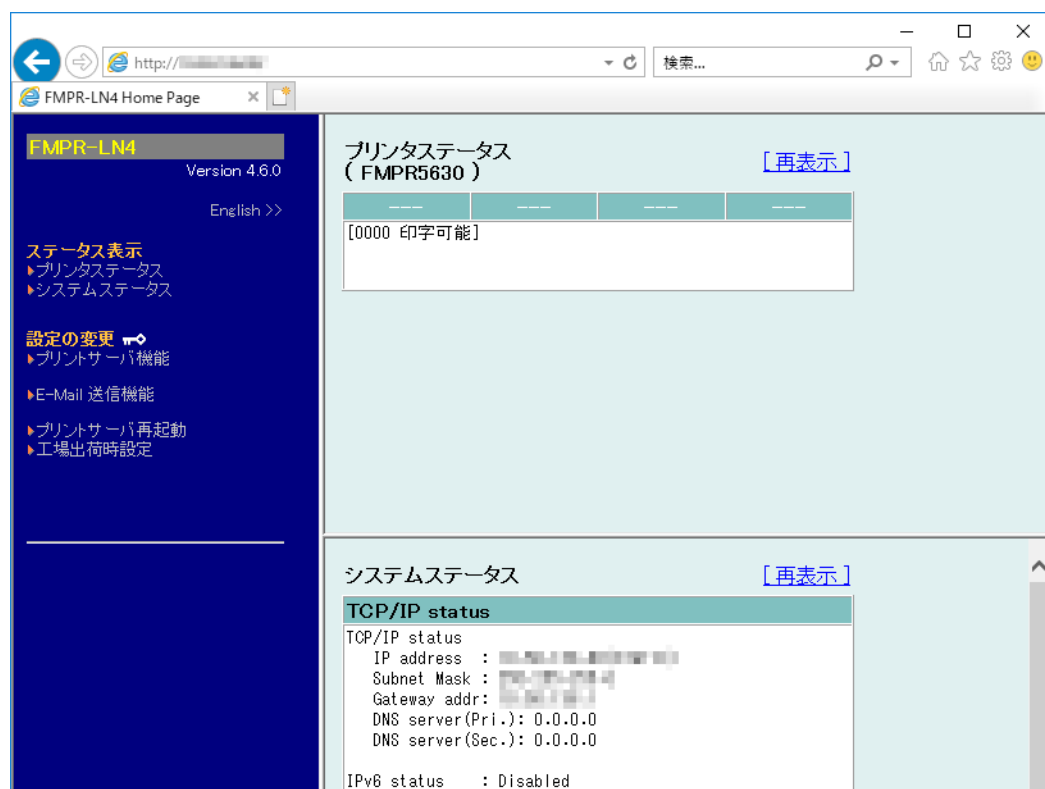
ポートの追加が完了しました

完了

2 Web ブラウザによる設定

Web ブラウザによる設定の機能

LAN カードは HTTP プロトコルを搭載していますので、Web ブラウザを利用して LAN カードの詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や E-Mail 機能の設定、プリントステータスモニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



重要

- Web ブラウザを利用する場合、LAN カードの TCP/IP プロトコル設定が有効であり、IP アドレスが設定されている必要があります。
- Web ブラウザは、Internet Explorer 6.0 以降のバージョンをお勧めします。また、ご利用になる Web ブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- LAN カードの機種によっては、Web ブラウザに表示される内容が異なります。
- Web ブラウザで設定を変更した場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。

LAN カードの Web ページを表示する

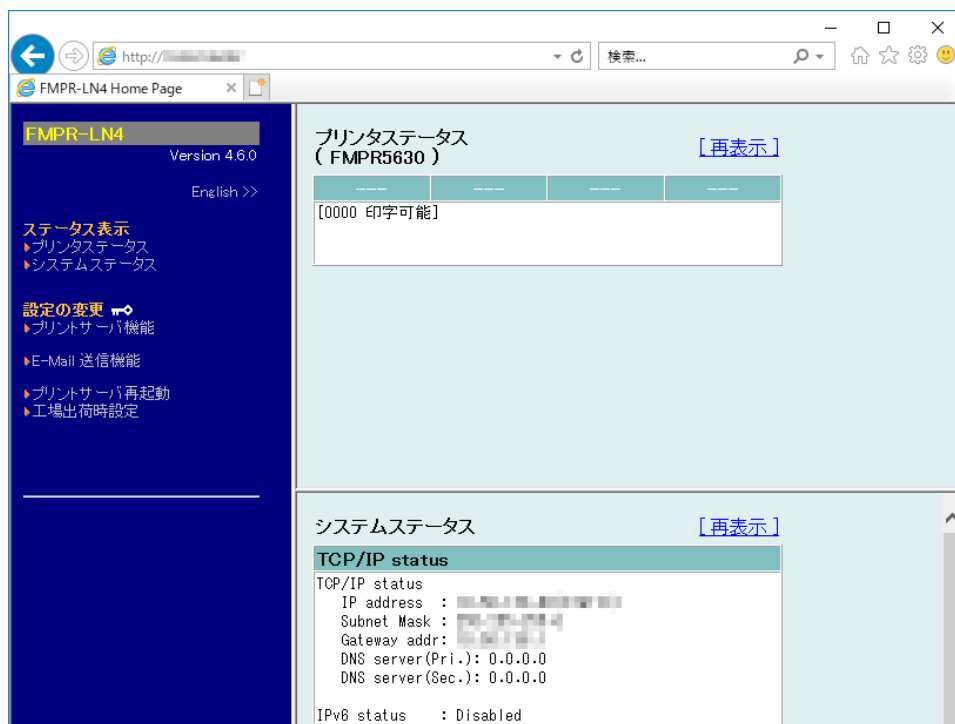
Web ブラウザから Web ページを表示する

1 LAN カードに設定された IP アドレスを Web ブラウザに入力します。

例 : `http://192.168.0.252`

IPv6 環境の IP アドレスを入力する場合は、IP アドレスを [] (括弧) で囲んでください。

例 : `http://[IPv6 環境アドレス]`



LAN カードの Web ページから設定する

Web ブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定 Web 画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。

The screenshot shows the LAN card web configuration page. The sidebar on the left contains navigation links: 'ステータス表示' (Status Display) with sub-links for printer and system status, and '設定の変更' (Change Settings) with sub-links for printer server function, E-Mail sending function, printer server restart, and factory reset. The main content area is titled 'PIL-LAN45 Home Page' and shows the 'TCP/IP設定' (TCP/IP Settings) section. This section includes a table with columns for '項目名' (Item Name), '設定値' (Setting Value), and '設定できる値' (Possible Setting Values). The table lists settings for DHCP, IP address, subnet mask, default gateway, IPv6, and timeout. Below this is the 'DNS設定' (DNS Settings) section, which includes a table for primary and secondary DNS servers. The 'IP Filter設定' (IP Filter Settings) section includes a table for configuring IP filters with columns for filter name, action, start/end IP, and filter type. At the bottom, there are buttons for '設定更新' (Update Settings) and '初期値に戻す' (Reset to Default Values).

項目名	設定値	設定できる値
DHCP	DISABLE	一覧より選択
IP アドレス	10.50.136.93	IPアドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	IPアドレス
デフォルトゲートウェイ	10.50.136.1	IPアドレス
IPv6機能	DISABLE	一覧より選択
タイムアウト	120	0 - 6000000の整数値

項目名	設定値	設定できる値
プライマリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス
セカンダリサーバ	0.0.0.0	IPアドレス

項目名	設定値	設定できる値
動作モード	DENY	一覧より選択
フィルタ #0 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #0 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #1 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #2 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 開始アドレス	0.0.0.0	IPアドレス
フィルタ #3 終了アドレス	0.0.0.0	IPアドレス

設定更新 初期値に戻す

・LAN カードの Web ページメニュー構成

項目		設定内容
ステータス表示	プリンタステータス	プリンタステータスを表示します。
	システムステータス	システムステータスを表示します。
設定の変更	プリントサーバ機能	LAN カードの各種設定をします。
	E-Mail 送信機能	E-Mail 送信機能の設定をします。
	プリントサーバ再起動	LAN カードを再起動します。
	工場出荷時設定	LAN カードの設定を初期値に戻します。

重要

- ・ 設定変更の項目へ移るときに、ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力してください。パスワードの初期値は空白です。
- ・ 設定更新により設定を更新した場合は、「設定の変更」の「プリントサーバ再起動」を行い、LAN カードの再起動を行ってください。

Web ブラウザ設定項目

プリントサーバ機能

■ General

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	初期値
root パスワード変更	LAN カードのパスワードの変更を行います。パスワードを ASCII 文字列（7 文字以内）で設定します。 このパスワードは Web で設定するときの認証パスワードとして使用します。	なし
LAN インターフェース	物理ネットワークの種別を設定します。 通常は AUTO で使用してください。LAN カードの電源を入れたときに、LAN カードが接続されている HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、この設定を接続 HUB のネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンタ名	プリンタ名を設定します。	なし

■ TCP/IP

IP アドレスなど、TCP/IP プロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
DHCP	DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。	ENABLE
IP アドレス	LAN カードの IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	LAN カードのサブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	LAN カードのデフォルトゲートウェイを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイは本製品と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。	0.0.0.0
IPv6 機能	IPv6 機能の動作を禁止 (DISABLE)、許可 (ENABLE) します。	DISABLE

項目	設定内容	初期値
タイムアウト	アイドルの状態の通信に対するタイムアウト値を秒単位で設定します。「0」を設定するとこの項目は無効になります。	120
DNS 設定		
プライマリサーバ	DNS サーバ（プライマリ）のアドレスを設定します。SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	DNS サーバ（セカンダリ）のアドレスを設定します。SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
IP Filter 設定		
動作モード	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があります。「allow」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受け取ります。「deny」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受け取りません。	DENY
フィルタ #0 開始アドレス フィルタ #1 開始アドレス フィルタ #2 開始アドレス フィルタ #3 開始アドレス	IP フィルタの開始アドレスを設定します。設定値は 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
フィルタ #0 終了アドレス フィルタ #1 終了アドレス フィルタ #2 終了アドレス フィルタ #3 終了アドレス	IP フィルタの終了アドレスを設定します。設定値は 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0

■ SNMP

ネットワーク経由で管理するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
認証コミュニティ名	SNMP の認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。半角で最大 15 文字です。	public
Trap コミュニティ名	SNMP のトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は LAN カードがトラップを発行するときに使用されます。半角で最大 15 文字です。	public
Trap 通知先アドレス	SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0

項目	設定内容	初期値
SysContact	SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysName	SysName を設定します。通常は LAN カードのホスト名またはドメイン名を設定します。半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字です。	なし
SysLocation	SysLocation を設定します。通常は本製品のある場所を設定します。半角で最大 255 文字、全角も可です。	なし
EnableAuthenTrap	EnableAuthenTrap の許可 (1)、禁止 (2) を設定します。この設定を許可 (1) にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生したとき、SNMP トラップが「Trap 通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。	2
詳細ステータス	プリンタからの詳細なステータスを Host Resource MIB に反映する (ON)、しない (OFF) を設定します。	OFF

重要

- ・コミュニティ名が空白または通知先で設定されているコミュニティ名と不一致の場合は、通知先はトラップを受信できませんのでご注意ください。
- ・セキュリティ対策のため、初期値 (public) を変更することをお勧めします。

E-Mail 送信機能

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態などを通知するための設定を行います。

項目	設定内容	初期値
基本設定		
SMTP プロトコルを使用する	SMTP プロトコルの許可 (ENABLE)、禁止 (DISABLE) を設定します。禁止 (DISABLE) にすると E-Mail 送信機能が停止します。	DISABLE
SMTP サーバ名	SMTP サーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。半角で最大 78 文字です。	なし
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
署名	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。半角で最大各 63 文字です。	----- FMPR-LN4 [CC:B3:F8:XX:XX:XX] ----- (製品名と Ethernet アドレス下 6 桁)
送信アドレス	送信アドレスの送信条件を設定します。	—
送信先アドレス (1 ～ 2)	送信先のメールアドレスを設定します。半角で最大 78 文字です。	なし
チェック間隔 (分)	イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に 1 つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン	プリンタがオフラインになったとき、メールを送信します。	OFF
紙切れ	プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
プリンタ異常	プリンタに異常が発生したときメールを送信します。	OFF

8

第 8 章こんなときには

この章では、プリンタドライバなどソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

1	ソフトウェアに関する留意事項	168
2	プリンタがうまく動かないとき	171
3	LAN カード使用時の問題について	186
4	用紙づまりと印字中の電源断について	194

1 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、プリンタを使用しているときに発生するソフトウェアの留意事項について、現象と対処方法を説明します。

なお、本章では、FMPR5630 を例に説明します。FMPR5430/FMPR5130 をお使いの場合には、お使いのプリンタに読み替えてください。

プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続したとき

プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを USB またはパラレルインターフェースケーブルで接続してしまい、「このデバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されたときは、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

Windows 10/Windows 8.1 では、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」などのメッセージは表示されません。「デバイスとプリンター」ウィンドウを表示して、プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認してください。

- 1** コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2** 「デバイスとプリンター」ウィンドウで、接続したプリンタが「未指定」に表示されていたときは、「プリンタドライバをインストールする」(→ P.21) をご覧になり、プリンタドライバをインストールします。

POINT

- ・ USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。



- ・ パラレルインターフェースで接続したときは、接続したプリンタの機種名（例：FUJITSU FMPR5630）が表示されます。



Windows をアップグレードするとき

現在お使いの Windows をアップグレードするときは、プリンタドライバ、および FMPR ユーティリティを削除してからアップグレードしてください。

アップグレードの終了後、再度プリンタドライバ、FMPR ユーティリティ、および FMPRnavi2 のセットアップを行ってください。

プリンタドライバ、FMPR ユーティリティ、および FMPRnavi2 がインストールされた状態で、Windows をアップグレードすると、アップグレード前のプリンタドライバ、FMPR ユーティリティ、および FMPRnavi2 が登録されたままとなり、正しい印刷が行えない、FMPR ユーティリティおよび FMPRnavi2 が提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。

2 プリンタがうまく動かないとき

ここでは、プリンタを使用しているときに発生する現象のうち、セットしている用紙とプリンタドライバの設定について説明します。

プリンタがうまく動かないとき

印刷中に次の現象が発生した場合は、セットしている用紙とプリンタドライバの設定が合っていない可能性があります。

保守員をコールされる前に、処置内容に従ってプリンタドライバが正しく設定されているかを確認してください。

現象と処置内容

■現象 1

- ・印刷指示で給紙口が切り替わってしまう
- ・印刷指示で用紙なしになってしまう
- ・印刷するたび、プリンタ側で給紙口を切り替えないと印刷できない
- ・印刷指示で用紙なしになり、「オンライン」スイッチを押すとカットシートフィーダまたは手差しから印刷する
- ・用紙の右側が印刷されない
- ・印字が左右に約 5mm ずれる

■処置内容 1

「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.172) でプリンタドライバの設定を確認してください。

■現象 2

- ・連続帳票で用紙カット後の印刷開始位置がずれる
- ・連続帳票で用紙カットを押してもミシン目がカット位置にこない
- ・連続帳票で印刷の開始位置がずれる
- ・ページ長がおかしい
- ・連続帳票用紙を複数枚印刷していくうちに印字位置がずれる

■処置内容 2

「用紙サイズを正しく設定する」(→ P.175) でプリンタドライバの設定を確認してください。

給紙口／用紙名を正しく設定する

用紙サイズが既知で、そのサイズがすでにプリンタドライバに登録されているときは、次の手順で設定してください。


プリンタドライバに未登録のときや用紙サイズがわからないときは、先に「用紙サイズを正しく設定する」（→P.175）を確認してください。

給紙方法と用紙名の設定

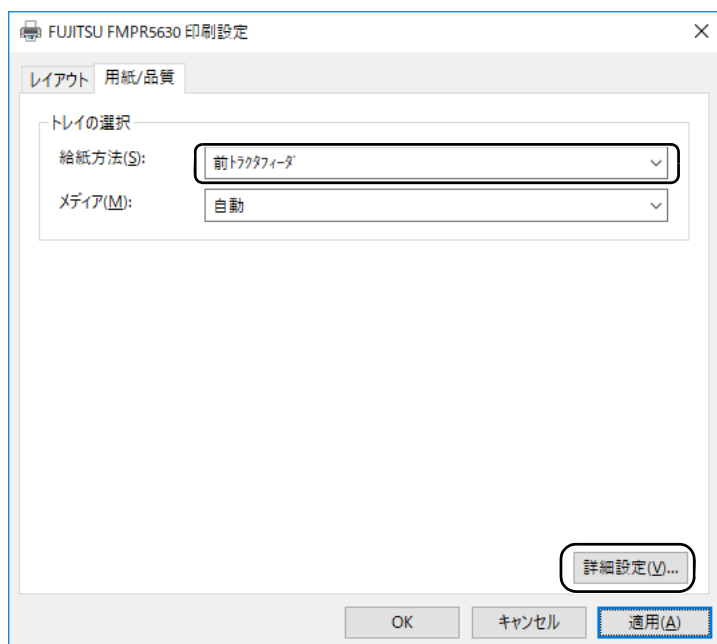
次の手順でプリンタドライバの給紙方法と用紙サイズ(用紙名)を正しく設定してください。

POINT

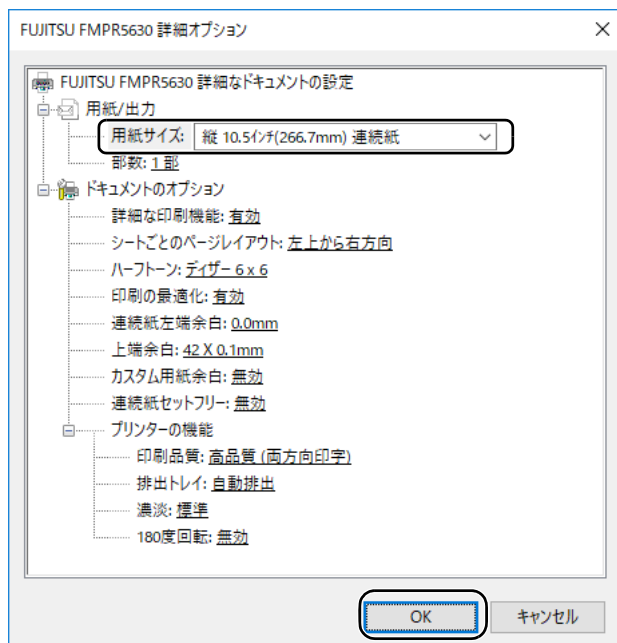
- ・ここでは、次の場合を例に説明します。
 - ・ OS : Windows 10
 - ・ 給紙方法 : 前トラクタ
 - ・ 用紙サイズ : 縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙

- 1**  → 「**Windows** システム ツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2** 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
- 3** **FMPR5630** プリンタのアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

- 4 「用紙 / 品質」タブをクリックし、「給紙方法」の「前トラクタフィーダ」を選択し、「詳細設定」をクリックします。



- 5 「用紙サイズ」の「縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙」を選択し、「OK」をクリックします。

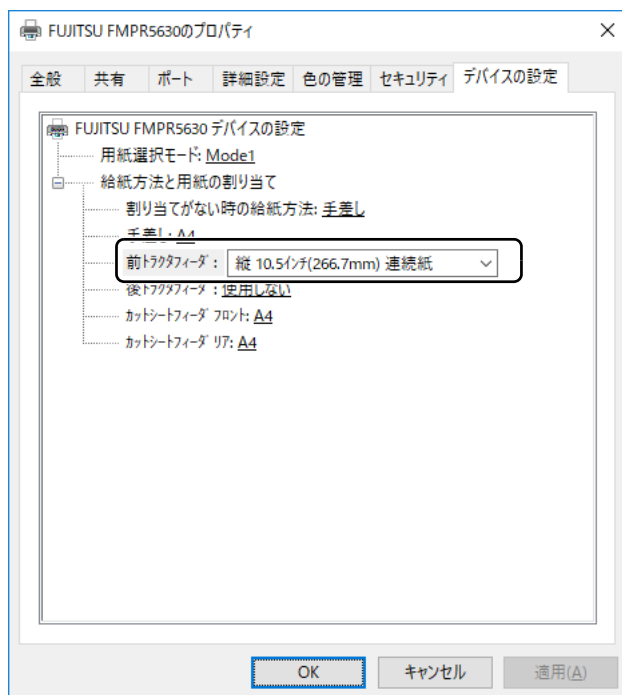


- 6 「OK」をクリックし、「印刷設定」ウィンドウに戻ります。

- 7 「OK」をクリックし、「印刷設定」ウィンドウを閉じます。

8 **FMPR5630** プリンタのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

9 「デバイスの設定」タブをクリックし、「給紙方法と用紙の割り当て」の「前トラクタフィーダ」の「縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙」を選択します。



10 「OK」をクリックし、「**FUJITSU FMPR5630** のプロパティ」ウィンドウを閉じます。

用紙サイズを正しく設定する

ここでは、印刷に使用する連続帳票用紙の用紙サイズ確認手順と、プリンタドライバへの設定手順を説明します。

用紙サイズの確認

プリンタドライバに未登録のときや用紙サイズがわからないときは、次の手順で確認してください。

POINT

- ・ 連続帳票用紙の用紙サイズは、特例を除きセンチメートルまたはインチ(1インチ=2.54cm)で設定します。
- ・ 印刷に使用する用紙の設定相違や用紙長に誤差があると、印刷位置がずれますので注意してください。

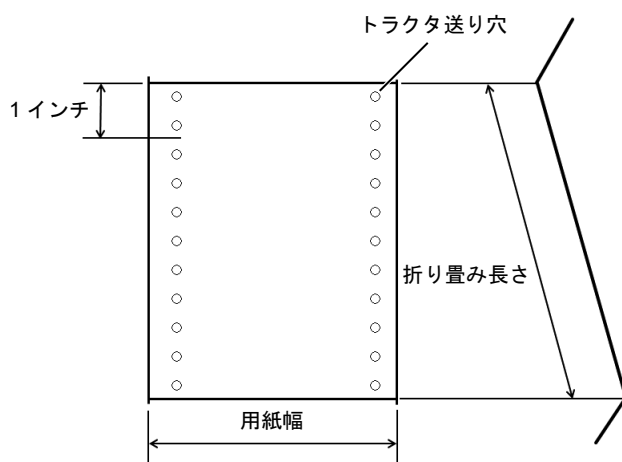
1 用紙長さ（高さ）を確認します。

■ 折り畳み長さと1ページの長さが同じとき

折り畳み長さに入る用紙の送り穴数を数えます。

送り穴数を2で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ（インチ）＝用紙送り穴数÷2



POINT

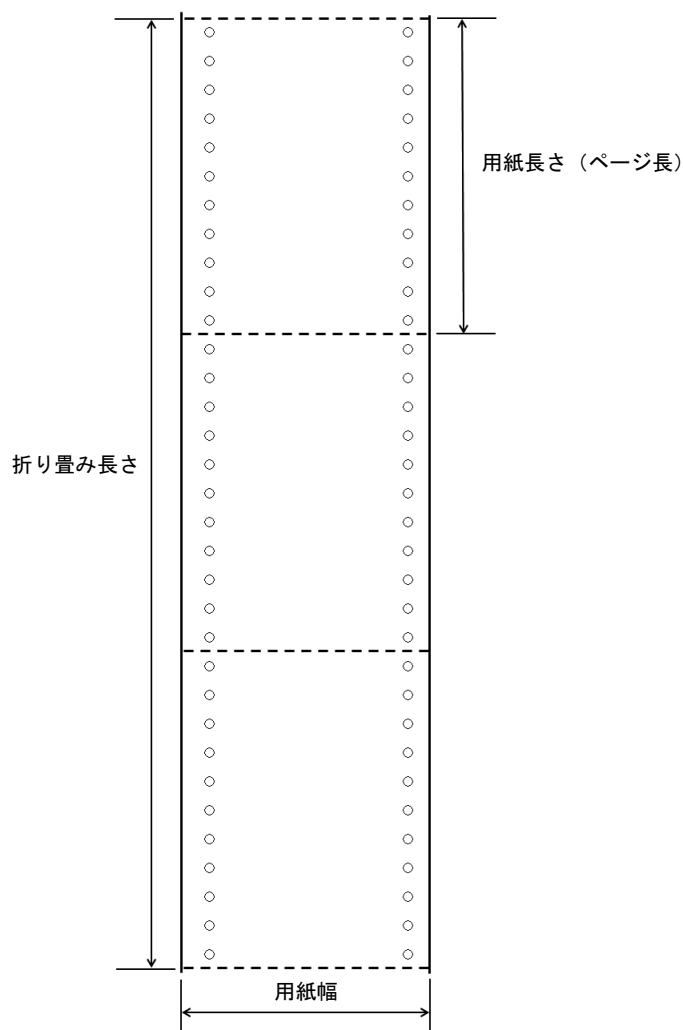
- ・ 上図の場合、用紙長さ（高さ）は5.5インチ（11穴÷2）となります。
メートル法では、13.97cm（5.5インチ×2.54）となります。

■ 折り畳み長さの中に複数ページあるとき

折り畳み長さ内のページ数を数えます。

折り畳み長さをページ数で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数



POINT

- ・ 通常、連続帳票用紙は 1 ページごとに横ミシン目が入れてあり、ミシン目で分割されるページ数を確認します。

- ・ 上図の用紙長さ（高さ）の求め方は、次のとおりです。

メートル法では、小数点以下第 3 位を切り上げてください。

用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数

＝ 11 インチ ÷ 3 ページ

＝ 11/3

＝ 3+2/3 インチ

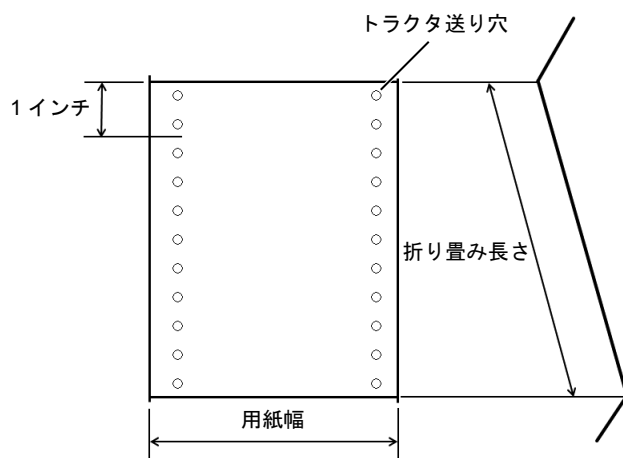
＝ (3+2/3) × 2.54

＝ 9.3133・・・cm

＝ 9.32cm

2 用紙幅を確認します。

用紙幅を測定します。ヤードポンド法で設定するときは、インチに換算します。



POINT

- ・用紙幅の求め方は、次のとおりです。
用紙幅（インチ）＝用紙幅測定値（cm）÷2.54
上図の場合、用紙幅測定値を 20cm とすると、用紙幅は 7.87 インチとなります。

3 次の手順で、FUJITSU FMPR5630 プリンタドライバの用紙サイズ設定を確認します。

1. 標準で登録されている用紙で利用できるものがないか確認します。

FUJITSU FMPR5630 プリンタドライバでは、下表の用紙を基本サイズとして用意しています。また、11 インチの用紙長を幅 × 長さで表した、「10×11inch 連続紙」、「12×11inch 連続紙」、「15×11inch 連続紙」の 3 種類を用意しています。

- ・測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表

測定した 用紙長	プリンタドライバの 基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		単位： メートル法	単位： ヤードポンド法
1 インチ	縦 1 インチ（25.4mm）連続紙	2.54cm	1.00in
2 インチ	縦 2 インチ（50.8mm）連続紙	5.08cm	2.00in
2+1/6 インチ	—	5.51cm	2.17in
2+1/3 インチ	—	5.93cm	—
2.5 インチ	—	6.35cm	2.50in
2+2/3 インチ	—	6.78cm	2.67in
3 インチ	縦 3 インチ（76.2mm）連続紙	7.62cm	3.00in
3+1/6 インチ	—	8.05cm	3.17in
3+1/3 インチ	縦 3 1/3 インチ（84.7mm）連続紙	8.47cm	—
3.5 インチ	—	8.89cm	3.50in
3+2/3 インチ	縦 3 2/3 インチ（93.1mm）連続紙	9.32cm	3.67in

測定した 用紙長	プリンタドライバの 基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		単位： メートル法	単位： ヤードポンド法
4 インチ	縦 4 インチ (101.6mm) 連続紙	10.16cm	4.00in
4+1/6 インチ	—	10.59cm	4.17in
4+1/3 インチ	縦 4 1/3 インチ (110.1mm) 連続紙	11.01cm	—
4.5 インチ	縦 4.5 インチ (114.3mm) 連続紙	11.43cm	4.50in
4+2/3 インチ	縦 4 2/3 インチ (118.5mm) 連続紙	11.86cm	4.67in
5 インチ	縦 5 インチ (127.0mm) 連続紙	12.70cm	5.00in
5+1/6 インチ	—	13.13cm	5.17in
5+1/3 インチ	縦 5 1/3 インチ (135.5mm) 連続紙	13.55cm	—
5.5 インチ	—	13.97cm	5.50in
5+2/3 インチ	縦 5 2/3 インチ (143.9mm) 連続紙	14.40cm	5.67in
6 インチ	縦 6 インチ (152.4mm) 連続紙	15.24cm	6.00in
7 インチ	縦 7 インチ (177.8mm) 連続紙	17.78cm	7.00in
8 インチ	縦 8 インチ (203.2mm) 連続紙	20.32cm	8.00in
9 インチ	縦 9 インチ (228.6mm) 連続紙	22.86cm	9.00in
10 インチ	縦 10 インチ (254.0mm) 連続紙	25.40cm	10.00in
10.5 インチ	縦 10.5 インチ (266.7mm) 連続紙	26.67cm	10.50in
11 インチ	縦 11 インチ (279.4mm) 連続紙	27.94cm	11.00in
12 インチ	縦 12 インチ (304.8mm) 連続紙	30.48cm	12.00in
13 インチ	縦 13 インチ (330.2mm) 連続紙	33.02cm	13.00in
14 インチ	縦 14 インチ (355.6mm) 連続紙	35.56cm	14.00in

2. 適切な用紙名がなかった場合は、新しい用紙（任意の用紙サイズ）を作成し、幅と長さ（高さ）をセンチメートル単位またはインチ単位で設定、登録します。

ただし、前表の中でヤードポンド法の欄が「—」となっている用紙長は必ずセンチメートル単位で登録してください。

新しい用紙の作成方法は、「新しい用紙（任意の用紙サイズ）の設定方法」（→ P.179）または「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（→ P.119）をご覧ください。

POINT

- ・用紙長の設定に誤差があったり、メートル法、ヤードポンド法の選択が誤っていたりすると、複数ページ印刷する間に誤差が累積し印刷位置が上下方向に徐々にずれていきますので注意が必要です。
- ・データの作成が正確である場合、実際の印刷領域より狭くならない用紙幅を設定したり、用紙長のみで表現される用紙を選択したりしてもかまいません。その場合、実際の用紙幅を超えた文書の印刷指示があると、はみ出した領域の印刷は行われません（用紙外印字防止機能が有効のとき）。
- ・登録済みの用紙サイズであっても、運用時にわかりやすくするために同サイズで別名（お使いの伝票名など）の用紙として追加登録してください。

プリンタドライバの基本サイズの設定方法

「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.172) の手順で設定してください。
プリンタドライバの基本サイズにない用紙長(前表のプリンタドライバの基本サイズで「ー」表示の用紙)のときは、「新しい用紙(任意の用紙サイズ)の設定方法」(→ P.179) または「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」(→ P.119) をご覧ください。

新しい用紙 (任意の用紙サイズ) の設定方法

新しい用紙の作成とプリンタドライバへの設定は、次の手順で行います。

- 1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。
詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8) をご覧ください。
- 2 「FUJITSU FMPR5630」アイコンを選択し、「プリントサーバープロパティ」をクリックします。
- 3 「新しい用紙を作成する」にチェックを付けます。
「用紙名」や説明のグレーアウトが解除され、用紙名が入力できる状態になります。
ここでは、「20cm×9.32cm」という名前の用紙を作成します。
- 4 「用紙の説明(単位)」で「メートル法」を選択し、「幅」および「高さ」を入力します。

プリントサーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(E): 10x11 inch 連続紙
10x11
10x14
10x11inch連続紙(136桁)

用紙名(N): 20cm x 9.32cm

☒ 新しい用紙を作成する(Q)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存]をクリックしてください。

用紙の説明(単位)

単位: ☒ メートル法(M) ☐ ヤードポンド法(E)

用紙サイズ:


幅(W): 20cm 高さ(H): 9.32cm

上(U): 0.00cm 下(D): 0.00cm

用紙設定の変更(G)

OK キャンセル 適用(A)

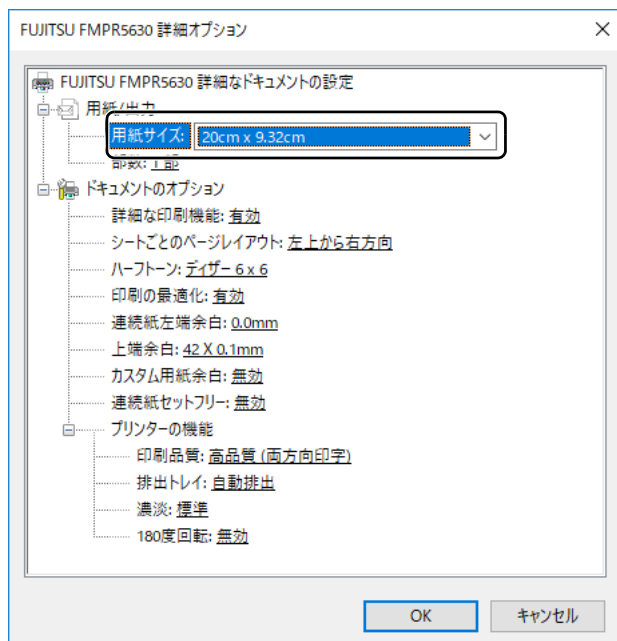
POINT

- ・「高さ」は用紙長となります。「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」(→ P.177)の「新しい用紙サイズ 単位: ヤードポンド法」の欄が「-」の長さは、メートル法で入力してください。
- ・「高さ」には、小数点以下第3位を切り上げ、「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」(→ P.177)に示す、小数点以下第2位の値で入力します。
- ・「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。アプリケーションの「ページ設定」で余白を編集してください。
- ・作成可能な用紙幅、高さについては、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」-「用紙について」をご覧ください。

5 「用紙の保存」をクリックします。

作成した用紙を保存したら、「OK」をクリックして「プリントサーバーのプロパティ」を閉じます。

6 新しく作成した用紙をFUJITSU FMPR5630プリンタドライバに設定します。



FUJITSU FMPR5630プリンタドライバへの設定方法は、「給紙口／用紙名を正しく設定する」(→ P.172)をご覧ください。

POINT

- ・新しく作成した用紙が設定可能範囲外の場合は、「用紙サイズ」に表示されません。再度、「プリントサーバーのプロパティ」を表示して、作成した用紙の幅または高さを変更するか、新しく用紙を作成してください。

印字位置が行方向にずれているとき

プリンタの設定

Windows のプリンタドライバ経由で印刷する場合、ほとんどの設定はアプリケーションでの設定になります。アプリケーションで余白調整ができない場合の設定は、次の項目です。

■ 印字開始位置の調整について

印字の開始位置（上下方向）がずれている場合、アプリケーションでの余白調整で調整できます。

	正しい印字	調整がずれているときの印字																
プリンタの印字	<table><tr><th>伝票番号</th><th>お買上年月日</th></tr><tr><td>123456</td><td>13. 01. 01</td></tr><tr><th>お客様番号</th><th>追番</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	伝票番号	お買上年月日	123456	13. 01. 01	お客様番号	追番			<table><tr><th>伝票番号</th><th>お買上年月日</th></tr><tr><td>123456</td><td>13. 01. 01</td></tr><tr><th>お客様番号</th><th>追番</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	伝票番号	お買上年月日	123456	13. 01. 01	お客様番号	追番		
伝票番号		お買上年月日																
123456		13. 01. 01																
お客様番号		追番																
伝票番号	お買上年月日																	
123456	13. 01. 01																	
お客様番号	追番																	
プレプリント																		

アプリケーションでの調整ができない場合、次の調整方法があります。

・ プリンタで調整する場合

『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」をご覧ください。
なり、用紙の吸入量を変更してください。

初期値は 8.5mm です。

印字を下にしたい場合は、用紙の吸入量を大きくしてください。

印字を上にした場合は、用紙の吸入量を小さくしてください。

重要

- ・ 設定した給紙口から吸入するすべての用紙の余白が変更されます。

プリンタドライバの設定

■ 印字開始位置の調整について

印字開始位置の調整をアプリケーションでの調整ができなく、プリンタでの設定もできない場合、用紙にあらかじめ上端余白を設定し、印刷データをずらす方法があります。

・ サーバーのプロパティで用紙を定義する

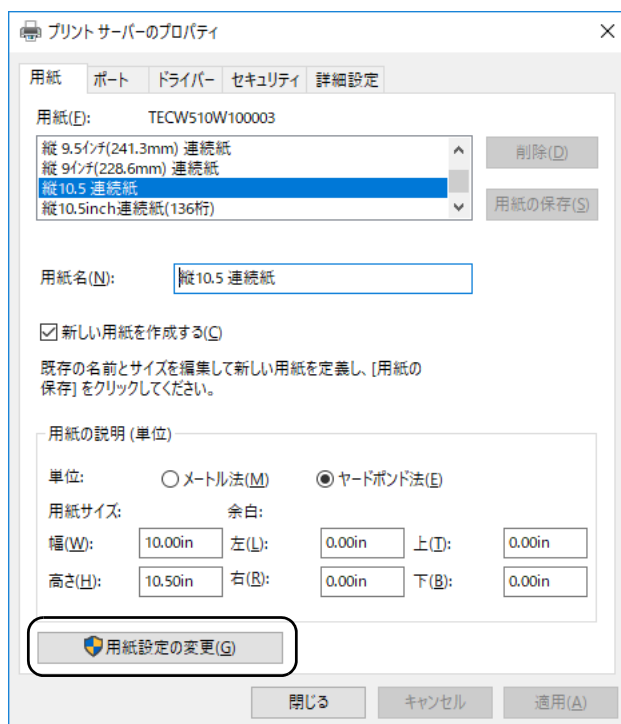
次の手順で新しい用紙を作成して登録してください。

1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」（→ P.8）をご覧ください。

2 プリンタアイコンをクリックし、「プリントサーバープロパティ」をクリックします。

- 3 「用紙設定の変更」ボタンが表示されている場合は、「用紙設定の変更」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4 「新しい用紙を作成する」にチェックを付け、「用紙名」のグレーアウトが解除されるので、任意の用紙名（例：縦 **10.5** 連続紙）を入力します。

5 「用紙の説明 (単位)」の「メートル法」または「ヤードポンド法」にチェックを付け、「用紙サイズ」の「幅」と「高さ」を入力します。

「高さ」には、用紙長を設定します。

単票用紙は、「メートル法」にチェックを付け、cm 単位で設定します。

連続帳票用紙は、「ヤードポンド法」にチェックを付け、インチ (1 インチ = 25.4mm) 単位で設定します。

プリントサーバーのプロパティ

用紙 ポート ドライバー セキュリティ 詳細設定

用紙(E): TECW510W100003

縦 9.5インチ(241.3mm) 連続紙
縦 9インチ(228.6mm) 連続紙
縦 10.5 連続紙
縦 10.5inch 連続紙(136桁)

削除(D) 用紙の保存(S)

用紙名(N): 縦10.5 連続紙

☒ 新しい用紙を作成する(C)

既存の名前とサイズを編集して新しい用紙を定義し、[用紙の保存]をクリックしてください。

用紙の説明 (単位)

単位: ☐ メートル法(M) ☒ ヤードポンド法(I)

用紙サイズ:

幅(W): 10.00in 高さ(H): 10.50in

余白:

左(L): 0.00in 右(R): 0.00in 上(T): 0.00in 下(B): 0.00in

閉じる キャンセル 適用(A)

6 「余白」の「上」に余白を入力します。

余白は大きくすることしかできません。小さくする場合は、「印字位置の調整」で小さい値を設定し、この設定で足しこむ値を設定します。

■ 例 1 : プリンタの上端余白のデフォルトは 8.5mm です。

8.5mm より小さくしたい場合 (例 4mm) は、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」でプリンタの余白量を 4mm にします。

■ 例 2 : 「印字位置の調整」では、すべての用紙が同じ量だけずれます。

違った吸入位置の用紙を複数使用する場合は次のようにします。

・ A の帳票は 6mm から印字、B の帳票は、4mm から印字したい場合

『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」－「用紙の吸入量を調整する」でプリンタの余白量を 4mm にして、この設定で A の帳票の余白量を 2mm に設定してください。

結果、A の帳票は、プリンタで 4mm、余白で 2mm、計 6mm 印字位置がずれます。

B の帳票は、プリンタでの 4mm 印字位置がずれます。

重要

- ・「余白」の「左」および「右」を設定しても、正しく動作しない場合があります。
このときは、用紙のセット位置で調整してください。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」－「用紙をセットする」をご覧ください。

7 「用紙の保存」をクリックし新しい用紙を登録して、ウィンドウを閉じます。

・プリンタのプロパティで用紙を定義する

次に登録した新しい用紙を、ドライバの用紙サイズに設定します。

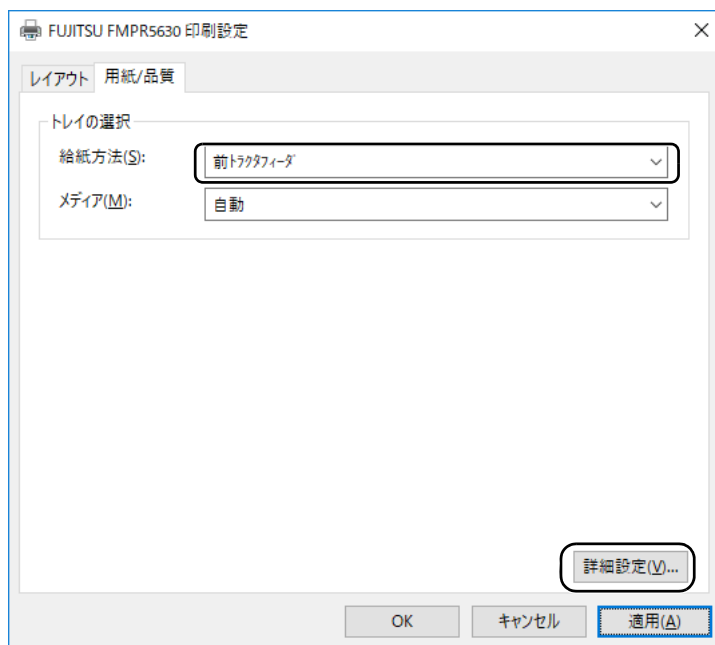
1 コントロールパネルでプリンタアイコンを表示します。

詳しくは、「コントロールパネルでプリンタアイコンを表示する方法」(→ P.8)をご覧ください。

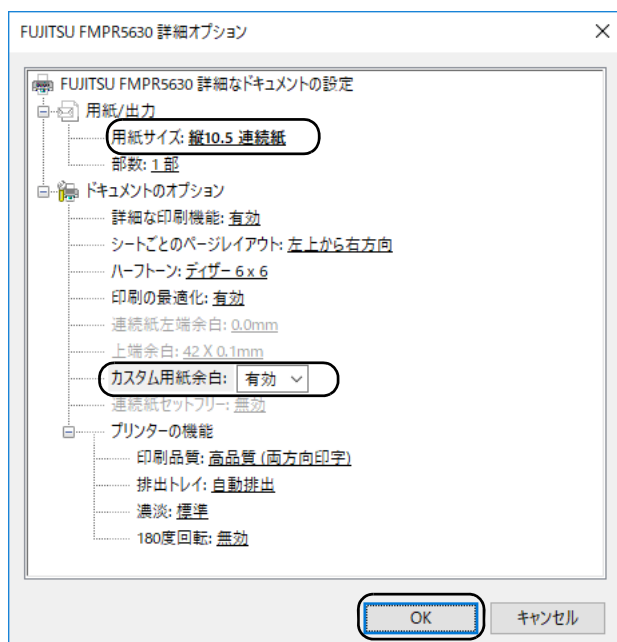
2 プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

3 「基本設定」をクリックし、「用紙／品質」タブをクリックします。

4 「給紙方法」の「前トラクタフィーダ」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

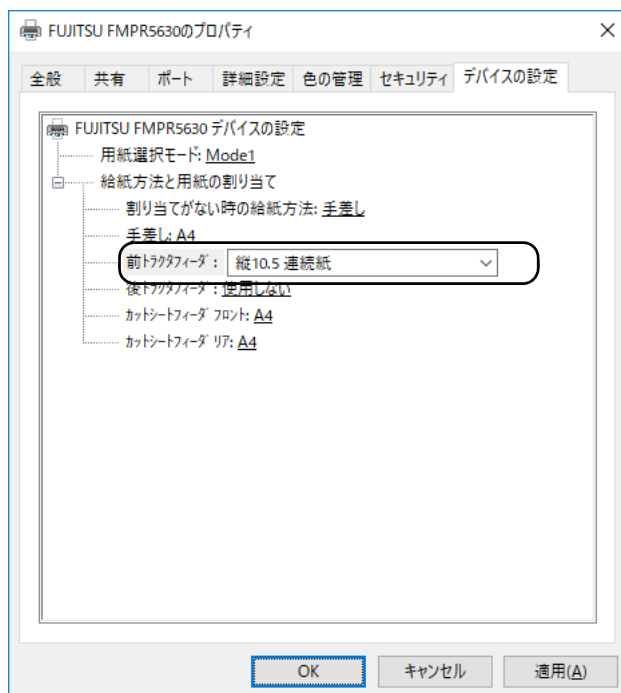


- 5 「用紙サイズ」の「縦 10.5 連続紙」を選択し、「カスタム用紙余白」を「有効」に選択し、「OK」をクリックします。



- 6 「デバイスの設定」タブをクリックします。

- 7 「給紙方法と用紙の割り当て」で「前トラクタフィーダ」の「縦 10.5 連続紙」を選択します。



3 LAN カード使用時の問題について

ここでは、LAN カードの使用時に想定される問題と、その解決法を説明します。

- ・ 確認：問題が起きたときに、はじめに確認してください。
- ・ 対策：問題解決のための具体的な手段です。

LAN カード導入時の問題

■「CD-ROM を挿入しましたが、メインメニューが起動しません」

- ・ 対策 1: Windows の場合、お使いのパソコンによっては、CD-ROM をセットしてもメニュー画面が自動的に起動しないことがあります。その場合は、ルートディレクトリ（お使いの CD-ROM が D ドライブなら、「D:¥」）にある「FMPRSTART.EXE」を直接実行してください。

■「設定ツール（IP アドレス設定）で検索を行ったが、LAN カードが一覧に表示されません」 または 「ネットワーク上で認識されません」

- ・ 確認 1：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
 - プリンタの設定一覧（設定内容の印刷）を行い、設定値の確認を行ってください。「LAN 接続＝有効」が印字されない場合、LAN カードがプリンタへ正しく取り付けされていない可能性があります。
設定内容の印刷方法については、「LAN カードの設定内容の印刷について」（→ P.192）をご覧ください。
- ・ 確認 2：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - 稼動している LAN カードと接続イーサネットハブ（HUB）の LINK LED が点灯していますか？
点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していないか確認してください。
- ・ 確認 3: パソコンでファイアウォール機能により検索が遮断されている可能性があります。
 - コントロールパネルの「Windows ファイアウォール」で、設定ツール（IP アドレス設定）を例外登録にしてください。
 - 常駐ソフトのファイアウォール（プロテクト）機能を一時的に無効にしてください。
- ・ 確認 4：ルータを越えての接続の場合、LAN カード検索はできません。
 - 同一 LAN 上から検索を行ってください。

■接続しているプリンタと設定画面（Web ブラウザ）に表示されているプリンタが違っている。

- ・ 対策 1：LAN カードの初期化を行い、工場出荷設定に戻した後、もう一度検索を行ってください。
工場出荷時設定に戻す方法については、「Web ブラウザによる設定」（→ P.160）をご覧ください。
- ・ 対策 2：他のネットワークに移設した場合は、移設前の環境に接続して、LAN カードを初期化してください。移設前の環境に戻れない場合は、「LAN カードの初期化」（→ P.190）を行ってください。

■ IP アドレスを設定すると通信エラーになります。

- ・ 確認 1 : LAN カードの LINK/STATUS LED が正常に点灯しているか確認してください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。
- ・ 確認 2 : 設定ツールを起動しているパソコン側の IP アドレスが確定しているか確認してください。

ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができていないか確認するために、コマンドプロンプトより Ping コマンドを実行してください。

Ping コマンドの使用方法については、「LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題」(→ P.189) の確認 1 をご覧ください。
- ・ 確認 3 : LAN カードが初期化されているか確認してください。

LAN カードを工場出荷設定に戻す方法については、「Web ブラウザによる設定」(→ P.160) をご覧ください。
- ・ 確認 4 : LAN カードに不正な IP アドレスを設定している可能性があります。
 - ルータやサーバが不正な IP アドレスを設定していないか確認してください。
 - 不正な IP アドレスが設定された LAN カードを工場出荷設定に戻す方法については、「Web ブラウザによる設定」(→ P.160) をご覧ください。
- ・ 確認 5 : LAN カードと設定を行っているパソコンが同一セグメント内にある可能性があります。

LAN カードと設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。
- ・ 確認 6 : LAN カードが取り付けられたプリンタを他のネットワークへ移設していませんか？

ネットワーク上に DHCP が存在している環境から、「工場出荷設定に戻す」作業を行わない状態で、ネットワーク上に DHCP が存在しない環境へ移設した可能性があります。

 - 移設前の環境へ接続し、Web ブラウザから「工場出荷設定に戻す」作業を行ってください。詳しくは、「Web ブラウザによる設定」(→ P.160) をご覧ください。

重要

- ・ LAN カードが取り付けられたプリンタを他のネットワークに接続する場合は、事前に「工場出荷設定に戻す」作業を必ず行ってください。
- 移設前の環境に戻れない場合は、「LAN カードの初期化」(→ P.190) を行ってください。
- ・ 確認 7 : ご使用のパソコンで無線 LAN が優先されています。次の方法で有線 LAN を優先に設定してください。

1 コントロールパネルを起動します。

詳しくは、「コントロールパネルを起動する方法」(→ P.7) をご覧ください。

2 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順にクリックします。

3 有線 LAN のネットワークアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」または「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

5 「詳細設定」をクリックします。

6 「自動メトリック」のチェックを外し、「インターフェイスメトリック」に数値を入力します。

メトリック値は、数値の大小だけを見ているので、有線 LAN の方に小さい値を（最小は 1）設定してください。

7 無線LANのネットワークアイコンについても、手順1～6の設定を行います。

メトリック値は、有線 LAN で設定した値よりも大きい値を設定してください。

例：有線 LAN のメトリック値：1

無線 LAN のメトリック値：2

LAN カード経由での印刷時の問題

■ 「印刷が行えません」

- ・ 確認 1：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - プリンタの電源は入っていますか？
- ・ 確認 2：次の内容を確認し、再度設置作業を行ってください。
 - 稼動している LAN カードと接続イーサネットハブ（HUB）の LINK LED が点灯していますか？
 - ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
 - ネットワークケーブルは断線していませんか？
 - イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していませんか？

■ 「バナーページが正常に印刷されません」

- ・ 対策：前回印刷を行ったときの設定が残ったままになっていることが考えられます。BOJ 文字列または EOJ 文字列の設定でリセットコマンドを定義してください。

例：¥x1B@

■ 「印刷を中止したい」

- ・ 対策：次の手順で印刷中止を行ってください。
 - FMPRnavi2 を使用して印刷しているとき
FMPRnavi2 のステータス表示画面で、「削除」をクリックします。
 - FMPRnavi2 を使用せずに印刷しているとき
 1. プリンタフォルダーより印刷に使用したプリンタを表示します。
 2. スプーラにある印刷中のドキュメントを削除します。
 3. プリンタのリセットスイッチを押します。

■ 「印刷したいプリンタが動作せず、他のプリンタに印刷されてしまう」

- ・ 確認：次の内容を確認してください。
 - 印刷したいプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
 - IP アドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

■ 「印刷が途中で停止してしまう」


- ・ 確認 1: 印刷中のプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
- ・ 確認 2: 多数の印刷データを送っていませんか？
多数の印刷データを送ると、印刷が一時停止することがあります。一定時間経過すれば印刷が再開されますのでお待ちいただきますようお願いします。

LAN カードの Windows TCP/IP 環境での問題

■ 「印刷が行えません」

- ・ 確認 1: TCP/IP プロトコルを使用している場合、Ping コマンドを使って、LAN カードに割り当てた IP アドレスから、応答があるか確認してください。Ping コマンドによる応答がない場合、IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。LAN カードの初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度 IP アドレスの設定を行ってください。

例: Windows 11 のコマンドプロンプトで Ping を実行する場合

 → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コマンドプロンプト」をダブルクリックします。コマンドプロンプトが起動するので、「Ping XXX.XXX.XXX.XXX」を実行すると次の内容が表示されます。「XXX.XXX.XXX.XXX」は LAN カードの IP アドレスです。

- Ping に応答がある場合

xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=63

xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=63

xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=63

xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=63

- Ping に応答がない場合

要求がタイムアウトしました。

要求がタイムアウトしました。

要求がタイムアウトしました。

要求がタイムアウトしました。

LAN カードを工場出荷時設定に戻す方法については、「Web ブラウザによる設定」(→ P.160)をご覧ください。

- ・ 確認 2: 使用しているプリンタドライバの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンターのプロパティ」の「ポート」タブで「印刷するポート」を確認してください。LAN カードのポート名は、任意のポート名の後に「FMPR TCP/IP Port」と記されています。

例: 印刷先ポート = FMPR_XXX.XXX.XXX.XXX <FMPR TCP/IP Port>

「XXX.XXX.XXX.XXX」は IP アドレスです。

- ・ 対策 1: お使いのパソコンと LAN カードが同一セグメント内にない場合、LAN カードにサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する必要があります。LAN カードの Web ページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。
- ・ 対策 2: ネットワークに DHCP サーバが存在していると、IP アドレスの自動割り当てを行うため、LAN カードに設定した IP アドレスが、各サーバにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバに LAN カードの IP アドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の「DHCP を使用する」のチェックを外して、再度 IP アドレスの設定を行ってください。

■「印刷中にエラーが発生します」

- ・ 確認：他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのリデータを印刷中に印刷を行ったりした場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。そのときは、再度印刷を行ってください。

■「印刷を行うとダイヤルアップが起動します」

- ・ 確認：ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプタから LAN アダプタへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象は Windows の仕様によります。

LAN カードの初期化

Web ブラウザによる初期化と LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化の 2 つがあります。

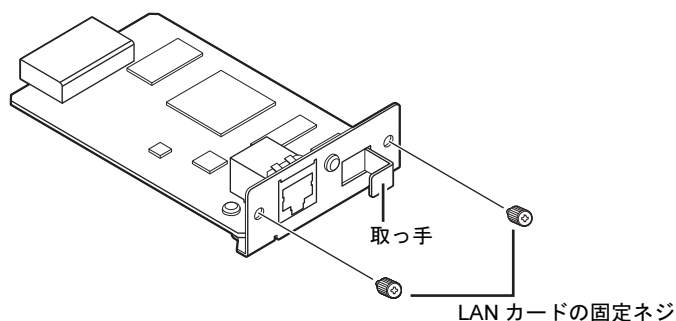
Web ブラウザによる初期化

Web ブラウザから LAN カードの初期化が行えます。「工場出荷設定に戻す」作業を行ってください。詳しくは、「Web ブラウザによる設定」(→ P.160) をご覧ください。

LAN カードの DIP スイッチ操作による初期化

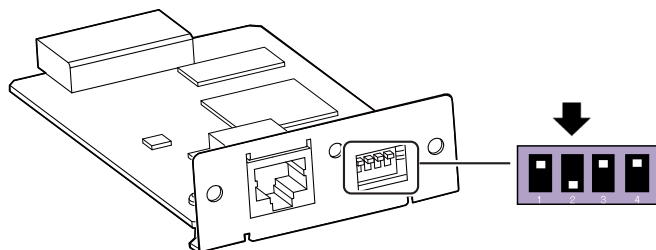
LAN カードの DIP スイッチを操作して初期化する手順を説明します。

- 1 プリンタ本体の電源を切ります。
- 2 プリンタ本体から LAN カードを取り外します。
 1. LAN ケーブルを外し、LAN カードの固定ネジ 2 本を外します。
 2. 取っ手を持ち、LAN カードを取り外します。



- 3 取っ手の固定ネジを外します。

- 4** 左から 2 番目の **DIP** スイッチを下側 (**ON**) にします。

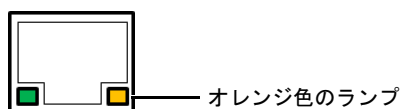


- 5** 取っ手を固定ネジで固定します。
LAN カードをプリンタ本体から引き抜くときに取っ手が必要です。

- 6** **LAN** カードをプリンタ本体に取り付けます。
LAN ケーブルは接続しないでください。

- 7** プリンタ本体の電源を入れます。

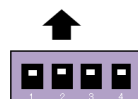
- 8** オレンジ色のランプが点滅 (1 ~ 2 回) しますのでランプが消えたら (約 5 秒後)、プリンタ本体の電源を切ります。



- 9** プリンタ本体から **LAN** カードを取り外します。

- 10** 取っ手の固定ネジを外します。

- 11** 左から 2 番目の **DIP** スイッチを上側 (**OFF**) に戻します。
手順 4 の逆の操作です。

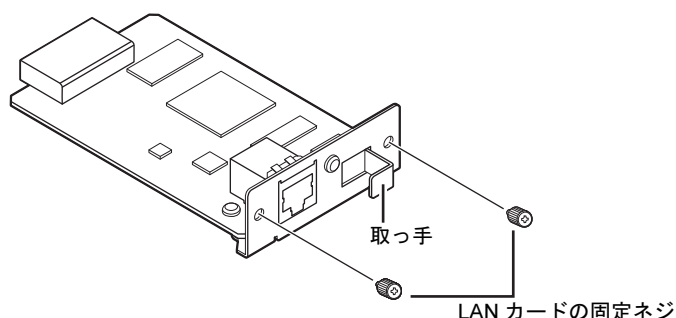


- 12** 取っ手を固定ネジで固定します。

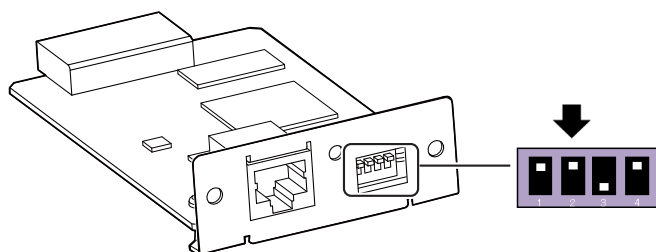
- 13** **LAN** カードをプリンタ本体に取り付けます。
LAN カードの固定ネジ 2 本で固定し、LAN ケーブルを挿します。

LAN カードの設定内容の印刷について

- 1 プリンタ本体の電源を切ります。
- 2 プリンタの用紙をテスト用の用紙に変更します。
給紙口に合わせて用紙をセットしてください。
- 3 プリンタ本体から **LAN** カードを取り外します。
 1. LAN ケーブルを外し、LAN カードの固定ネジ 2 本を外します。
 2. 取っ手を持ち、LAN カードを取り外します。



- 4 取っ手の固定ネジを外します。
- 5 左から 3 番目の **DIP** スイッチを下側 (**ON**) にします。

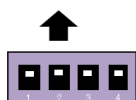


- 6 取っ手を固定ネジで固定します。
LAN カードをプリンタ本体から引き抜くときに取っ手が必要です。
- 7 **LAN** カードをプリンタ本体に取り付けます。
LAN ケーブルは接続しないでください。
- 8 プリンタ本体の電源を入れます。
プリンタ本体がオンライン状態に移行後、自動で LAN カードの設定内容が印字されます。
印字が開始されない場合は、用紙が正しくセットされているかご確認ください。

9 プリンタ本体から **LAN** カードを取り外します。

10 取っ手の固定ネジを外します。

11 左から **3** 番目の **DIP** スイッチを上側 (**OFF**) に戻します。
手順 5 の逆の操作です。




12 取っ手を固定ネジで固定します。

13 **LAN** カードをプリンタ本体に取り付けます。
LAN カードの固定ネジ 2 本で固定し、LAN ケーブルを挿します。


4 用紙づまりと印字中の電源断について

印刷中に、プリンタの電源を切り、そのままプリンタの電源を入れると、文字化けが発生します。パソコン側の対処を実施してください。

また、用紙づまりが発生した場合も、用紙づまりを解除した後、パソコン側の対処を行わずにプリンタの電源を入れると文字化けが発生します。

用紙づまりについては、『ハードウェアガイド』に従って、用紙を取り除いた後、プリンタの用紙づまりの対処とパソコンの対処を実施してください。

プリンタの対処方法

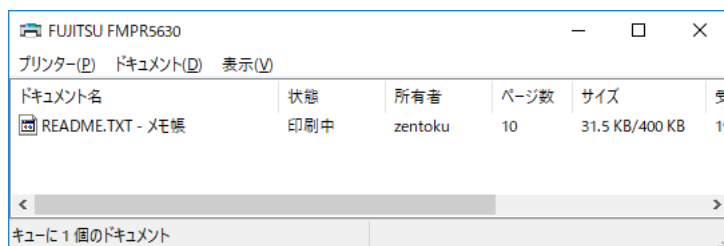
『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「用紙づまりと印字中に電源断をしたとき」をご覧ください。

パソコンの対処方法

パソコンの対処方法は、プリンタを接続している環境で異なります。

FMPRnavi2 を利用しない場合


- 1 プリンタアイコンをダブルクリックし、スプーラを立ち上げます。



- 2 印刷中のドキュメント名を選択します。
- 3 「ドキュメント」を選択し、「キャンセル」を選択して印刷ドキュメントを削除します。
- 4 プリンタの電源を入れ、印刷を再開します。

FMPRnavi2 を利用している場合

「印刷関連のソフトウェア」(→ P.151)をご覧ください。

プリンタがエラーになったとき、表示されるメッセージおよび処置は、『ハードウェアガイド』の「こんなときには」－「メッセージ一覧」をご覧ください。

ドットインパクトプリンタ
FMPR5630/FMPR5430/FMPR5130
ソフトウェアガイド

B5WY-1731-03 Z0-00

発 行 日 2025 年 1 月

発行責任 富士通株式会社

〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。